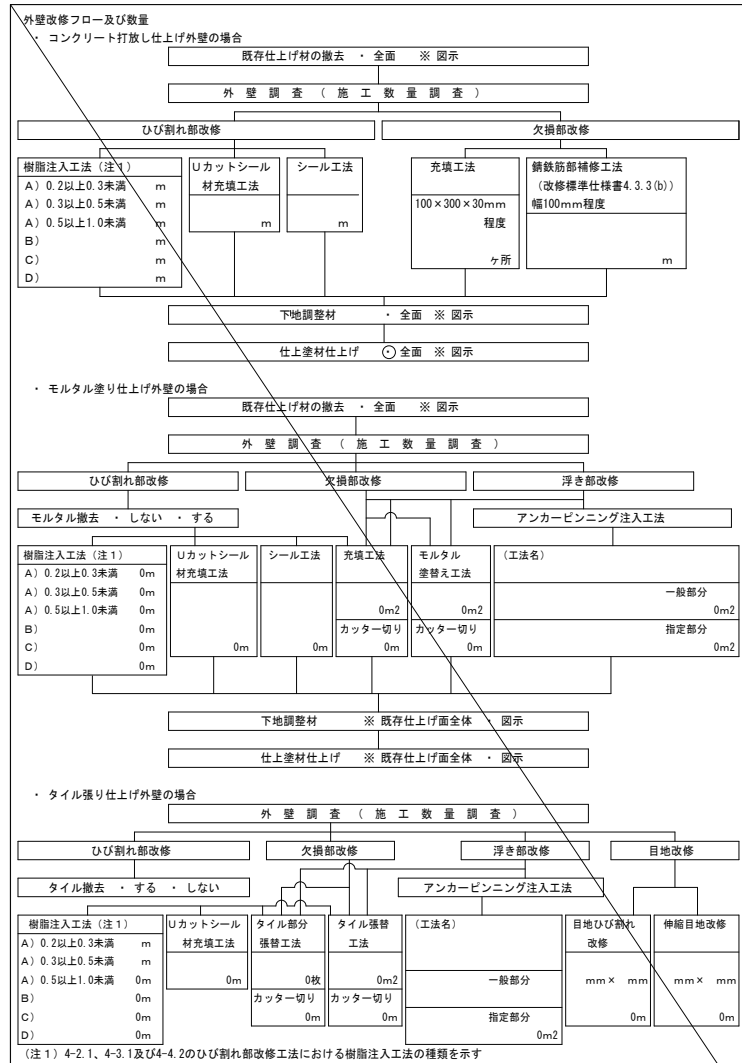








4 外壁 改修 工事 (共通事項)	1	ポリマーセメントモルタル	(品質・性能) [4.2.2] 項目 品質・性能 だれ 下がり量(mm) 5以内 表面の状態 ひび割れの発生が無いこと。 曲げ強さ(N/mm2) 6.0以上 圧縮強さ(N/mm2) 20.0以上 接着強さ(N/mm2) 標準条件 1.0以上 特殊条件 湿潤時 0.8以上 低湿時 0.5以上 透水性 裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。 その他 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)高分子エマルジョンは、常温常圧において製造後6か月保存しても、変質しないこと。	4 1 3 外壁 改修 工事 コンクリート 打放し 仕上げ 外壁	1	ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 工法の種類 びび割れ幅(mm) 注入間隔(mm) 注入量(mL/cm) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂 0.2以上0.3未満 ※40 注入工法 0.3以上0.5未満 200~300 ※40 0.5以上1.0未満 ※70 ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 ※70 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上1.0未満 150~250 ※130 エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 ・ 中粘度形 注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	4 1 3 外壁 改修 工事 コンクリート 打放し 仕上げ 外壁	1	タイル張替え工法用材料	タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法用接着剤の種類 [4.2.2] ・ ポリマーセメントモルタル ・ JIS A 5557による一液反応硬化型変成シリコン樹脂系 ・ JIS A 5557による一液反応硬化型ウレタン樹脂系 タイルの形状、寸法等 施工箇所 形状/寸法 再生材料 吸水率による区分 うわぐすり 役物 色 耐凍害性 耐滑 備考(品質) (mm) の適用 1種 2種 3種 4種 5種 6種 7種 8種 9種 10種 11種 12種 13種 14種 15種 16種 17種 18種 19種 20種 耐滑り性: JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法-第12種: 耐滑り性試験方法) で規定する C.S.R値は0.4~1.0とする。 役物の使用箇所 内装 出隅 天端 外装 出隅、窓台、マガサ(標準一体成型品以外は接着成型品とする)	4 1 3 外壁 改修 工事 コンクリート 打放し 仕上げ 外壁	1	既存塗膜等の除去、 下地処理及び下地 調整	[4.6.2] 工法 処理範囲 下地面の補修 ・ サンダー工法 ※既存仕上げ面全体 ・ 図示 4-2 外壁改修工事 ・ 高圧水洗工法 ※既存仕上げ面全体 ・ 図示 (コンクリート打放し仕上げ外壁)、 吐出圧力 ・ 30MPa~50MPa ・ 50MPa~100MPa ・ 100MPa以上 ・ 塗膜はく離工法 ※既存仕上げ面全体 ・ 図示 4-3 外壁改修工事 ・ 水洗い工法 ※既存仕上げ面全体 ・ 図示 (モルタル塗仕上げ 石綿含有仕上げ塗材の除去は、9章環境配慮改修工事による
	2	ポリマーセメントスラリー	(品質・性能) [4.2.2] 広がり速度 (cm/s) 長さ変化率 (収縮) (%) 引張接着性 (材齢28日) (N/mm2) 曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2) 吸水率 (72時間) (%) (劣化曲げ強さ) (N/mm2) 3以上 3以下 0.5以上 5.0以上 15以下 5.0以上 保水係数 0.35~0.55 粘弾係数 0.50~1.00	4 1 3 外壁 改修 工事 コンクリート 打放し 仕上げ 外壁	2	欠損部改修工法	※ 充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル	4 1 3 外壁 改修 工事 コンクリート 打放し 仕上げ 外壁	2	ひび割れ部改修工法	※ タイルを撤去して改修 下地モルタルまで撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事(コンクリート打放し仕上げ外壁)による モルタルを存置した場合のモルタル部分の改修は、4-3 外壁改修工事(モルタル塗仕上げ外壁)による タイル撤去後のタイル欠損部の補修は、3 欠損部改修工法による ・ タイルを撤去しないで改修 ※ 樹脂注入工法 工法の種類 びび割れ幅(mm) 注入間隔(mm) 注入量(mL/cm) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂 0.2以上0.3未満 ※40 注入工法 0.3以上0.5未満 200~300 ※40 0.5以上1.0未満 ※70 ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 ※70 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上1.0未満 150~250 ※130 エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 ・ 中粘度形 注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ モルタルを撤去して改修 モルタル撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事(コンクリート打放し仕上げ外壁)による モルタル撤去後のモルタル欠損部の補修は、2 欠損部改修工法による				
	3	吸水調整材	改修標準仕様書表4.2.21による [4.2.2]	4 1 3 外壁 改修 工事 コンクリート 打放し 仕上げ 外壁	3	欠損部改修工法	※ 充填工法(欠損部の面積が0.25m <sup>2</sup> /箇所程度以下の場合) [4.1.4][4.2.2][4.4.8、9] 充填材の種類 ※ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル ・ モルタル張替え工法 モルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する(形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示	4 1 3 外壁 改修 工事 コンクリート 打放し 仕上げ 外壁	3	欠損部改修工法	※ 樹脂注入工法 工法の種類 びび割れ幅(mm) 注入間隔(mm) 注入量(mL/cm) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂 0.2以上0.3未満 ※40 注入工法 0.3以上0.5未満 200~300 ※40 0.5以上1.0未満 ※70 ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 ※70 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上1.0未満 150~250 ※130 エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 ・ 中粘度形 注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ モルタルを撤去して改修 モルタル撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事(コンクリート打放し仕上げ外壁)による モルタル撤去後のモルタル欠損部の補修は、2 欠損部改修工法による				
	4	既製調合モルタル	[4.2.2] モルタル下地としたタイル工事に使用する強付用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能) 項目 品質・性能 項目 品質・性能 保水率 70.0%以上 長さ変化率 0.2%以下 単位容積質量 1.80kg/L以上 曲げ強さ 0.4N/mm2以上 接着強さ 標準時 0.6N/mm2以上 湿冷後 0.4N/mm2以上 (試験方法) (1) 試験の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。 練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 (2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロード板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦150mm、横150mm、厚さ5mm)の上にJIS P3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 Aろ紙(直径11cm)をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(1)で調製した試料を平滑に詰め込む。 その後、直ちに標準型わく上部のガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へじみ出した水分の広がり最大と認められた方向にこれに直角な方向の長さをもノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率=50/平均値×100 (注) 50: リング型わくの直径 mm (3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 (4) 接着強さ(標準時)の試験方法 イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による節ゆりの「50角ユニットタイル(外のリ寸法約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.11 耐凍結試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、シ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエポキ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び取り、(全てが0.6N/mm2以上を確保していること) ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による節ゆりの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 (5) 接着強さ(湿冷後)の試験方法 (試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4)接着強さ(標準時)の試験方法の「試験体」と同様とする。 (湿冷後試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11 耐凍結試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せしめた後、直ちに-20±2℃の恒温槽中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温槽中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び剥れの有無を目視によって調べる。 (湿冷後試験後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々湿冷後試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm2以上を確保していること) (6) 長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化型粉体樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。 (7) 曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態: 試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。	4 1 3 外壁 改修 工事 コンクリート 打放し 仕上げ 外壁	4	ひび割れ部改修工法	※ モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4][4.2.2][4.4.5~7] ※ 樹脂注入工法 工法の種類 びび割れ幅(mm) 注入間隔(mm) 注入量(mL/cm) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂 0.2以上0.3未満 ※40 注入工法 0.3以上0.5未満 200~300 ※40 0.5以上1.0未満 ※70 ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 ※70 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上1.0未満 150~250 ※130 エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 ・ 中粘度形 注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ モルタルを撤去して改修 モルタル撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事(コンクリート打放し仕上げ外壁)による モルタル撤去後のモルタル欠損部の補修は、2 欠損部改修工法による	4 1 3 外壁 改修 工事 コンクリート 打放し 仕上げ 外壁	4	目地改修工法	4 1 4 [4.2.2] [4.5.7、8] ・ タイル部分張替え工法(欠損部の面積が0.25m <sup>2</sup> /箇所以下の場合及び下地モルタルがある場合) 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 外装タイル接着剤類の接着剤 ・ タイル張替え工法(下地モルタルを撤去する場合) 貼付けモルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調合材料 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※ 改修標準仕様書表4.5.11による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着剤試験 ・ 行う ・ 行わない ・ セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り タイル張りの工法 ・ 外装タイル( ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良積上げ張り) ・ ユニットタイル( ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り) ・ 有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※ 目地工法 ・ 目地工法 ・ シーリング材の種類 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系 ・ 伸縮調整目地その他の目地 ※ 変成シリコン系				



⑤	①	改修工法	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
建具改修工事	①	アルミ製建具	・アルミ製建具	・	・	・
			・樹脂製建具	・	・	・
②	②	防火戸	・鋼製建具	・外部	・	・
			・内部	・	・	
③	③	建具見本の製作	・鋼製軽量建具	・	・	・
			・ステンレス製建具	・	・	・
④	④	防犯建物部品	・アルミ製建具	・	・	・
			・樹脂製建具	・	・	・
⑤	⑤	アルミニウム製建具	・鋼製建具	・外部	・	・
			・内部	・	・	

⑥	網戸等	種類	材質	線径	網目
7	樹脂製建具	○ 防虫網	・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製	※ 0.25mm以上	※ 16~18メッシュ
		・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm
8	鋼製建具	性能値等	・耐風圧性の等級 ( )、機密性の等級 ( )、水密性の等級 ( ) ※ 改修標準仕様書5.3.1による種別		
		外部に面する建具の種類	・A種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・ ) ・B種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・ ) ・C種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・ )		
9	鋼製軽量建具	性能等級 (建具符号: ・ 建具表による ・ )			
		外部に面する建具の耐風圧性	・ S-4 ・ S-5 ・ S-6		
10	ステンレス製建具	性能等級 (建具符号: ・ 建具表による ・ )			
		外部に面する建具の耐風圧性	・ S-4 ・ S-5 ・ S-6		
11	建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の材質等			
		錠前類			

⑫	錠	種類	材質	線径	網目
12	錠	○ 錠	・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製	※ 0.25mm以上	※ 16~18メッシュ
		・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm
13	自動ドア開閉装置	性能等級 (建具符号: ・ 建具表による ・ )			
		外部に面する建具の耐風圧性	・ S-4 ・ S-5 ・ S-6		

⑬	重量シャッター	シャッターの種類	管理用シャッター	耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>	外壁用防火シャッター	耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>
14	自閉式上吊り引戸装置	性能値等	・	・	・	・
		閉じ速度 (秒)	・	・	・	・
15	重量シャッター	シャッターの種類	・管理用シャッター	・耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>	・外壁用防火シャッター	・耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>
		閉じ速度 (秒)	・	・	・	・
16	軽量シャッター	シャッターの種類	・管理用シャッター	・耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>	・外壁用防火シャッター	・耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>
		閉じ速度 (秒)	・	・	・	・
17	オーバーヘッドドア	シャッターの種類	・管理用シャッター	・耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>	・外壁用防火シャッター	・耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>
		閉じ速度 (秒)	・	・	・	・
18	木製建具	シャッターの種類	・管理用シャッター	・耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>	・外壁用防火シャッター	・耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>
		閉じ速度 (秒)	・	・	・	・

⑤ ⑧ ガラス	<p>(16.9.7.14.2~4) (表16.14.1)</p> <p>※ 建具表による</p> <p>合わせガラスの材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td>材料ガラスの種類、組合せ</td> <td>落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類</td> </tr> <tr> <td>フロート板、フロート板合わせガラス</td> <td>Ⅰ類・Ⅱ-1類 Ⅱ-2類・Ⅲ類</td> </tr> </table> <p>強化ガラスの形状による種類、材料ガラスの種類による名称及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td>材料ガラスによる種類</td> <td>材料ガラス</td> <td>破片の形状及びショットバック衝撃特性による種類</td> </tr> <tr> <td>フロート強化ガラス</td> <td>フロート板ガラス</td> <td>Ⅰ類・Ⅲ類</td> </tr> </table> <p>熱線吸収ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td>材料ガラスによる種類</td> <td>性能による種類</td> <td>色調</td> </tr> <tr> <td>熱線吸収フロート板ガラス</td> <td>Ⅰ種・Ⅱ種</td> <td>グリーン</td> </tr> <tr> <td>熱線吸収網入り磨き板ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>複層ガラスの材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td>断熱性による区分</td> <td>乾燥気体の種類</td> </tr> <tr> <td>T1・T2・T3・T4・T5・T6</td> <td>空気・アルゴン</td> </tr> </table> <p>日射取得性、日射遮蔽性による区分</p> <table border="1"> <tr> <td>乾燥気体の種類</td> <td>乾燥気体の種類</td> </tr> <tr> <td>G・S</td> <td>空気・アルゴン</td> </tr> </table> <p>熱線反射ガラスの材料ガラスの種類及び厚さによる種類 ※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td>材料ガラスによる種類</td> <td>日射熱遮蔽性による区分</td> <td>耐久性による区分</td> </tr> <tr> <td>色調 (ブルー・グレー)</td> <td>Ⅰ種 Ⅱ種 Ⅲ種</td> <td>A類 B類</td> </tr> </table> <p>反射皮膜面 ・ 内面 ・ 外面 映像調整 ・ 行わない ・ 行う</p> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <tr> <td>建具の種類</td> <td>ガラス留め材</td> <td>ガラス溝の大きさ (mm)</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形</td> <td>※ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>※ シーリング材</td> <td>※ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>※ シーリング材</td> <td>※ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> </table> <p>防火戸のガラス留め材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による</p>		材料ガラスの種類、組合せ	落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類	フロート板、フロート板合わせガラス	Ⅰ類・Ⅱ-1類 Ⅱ-2類・Ⅲ類	材料ガラスによる種類	材料ガラス	破片の形状及びショットバック衝撃特性による種類	フロート強化ガラス	フロート板ガラス	Ⅰ類・Ⅲ類	材料ガラスによる種類	性能による種類	色調	熱線吸収フロート板ガラス	Ⅰ種・Ⅱ種	グリーン	熱線吸収網入り磨き板ガラス			断熱性による区分	乾燥気体の種類	T1・T2・T3・T4・T5・T6	空気・アルゴン	乾燥気体の種類	乾燥気体の種類	G・S	空気・アルゴン	材料ガラスによる種類	日射熱遮蔽性による区分	耐久性による区分	色調 (ブルー・グレー)	Ⅰ種 Ⅱ種 Ⅲ種	A類 B類	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	※ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形	※ 建具の製造所の仕様による	鋼製及び鋼製軽量	※ シーリング材	※ 建具の製造所の仕様による	ステンレス製	※ シーリング材	※ 建具の製造所の仕様による	⑥ ① ② ③ ④ ⑤	<p>他の部位との取り合い等</p> <p>既存取り切替の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲 [6.1.3]</p> <p>※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲</p> <p>※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示</p> <p>既存取り切替の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修</p> <p>※ 既存のまま ・ 図示</p> <p>ビニルシート等の撤去 ※ 仕上材のみ (接着剤とも)</p> <p>・ 下地モルタルとも (・ 図示の範囲 ・ 撤去範囲全て)</p> <p>合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目貫し工法</p> <p>既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。</p> <p>改修後の床の清掃範囲 ※ 改修部の端部より1m程度</p> <p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2]</p> <p>※ 改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り (仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の処置 ※ 図示)</p> <p>木下地等の表面仕上げ [6.5.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>表面仕上げの種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>機械加工</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>手加工</td> <td>・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種</td> </tr> </table> <p>「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td></td> <td>※上小節</td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>「製材の日本農林規格」による広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※10%以下・A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※10%以下・A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>「製材の日本農林規格」以外の製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防火処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>( )</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 [6.5.2]</p> <p>「集材材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・ 2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・ 2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> </table>	表面仕上げの種類	適用箇所	機械加工	・ A種 ・ B種 ・ C種	手加工	・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用				※2級		※A種・B種						※2級		※A種・B種			施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用	見え掛り面			※上小節		※A種・B種			見え掛り面以外			※小節以上		※A種・B種			施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用				※1等		※10%以下・A種・B種						※1等		※10%以下・A種・B種			施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防火処理	含水率	間伐材等の適用				( )	・ 適用する ・ 適用しない	※A種・B種		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用					※1等 ・ 2等		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用						※1等 ・ 2等		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用					※15%以下		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用						※15%以下		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用						※15%以下		⑦ ⑧ ⑨	<p>7 造作用単板積層材</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 [6.5.2]</p> <p>「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防火処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 有り (加工: ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無し (等級: )</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防火処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 有り (加工: ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無し ( )</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>※14%以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>直文集成材 (C.L.T.)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>曲げ強度 (強度等級)</th> <th>種別</th> <th>接着性能 (使用環境)</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 [6.5.2]</p> <p>○ 普通合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防火処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※5.5 ○15 ○9</td> <td></td> <td>※1類 ・ 2類</td> <td>広葉樹 ※2等以上 ・ 1等 針葉樹 ※0-0以上</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>防火処理</th> <th>強度等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※2級以上 ・ 1級</td> <td></td> <td>※1類 ・ 特類</td> <td>以上</td> <td>※12</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>( )</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防火処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類 ・ 特類</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防火処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類 ・ 2類</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>表面性能</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防火処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1類 ・ 2類</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> </tr> </table> <p>パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td></td> <td>※15</td> </tr> </table> <p>構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級</td> <td></td> </tr> </table> <p>メディアムデンシティーファイバーボード (MDF)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>9 防塵・防蟻処理</p> <p>防塵、防蟻処理を省略できる樹種による製材 [6.5.5]</p> <p>適用部位: ( )</p> <p>薬剤の加圧注入による防塵防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4</td> </tr> </table> <p>薬剤の塗布等による防塵、防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②?~?による</td> </tr> </table> <p>薬剤の接着材への混入による防塵、防蟻処理</p> <p>適用部位: ( )</p>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防火処理	間伐材等の適用			・ 有り (加工: ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無し (等級: )	・ 適用する ・ 適用しない		施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防火処理	含水率	間伐材等の適用			・ 有り (加工: ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無し ( )	・ 適用する ・ 適用しない	※14%以下		施工箇所	品名	曲げ強度 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)	間伐材等の適用									施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防火処理	間伐材等の適用		※5.5 ○15 ○9		※1類 ・ 2類	広葉樹 ※2等以上 ・ 1等 針葉樹 ※0-0以上	・ 適用する ・ 適用しない		施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防火処理	強度等級	間伐材等の適用		※2級以上 ・ 1級		※1類 ・ 特類	以上	※12	・ 適用する ・ 適用しない	( )	・ 適用する ・ 適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防火処理	間伐材等の適用				※1類 ・ 特類	・ 適用する ・ 適用しない		施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防火処理	間伐材等の適用				※1類 ・ 2類	・ 適用する ・ 適用しない		施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防火処理	間伐材等の適用			※1類 ・ 2類				・ 適用する ・ 適用しない	施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)			※13タイプ	※P又はM		※15	施工箇所	等級	厚さ (mm)		・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級		施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用								適用部材	保存処理性能区分		・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4	適用部材	処理の方法		※ 改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②?~?による	⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱	<p>軽量鉄骨天井下地</p> <p>野縁等の種類 [6.6.2~4]</p> <p>屋外 (※ 25形 ) 屋内 (※ 19形 ・ 25形)</p> <p>・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>野縁受、吊りボルト及びびんサートの間隔 ・ 図示</p> <p>周辺部の端からの間隔 ・ 図示</p> <p>野縁の間隔 ・ 図示</p> <p>既存の埋込みインサート ○ 使用する ・ 使用しない</p> <p>あと施工アンカーの確認試験</p> <p>・ 行う (試験箇所数 ※ 当該箇所において3箇所 )</p> <p>(確認強度 ※ 改修標準仕様書6.4(1)(9)による )</p> <p>○ 行わない</p> <p>・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合</p> <p>補強方法 ※ 図示</p> <p>・ 天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合</p> <p>補強方法 ※ 改修標準仕様書6.4(8)による ・ 図示</p> <p>・ 天井のふとところが3.0mを超える場合</p> <p>補強方法 ※ 図示</p> <p>・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強</p> <p>補強箇所 ※ 高さが6mを超える天井 ・ 図示</p> <p>補強方法 ※ 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」(平成25年国土交通省告示第771号)第3第2項第二号に適合させる。</p> <p>・ 図示</p> <p>スタッド、ランナーの種類 [6.7.3] [表6.7.1]</p> <p>※ 改修標準仕様書6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示</p> <p>スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※ 図示</p> <p>出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 標準仕様書14.5.4(5)による</p> <p>ビニル床シート [6.8.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>特殊機能</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ FS</td> <td>・ 無地 ○ マーブル柄 ・ 柄物</td> <td>・ 帯電防止 ○ 新動荷重性 ・ 防汚性 ・ 防滑性</td> <td>※ 2.0</td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 目地処理 (工法 ※ 熱溶接工法) ・ 実付け (施工箇所: )</p> <p>特殊機能</p> <p>帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満</p> <p>又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10<sup>10</sup> ~ 1×10<sup>12</sup> Ω程度</p> <p>ビニル床タイル [6.8.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>特殊機能</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ KT ・ TT ・ FT ・ FOA ・ FOB</td> <td>・ 無地 ・ 柄物</td> <td>・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500</td> <td>・ 帯電防止 ・ 防汚性</td> <td>※ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0</td> <td></td> </tr> </table> <p>特殊機能</p> <p>帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満</p> <p>又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10<sup>10</sup> ~ 1×10<sup>12</sup> Ω程度</p> <p>接着剤 [6.5.3.4] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]</p> <p>接着剤は可塑剤 (難燃性の可塑剤を除く) が添加されていないものとする。</p> <p>ホルムアルデヒド放散量</p> <p>※ 規制対象外</p> <p>施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類</p> <p>・ 図示</p> <p>ビニル幅木 [6.8.2]</p> <p>材質の種類 ※ 軟質 ・ 硬質</p> <p>高さ (mm) ※ 60 ・ 75 ○ 100</p> <p>厚さ (mm) ※ 1.5以上</p> <p>ゴム床タイル [6.8.2]</p> <p>種類 ・ 単層品 ・ 複層品</p> <p>色柄 ( )</p> <p>厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0</p> <p>寸法 (mm) ( )</p> <p>カーペット敷き [6.9.3.4] [表6.9.1]</p> <p>・ 織じゅうたん</p> <table border="1"> <tr> <th>繰り方</th> <th>バイルの形状</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ ウィルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アクシミンターカーペット</td> <td>・ カットバイル ・ ルーフバイル ・ カット、ループ併用</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>バイル系の種類等</p> <p>※ 模様のない無地のもの (改修標準仕様書6.9.1による種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種)</p> <p>・ タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>バイルの形状</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ ルーフバイル</td> <td>※ 第一種 ・ 第二種</td> <td></td> <td>※ 500×500</td> <td>※ 6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ カットバイル</td> <td>・ 第一種 ・ 第二種</td> <td></td> <td>※ 500×500</td> <td>※ 6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ カット、ループ併用</td> <td>・ 第一種 ・ 第二種</td> <td></td> <td>※ 500×500</td> <td>※ 6.5</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペットの敷き方</p> <p>平 場 ※ 市松敷き ・ 模様流し</p> <p>階段部分 ※ 模様流し ・ 市松敷き</p> <p>下敷き材 ※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm</p> <p>見切り、押え金物の材質、種類及び形状 ※ 図示</p>	種類の記号	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考	※ FS	・ 無地 ○ マーブル柄 ・ 柄物	・ 帯電防止 ○ 新動荷重性 ・ 防汚性 ・ 防滑性	※ 2.0		種類の記号	色柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備考	※ KT ・ TT ・ FT ・ FOA ・ FOB	・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500	・ 帯電防止 ・ 防汚性	※ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0		繰り方	バイルの形状	帯電性	備考	・ ウィルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アクシミンターカーペット	・ カットバイル ・ ルーフバイル ・ カット、ループ併用	・ 適用する ・ 適用しない		バイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考	※ ルーフバイル	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5		・ カットバイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5		・ カット、ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱
	材料ガラスの種類、組合せ	落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	フロート板、フロート板合わせガラス	Ⅰ類・Ⅱ-1類 Ⅱ-2類・Ⅲ類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	材料ガラスによる種類	材料ガラス	破片の形状及びショットバック衝撃特性による種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	フロート強化ガラス	フロート板ガラス	Ⅰ類・Ⅲ類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	材料ガラスによる種類	性能による種類	色調																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	熱線吸収フロート板ガラス	Ⅰ種・Ⅱ種	グリーン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	熱線吸収網入り磨き板ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	断熱性による区分	乾燥気体の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	T1・T2・T3・T4・T5・T6	空気・アルゴン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
乾燥気体の種類	乾燥気体の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
G・S	空気・アルゴン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
材料ガラスによる種類	日射熱遮蔽性による区分	耐久性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
色調 (ブルー・グレー)	Ⅰ種 Ⅱ種 Ⅲ種	A類 B類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
アルミニウム製	※ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形	※ 建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
鋼製及び鋼製軽量	※ シーリング材	※ 建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
ステンレス製	※ シーリング材	※ 建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
表面仕上げの種類	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
機械加工	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
手加工	・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			※2級		※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			※2級		※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
見え掛り面			※上小節		※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
見え掛り面以外			※小節以上		※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			※1等		※10%以下・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			※1等		※10%以下・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防火処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			( )	・ 適用する ・ 適用しない	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				※1等 ・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					※1等 ・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防火処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		・ 有り (加工: ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無し (等級: )	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防火処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		・ 有り (加工: ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無し ( )	・ 適用する ・ 適用しない	※14%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	品名	曲げ強度 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防火処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	※5.5 ○15 ○9		※1類 ・ 2類	広葉樹 ※2等以上 ・ 1等 針葉樹 ※0-0以上	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防火処理	強度等級	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	※2級以上 ・ 1級		※1類 ・ 特類	以上	※12	・ 適用する ・ 適用しない	( )	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防火処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			※1類 ・ 特類	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防火処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			※1類 ・ 2類	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防火処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		※1類 ・ 2類				・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		※13タイプ	※P又はM		※15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	等級	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
適用部材	処理の方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	※ 改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②?~?による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類の記号	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
※ FS	・ 無地 ○ マーブル柄 ・ 柄物	・ 帯電防止 ○ 新動荷重性 ・ 防汚性 ・ 防滑性	※ 2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種類の記号	色柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
※ KT ・ TT ・ FT ・ FOA ・ FOB	・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500	・ 帯電防止 ・ 防汚性	※ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
繰り方	バイルの形状	帯電性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ ウィルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アクシミンターカーペット	・ カットバイル ・ ルーフバイル ・ カット、ループ併用	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
バイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
※ ルーフバイル	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・ カットバイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・ カット、ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

⑥	18	合成樹脂塗床	[6. 1. 0. 2. 3]			
			種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
			・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂塗床 ・ 厚膜型塗床材 ・ エポキシ樹脂塗床 ・ 薄膜型塗床材		・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂モルタル工法	※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ ・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ※ 平滑仕上げ
19	防じん用塗床	材料 水性アクリル系樹脂塗材とし、製造所の指定する製品とする 工法 製造所の指定する工法とする なお、上塗りは2回塗りとし、塗布量は0.25kg/m <sup>2</sup> 以上とする 仕上げの種類 (※ 平滑仕上げ・防汚仕上げ) (※ 標準色) JIS K 5970に基づく塗料のホルムルデヒド放数量 ※ 規制対象外				
20	フロアリング張り	[6. 1. 1. 2~6]				
		種類	工法	樹種	厚さ (mm)	
		・ フロアリング ボード1等	・ 釘留め工法 (根張り) ・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ 15 ・ 12	
21	畳敷き	[6. 1. 2. 2]				
		種別	・ A種 ・ B種 ・ C種 ※印種 (※KT-I ・ KT-II ・ ※KT-III ・ KT-K ・ KT-N)	標準仕様書表12.6.11による床組	ボリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン)	
		畳表及び畳床はホルムルデヒド、アセトアルデヒド及びヒステレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。				
22	せつこうボードその他ボード及び合板張り	[6. 1. 3. 2. 3]				
		種 類	JISの記号	厚さ (mm)、規格等		
		・ 硬質木セメント板 ・ 中質木セメント板 ・ 普通木セメント板 ・ 硬質木片セメント板 ・ 普通木片セメント板 ○ けい酸カルシウム板 ・ ロックウール化粧吸音板 ・ ロックウール吸音ボード1号 ・ グラスウール吸音ボード32K ・ せつこうボード ・ 不燃積層せつこうボード ○ シージングせつこうボード ○ 強化せつこうボード ・ せつこうスレート ・ 化粧せつこうボード (木目) ・ 化粧せつこうボード (トラバーチン模様) ○ 普通合板 ・ 天然木化粧合板 ・ 特殊加工化粧合板 ○ メラミン樹脂化粧板 ・ ポリエステル樹脂化粧板 ・ ミディアムデンシティファイバーボード ・ 単板張り パーティクルボード	HW MW NW NF HF 0.8FK 1.0FK DR RB-B GB-B GB-R GB-NC GB-S GB-F GB-L GB-D 12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 繊維 (・ 柱目 ・ 板目) 専用下地材有り 9.5 (準不燃) 12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 繊維 (・ 柱目 ・ 板目) 専用下地材有り 9.5 (準不燃) MDF ・ 無研磨板 V N ・ 研磨板 V S ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18			

⑥	18	化粧パーティクルボード G	[6. 1. 4. 2. 3]			
			種別	・ 化粧パーティクルボード G	・ 単板オーバーレイ DV ・ プラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃)	
			・ ハードボード (素地) G ・ ハードボード (化粧) G	HB	・ 無研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード RN) ・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード RS) ・ 内装用 D I ・ 外装用 D E ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7	
23	壁紙張り	[6. 1. 4. 2. 3]				
		施工箇所	紙	繊維	プラスチック	
		・ 壁紙の種類 ・ 防火性能				
24	モルタル塗り	[6. 1. 5. 3. 6]				
		種別	・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 (材料)	既調合材料 (材料)		
		・ 既調合材料 (材料) ・ 既調合材料 (材料)				
25	タイル張り	[6. 1. 6. 2~4]				
		種別	・ 伸縮調整目地の位置 ・ 床タイル (※ 縦、横とも4m以内ごと ・ 図示) ・ 床タイル以外 (※ 図示)			
		・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り ・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り				

⑥	18	内装改修工事	[6. 1. 4. 2. 3]			
			種別	・ 化粧パーティクルボード G	・ 単板オーバーレイ DV ・ プラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃)	
			・ ハードボード (素地) G ・ ハードボード (化粧) G	HB	・ 無研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード RN) ・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード RS) ・ 内装用 D I ・ 外装用 D E ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7	
23	壁紙張り	[6. 1. 4. 2. 3]				
		施工箇所	紙	繊維	プラスチック	
		・ 壁紙の種類 ・ 防火性能				
24	モルタル塗り	[6. 1. 5. 3. 6]				
		種別	・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 (材料)	既調合材料 (材料)		
		・ 既調合材料 (材料) ・ 既調合材料 (材料)				
25	タイル張り	[6. 1. 6. 2~4]				
		種別	・ 伸縮調整目地の位置 ・ 床タイル (※ 縦、横とも4m以内ごと ・ 図示) ・ 床タイル以外 (※ 図示)			
		・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り ・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り				

⑦	3	仕上げ塗料塗り	[7. 3. 2. 3]			
			種別	・ 仕上げ塗料塗り	・ 仕上げ塗料塗り	・ 仕上げ塗料塗り
			・ 仕上げ塗料塗り	・ 仕上げ塗料塗り	・ 仕上げ塗料塗り	・ 仕上げ塗料塗り
⑦	3	仕上げ塗料塗り	[7. 4. 2~7. 1. 4. 2]			
			種別	・ 仕上げ塗料塗り	・ 仕上げ塗料塗り	・ 仕上げ塗料塗り
			・ 仕上げ塗料塗り	・ 仕上げ塗料塗り	・ 仕上げ塗料塗り	・ 仕上げ塗料塗り



⑩ その他	⑨ 床点検口	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ アルミニウム製 ○ ステンレス製 ・ 鋼製</td> <td>・ 450×450 ※ 600×600</td> <td>・ 一般形 ○ 密閉形 ・ 屋内用</td> <td>・ 鍵付き</td> </tr> </table> <p>密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>部材名</th> <th>材質</th> <th>屋内外用</th> <th>屋内用</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">受枠材 蓋枠材</td> <td>アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材</td> <td>JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td> <td>JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td> </tr> <tr> <td>鋼製</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>二重蓋の中蓋</td> <td>鋼鉄</td> <td>JIS G 5501のFC150、FC200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>強化ビニル樹脂製等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目地材</td> <td>黄銅</td> <td>JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">底板材コーナーステンレス鋼板</td> <td>ステンレス鋼板</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> <td>JIS G 4305のSUS430</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム板</td> <td>JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装 合板膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鋼材</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>パッキン材</td> <td>—</td> <td>強化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンカー材 取手</td> <td>—</td> <td>鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの 鋼製鋼鉄製、鋼製、アルミニウム押出成形材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鍵</td> <td>—</td> <td>鋼製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蓋の耐荷重性能</td> <td>—</td> <td>蓋中央部が荷重値Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>受け枠寸法の許容差</td> <td>±0.5mm以下</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>蓋付寸法の許容差</td> <td>±0.5mm以下</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>受け枠と蓋枠のクリアランス</td> <td>片側2.0mm以内</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>耐荷重試験</td> <td>—</td> <td>試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四隅を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。</td> <td></td> </tr> </table>	材質	寸法 (mm)	形式	備考	・ アルミニウム製 ○ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600	・ 一般形 ○ 密閉形 ・ 屋内用	・ 鍵付き	部材名	材質	屋内外用	屋内用	受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15		ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	鋼製	—	—	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	二重蓋の中蓋	鋼鉄	JIS G 5501のFC150、FC200		その他	強化ビニル樹脂製等			目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604		ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304		底板材コーナーステンレス鋼板	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430	アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装 合板膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)	—	鋼材	—	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	パッキン材	—	強化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの		アンカー材 取手	—	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの 鋼製鋼鉄製、鋼製、アルミニウム押出成形材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする		鍵	—	鋼製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする		蓋の耐荷重性能	—	蓋中央部が荷重値Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。		受け枠寸法の許容差	±0.5mm以下	—	—	蓋付寸法の許容差	±0.5mm以下	—	—	受け枠と蓋枠のクリアランス	片側2.0mm以内	—	—	耐荷重試験	—	試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四隅を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。	
		材質	寸法 (mm)	形式	備考																																																																														
		・ アルミニウム製 ○ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600	・ 一般形 ○ 密閉形 ・ 屋内用	・ 鍵付き																																																																														
		部材名	材質	屋内外用	屋内用																																																																														
		受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15																																																																															
			ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度																																																																														
		鋼製	—	—	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																														
		二重蓋の中蓋	鋼鉄	JIS G 5501のFC150、FC200																																																																															
		その他	強化ビニル樹脂製等																																																																																
		目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604																																																																															
ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304																																																																																		
底板材コーナーステンレス鋼板	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430																																																																																
	アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装 合板膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)	—																																																																																
鋼材	—	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																																
パッキン材	—	強化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの																																																																																	
アンカー材 取手	—	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの 鋼製鋼鉄製、鋼製、アルミニウム押出成形材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする																																																																																	
鍵	—	鋼製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする																																																																																	
蓋の耐荷重性能	—	蓋中央部が荷重値Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。																																																																																	
受け枠寸法の許容差	±0.5mm以下	—	—																																																																																
蓋付寸法の許容差	±0.5mm以下	—	—																																																																																
受け枠と蓋枠のクリアランス	片側2.0mm以内	—	—																																																																																
耐荷重試験	—	試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四隅を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。																																																																																	
⑩ 手すり	⑪ 天井見切り縁等	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 集成材</td> <td>・ クリアラッカー</td> <td>・ 35 ・ 45</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ステンレスパイプ</td> <td>○ HL程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鋼製パイプ</td> <td>・ SOP ・ EP-G</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ビニル製ハンドレール</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材質 ※ アルミニウム既製品 ○ ビニル既製品</p>	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	・ 集成材	・ クリアラッカー	・ 35 ・ 45		○ ステンレスパイプ	○ HL程度			・ 鋼製パイプ	・ SOP ・ EP-G			・ ビニル製ハンドレール																																																																
		材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所																																																																														
		・ 集成材	・ クリアラッカー	・ 35 ・ 45																																																																															
		○ ステンレスパイプ	○ HL程度																																																																																
		・ 鋼製パイプ	・ SOP ・ EP-G																																																																																
		・ ビニル製ハンドレール																																																																																	
		12 視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導 用ブロック)	⑫ 鉄筋	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋内</td> <td>・ 塩化ビニル製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・ 7.0</td> </tr> <tr> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋外</td> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による</p>	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0	・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジコンクリート製	※ 300×300	・	屋外	・ コンクリート製			・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジコンクリート製	※ 300×300	・	・ コンクリート製																																																						
				施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																																												
				屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0																																																																												
					・ セラミックタイル	※ 300×300	・																																																																												
・ レジコンクリート製	※ 300×300				・																																																																														
屋外	・ コンクリート製																																																																																		
	・ セラミックタイル			※ 300×300	・																																																																														
	・ レジコンクリート製			※ 300×300	・																																																																														
・ コンクリート製																																																																																			
13 溶接金網	⑬ 鉄筋の継手及び定着			<p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1) (表5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ SD295A</td> <td>※ D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ SD345</td> <td>※ D19以上</td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名	備考	※ SD295A	※ D16以下		※ SD345	※ D19以上																																																																							
		種類の記号	呼び名	備考																																																																															
		※ SD295A	※ D16以下																																																																																
		※ SD345	※ D19以上																																																																																
		14 鉄筋の継手及び定着	⑭ 鉄筋の継手及び定着	<p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 溶接金網</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考	※ 溶接金網			・ 鉄筋格子																																																																								
				種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考																																																																													
				※ 溶接金網																																																																															
				・ 鉄筋格子																																																																															
				15 鉄筋の継手及び定着	⑮ 鉄筋の継手及び定着	<p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4)</p> <p>鉄筋の継手の方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重ね継ぎ手</li> <li>・</li> </ul> <p>鉄筋の重ね継ぎの長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※ 40dと標準仕様書表5.3.2の重ね継ぎの長さのうち大きい値とする</li> <li>・</li> </ul> <p>鉄筋の定着長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ※ 柱に取り付ける梁の引張鉄筋の直線定着長さは40d以上とし、それ以外は標準仕様書表5.3.4による</li> </ul>																																																																													

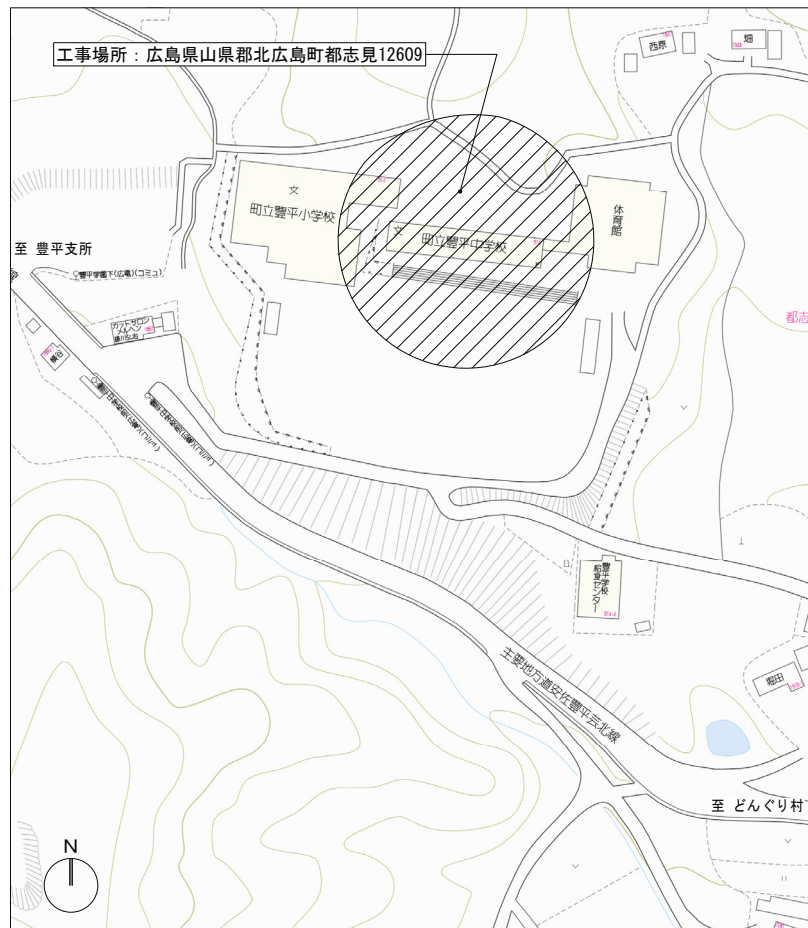
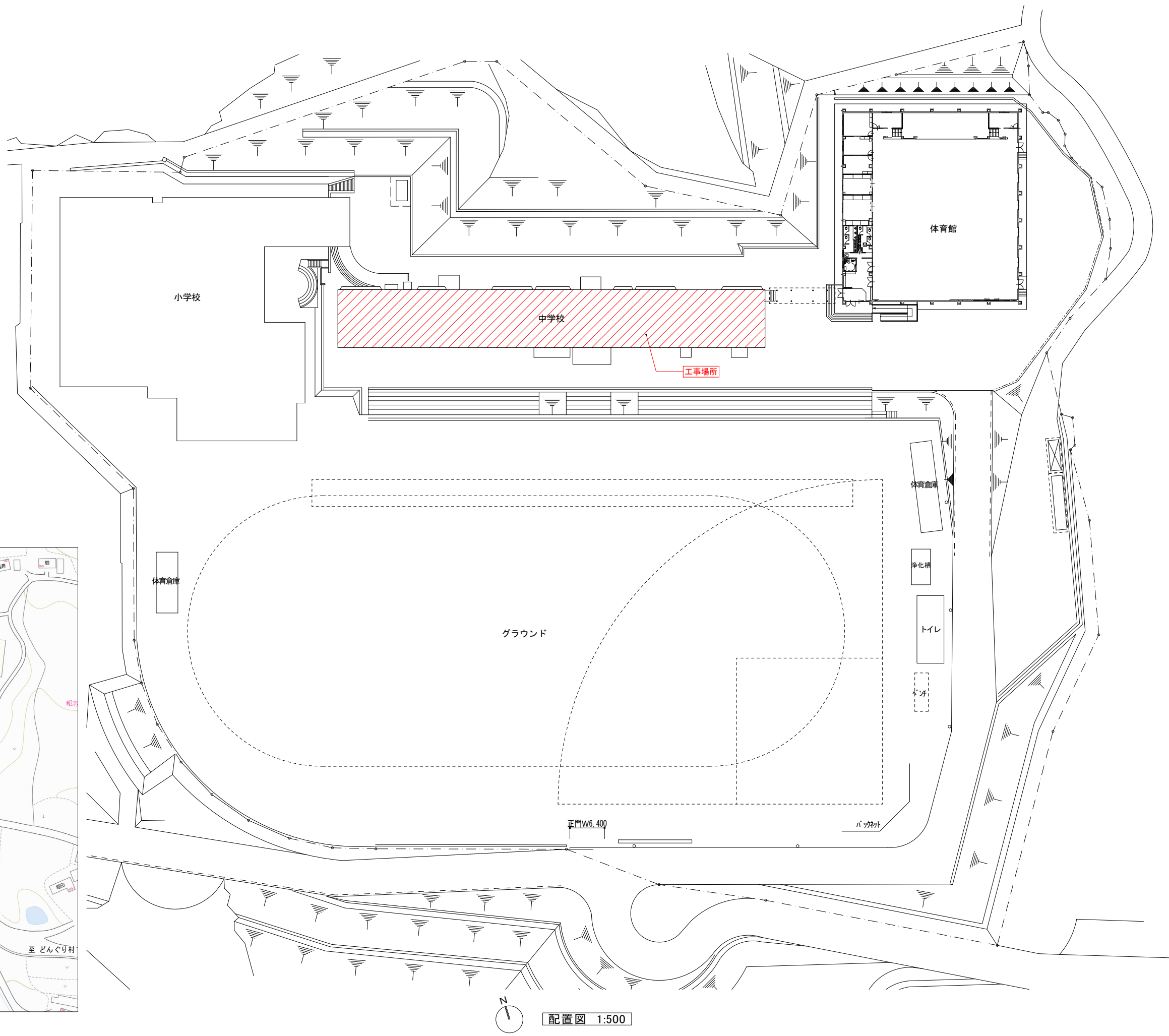
⑩ その他	⑯ コンクリートの乾燥 単位容積質量による 種類及び強度等	<p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4)</p> <p>※ 普通コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (F<sub>c</sub>) [N/mm<sup>2</sup>]</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 24</td> <td>※ 標準仕様書表6.2.2による</td> <td>※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)</td> </tr> <tr> <td>○ 21</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	設計基準強度 (F <sub>c</sub> ) [N/mm <sup>2</sup> ]	スランプ (cm)	適用箇所	※ 24	※ 標準仕様書表6.2.2による	※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)	○ 21															
		設計基準強度 (F <sub>c</sub> ) [N/mm <sup>2</sup> ]	スランプ (cm)	適用箇所																				
		※ 24	※ 標準仕様書表6.2.2による	※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)																				
		○ 21																						
		⑪ セメント	⑰ セメント	<p>種類 (6.3.1)</p> <p>※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種</p>																				
				⑱ 無筋コンクリート	⑰ セメント	<p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2)</p> <p>せき板の材料 ※ 合板 厚さ (※ 12mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ メッシュ型枠</li> <li>・ 断熱材を兼用した型枠 厚さ25mm以下かつ熱抵抗値1m<sup>2</sup>・K・Ca<sup>-1</sup>以上</li> </ul>																		
						⑳ 床コンクリート 直均し仕上げ	⑱ 無筋コンクリート	<p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>設計基準強度 (F<sub>c</sub>) [N/mm<sup>2</sup>]</th> <th>スランプ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 普通コンクリート</td> <td>※ 18</td> <td>※ 15</td> <td>※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(9)による</td> </tr> </table>	種類	設計基準強度 (F <sub>c</sub> ) [N/mm <sup>2</sup> ]	スランプ (mm)	施工箇所	※ 普通コンクリート	※ 18	※ 15	※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(9)による								
								種類	設計基準強度 (F <sub>c</sub> ) [N/mm <sup>2</sup> ]	スランプ (mm)	施工箇所													
								※ 普通コンクリート	※ 18	※ 15	※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(9)による													
								㉑ あと施工アンカー	㉑ あと施工アンカー	<p>種類 (8.1.4) (表8.1.5)</p> <p>仕上げる平たんさは、図示以外は下記による</p> <p>改修標準仕様書表8.1.5に よる平たんさの種類別</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>a種</td> <td>合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、 フリーアクセスフロア(蓋敷式)</td> </tr> <tr> <td>b種</td> <td>カーベット張り、防水下地、セルフレベリング材張り</td> </tr> <tr> <td>c種</td> <td>タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア(支柱調整式)</td> </tr> </table>	種類	施工箇所	a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、 フリーアクセスフロア(蓋敷式)	b種	カーベット張り、防水下地、セルフレベリング材張り	c種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア(支柱調整式)						
種類	施工箇所																							
a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、 フリーアクセスフロア(蓋敷式)																							
b種	カーベット張り、防水下地、セルフレベリング材張り																							
c種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア(支柱調整式)																							
㉒ トイレブース	㉒ トイレブース	<p>6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカーの確認試験 ※ 行う 確認強度 ( ) ○ 行わない (14.1.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面材の材料</th> <th>脚部</th> <th>ドアエッジ</th> </tr> <tr> <td>※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※ 幅木タイプ</td> <td>※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材</td> </tr> </table>	表面材の材料							脚部	ドアエッジ	※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ	※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材										
		表面材の材料	脚部	ドアエッジ																				
		※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ	※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材																				
		⑩ その他	⑯ コンクリートの乾燥 単位容積質量による 種類及び強度等	<p>(品質・性能)</p> <p>(1) パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>表面材</td> <td>メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。</td> </tr> <tr> <td>裏打ち材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>心材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>枠材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっきエッジ材 処理を施した材料とする。</td> </tr> <tr> <td>小口</td> <td>防水処理を施す。</td> </tr> </table>	項目	品質・性能	表面材			メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。	裏打ち材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっきエッジ材 処理を施した材料とする。	小口	防水処理を施す。						
				項目	品質・性能																			
				表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。																			
				裏打ち材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																			
				心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																			
				枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっきエッジ材 処理を施した材料とする。																			
				小口	防水処理を施す。																			
⑩ その他	⑯ コンクリートの乾燥 単位容積質量による 種類及び強度等			<p>(2) 構造金物</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>脚部</td> <td>JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。</td> </tr> </table>	項目	品質・性能	脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。																
				項目	品質・性能																			
				脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。																			
		⑩ その他	⑯ コンクリートの乾燥 単位容積質量による 種類及び強度等	<p>(3) 付属金物</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>ヒンジ</td> <td>耐蝕性のあるものとする。</td> </tr> <tr> <td>ラッチセット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。</td> </tr> </table>	項目	品質・性能	ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。	ラッチセット		戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。												
				項目	品質・性能																			
				ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。																			
				ラッチセット																				
				戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。																			
				⑩ その他	⑯ コンクリートの乾燥 単位容積質量による 種類及び強度等	<p>(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による。</p>																		
						⑩ その他	⑯ コンクリートの乾燥 単位容積質量による 種類及び強度等	<p>(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひたつき性・開閉耐久性</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">品質・性能</th> </tr> <tr> <td></td> <th>耐薬品性及び耐汚染性</th> <th>耐引ひたつき性</th> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材</td> <td>JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>低圧メラミン樹脂系化粧板</td> <td>ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MD F、ポリエステル樹脂系化粧MD F</td> <td>JIS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。</td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧MD F</td> <td>JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧MD F</td> <td>JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。</td> <td></td> </tr> </table>	項目	品質・性能			耐薬品性及び耐汚染性	耐引ひたつき性	メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。	—	低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MD F、ポリエステル樹脂系化粧MD F	JIS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	ポリエステル樹脂系化粧MD F	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。		ポリエステル樹脂系化粧MD F
項目	品質・性能																							
	耐薬品性及び耐汚染性							耐引ひたつき性																
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。							—																
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MD F、ポリエステル樹脂系化粧MD F	JIS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。																						
ポリエステル樹脂系化粧MD F	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。																							
ポリエステル樹脂系化粧MD F	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。																							
⑩ その他	⑯ コンクリートの乾燥 単位容積質量による 種類及び強度等	<p>(試験方法)</p> <p>(1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法—第2部：ドア用金物」に規定する試験による。</p> <p>(2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。</p> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上</p>																						

計 画 概 要		凡 例		防火性能認定番号		特記事項	
<b>建物概要</b> 施設名称 豊平中学校 敷地の場所 広島県山県郡北広島町都志見10914 構造・規模 RC造 3階建て 建築面積：673.4㎡ 延床面積：2024.0㎡ 軒高：12.75m 最高高：16.25m  敷地面積 9750.0㎡ 建物用途 中学校 建設年度 1977年(昭和52年) 耐震補強年度 2008年(平成20年)	一般 C : コンクリート M : モルタル SL : セルフレベリング CB : コンクリートブロック S : 鉄骨(一般形鋼・軽量形鋼)(鋼製床組) LGS : 軽量鉄骨 W : 木組下地 WA : 防湿シート張ベースパネル厚20 GW : グラスウール SGP : 配管用炭素鋼鋼管 VP : 硬質塩化ビニル管(一般管) VU : 硬質塩化ビニル管(薄肉管) VB : パイプレーション仕上(ステンレス) GL : カラーガルバリウム鋼板	左官 外薄塗材E : 外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材 外厚塗材E : 外装合成樹脂エマルジョン系厚付け仕上塗材 内薄E : 内装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材 複層塗材E : 合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材 複層塗材RE : 反応硬化形成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	塗装 SOP : 合成樹脂調合ペイント塗 OP : 油性調合ペイント塗 VE : 塩化ビニル樹脂エナメル塗 CL : クリヤラッカー FE : フタル酸樹脂エナメル塗 NAD : アクリル樹脂系非水分散形塗料塗 AE : アクリル樹脂エナメル DP : 耐候性塗料塗 EP-G : つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗 EP : 合成樹脂エマルジョンペイント塗 EP-T : 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗 UC : ウレタン樹脂ワニス塗 MR : マスチック塗材塗 OS : オイルステイン塗 WP : 木材保護塗料塗	シーリング SR-1 : シリコン系 SR-2 : シリコン系 MS-2 : 変成シリコン系 PU-2 : ポリウレタン系 PS-2 : ポリサルファイド系	GB-R 厚9.5 : 準不燃 QM-9828 GB-R 厚12.5~15.0 : 不燃 NM-8619 GB-F 厚9.5~25.0 : 不燃 NM-8615 GB-RH 厚9.5 : 不燃 NM-8645 GB-NC 厚9.5 : 不燃 NM-8613 GB-S 厚9.5~16.0 : 準不燃 QM-9826 GB-D 厚9.5 : 準不燃 QM-9824 GB-D 厚12.5~15.0 : 不燃 NM-8614 DR 厚9.0 : 不燃 NM-8599 GW-F : 不燃 NM-8600 GW-B : 不燃 NM-8600 ケイカル板厚5~12.0 : 不燃 NM-8576	1. 材料加工に先立ち寸法を実測し、実状に合った寸法に加工する。 2. 内部仕上表の地下欄( )は既設部分を示す。 3. 特記なき限り、撤去部周囲にはカッター入を行う。 4. DP塗の等級は、1級(フッ素樹脂)、2級(シリコン樹脂)、3級(ポリウレタン樹脂)を示す。 5. 6. 7. 8. 9. 10.	参考品番 床 壁 その他 塗料 長尺塩ビシート：東リ ノンワックスリユームNW(高耐久抗菌) フクビ 内装用支持脚 プラ木レン 珪藻土塗：四国化成 けいそうリフォーム 模様付け無し仕上 LGS10：三洋工業 UL工法(乾式軽量フカシ壁工法) メラミン樹脂化粧合板：アイカ工業 セラール 消臭・抗菌タイプ(木目調、石目調) 面台：アイカ工業 ポストフォームカウンター厚20KPA カーテン：サンゲツ ニューメディカル(Sサイズ) 流し台：リクシル GS-S-150MXT  WP塗：大谷塗料 バトン

外 部 仕 上 表

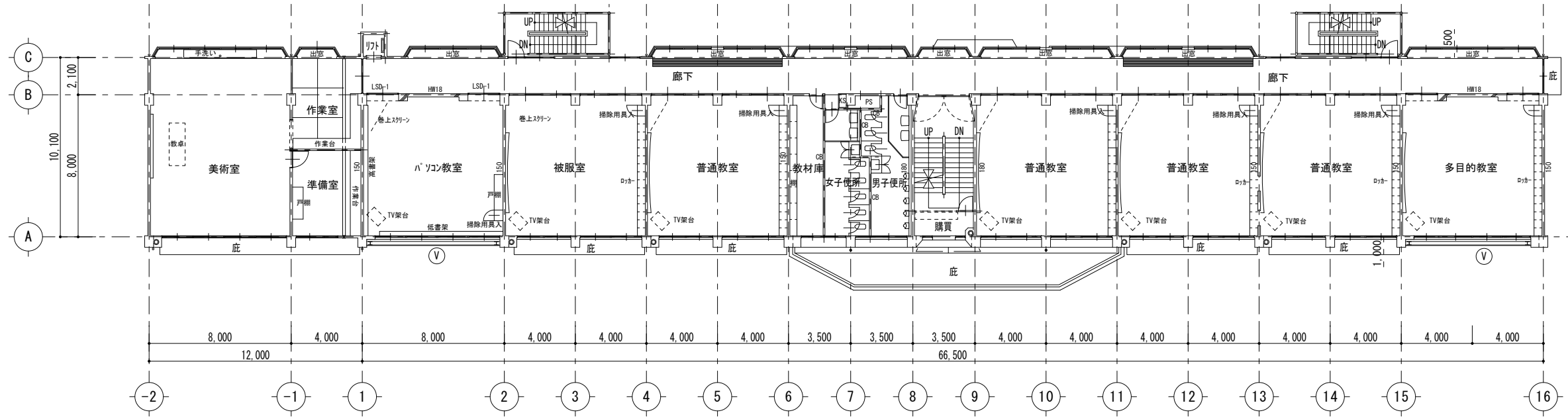
名 称	改 修 前	改 修 後	名 称	改 修 前	改 修 後
屋根	アスファルト防水(PC-1150)、軽量C厚60、伸縮目地 排水溝：防水M直均しW400 パラペット：防水M直均し、C下地(スタイロフォーム厚30打込み) 笠木：防水M直均し				
軒裏	外薄塗材E、M下地				
外壁	外薄塗材E、M下地				
柱型	外薄塗材E、M下地				
梁型	外薄塗材E、M下地				
根廻り	M刷毛引き				
樋	タテ樋：VPφ100 保護管材2000：SOP塗、SGP ルーフトレン：タテ型、錆鉄製コールタール焼付φ100				



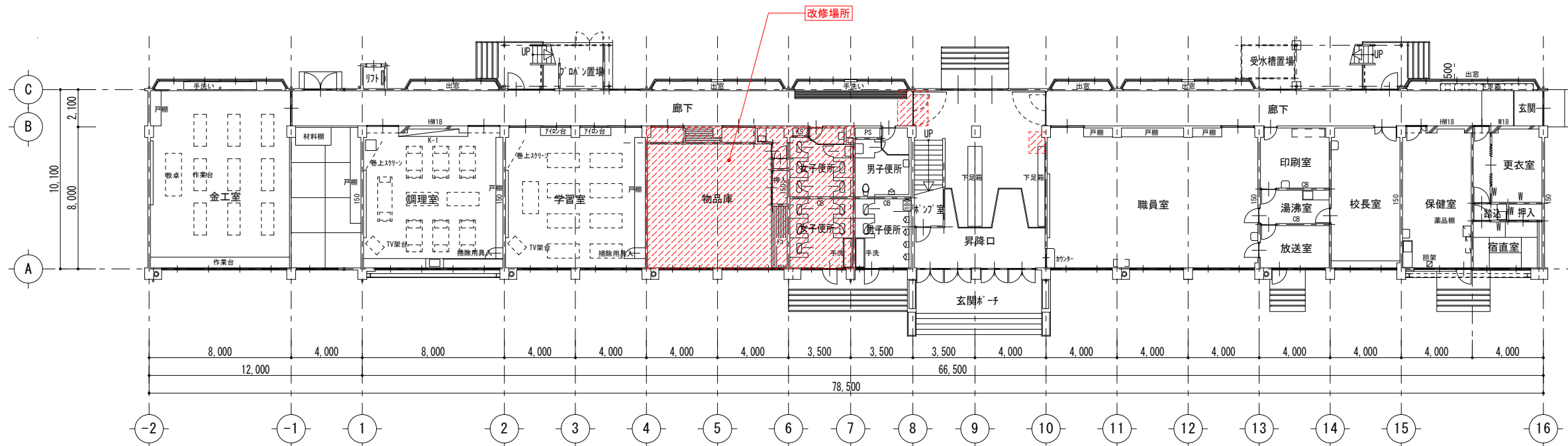


付近見取図

配置図 1:500

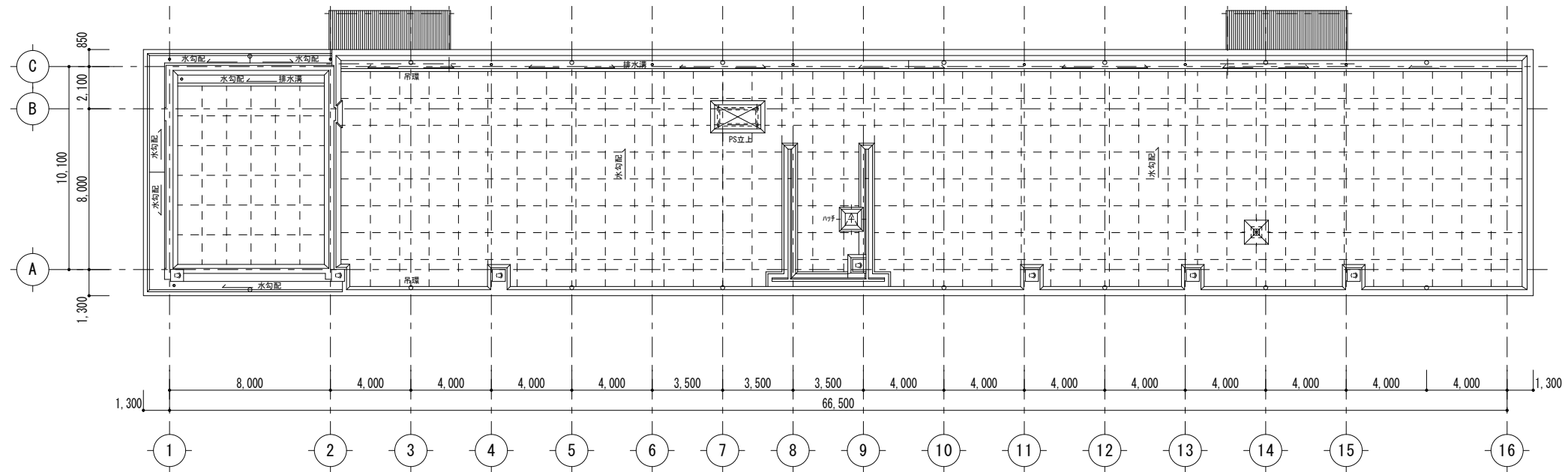


2階平面図 1:200

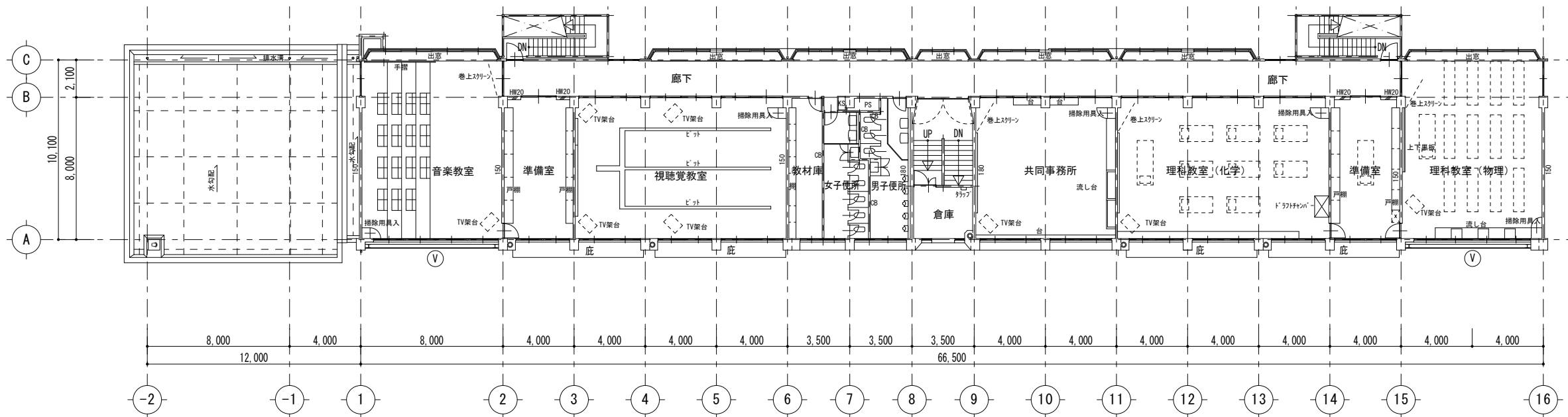


1階平面図 1:200

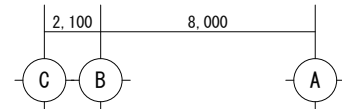
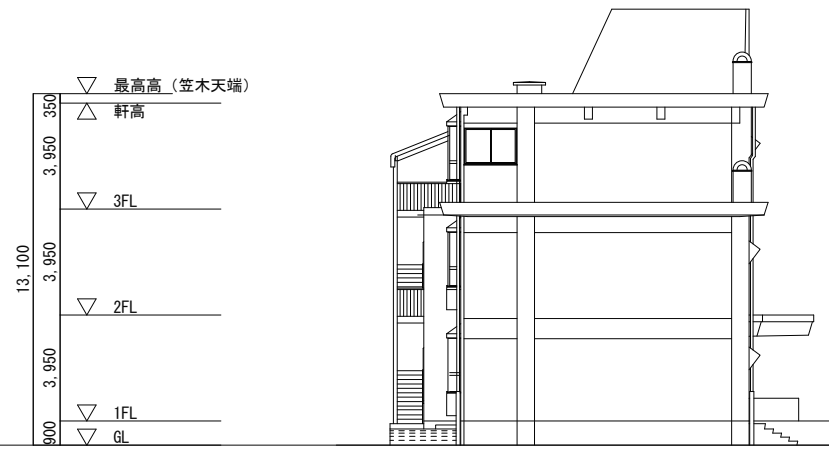




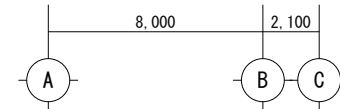
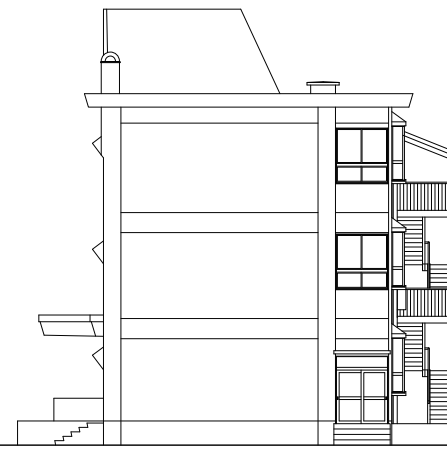
R階平面図 1:200



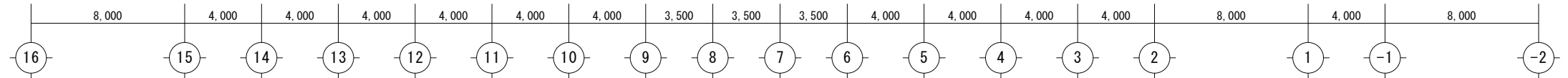
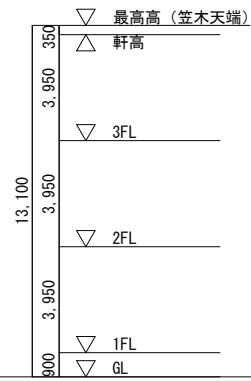
3階平面図 1:200



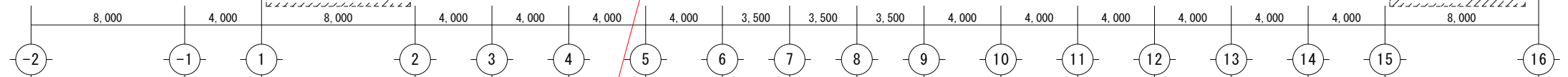
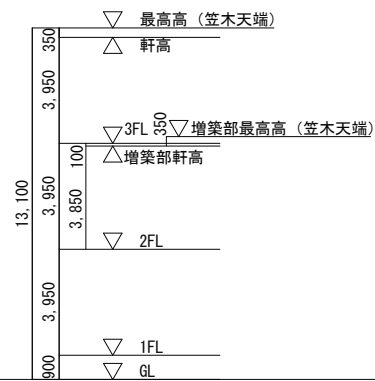
西側立面図 1:200



東側立面図 1:200

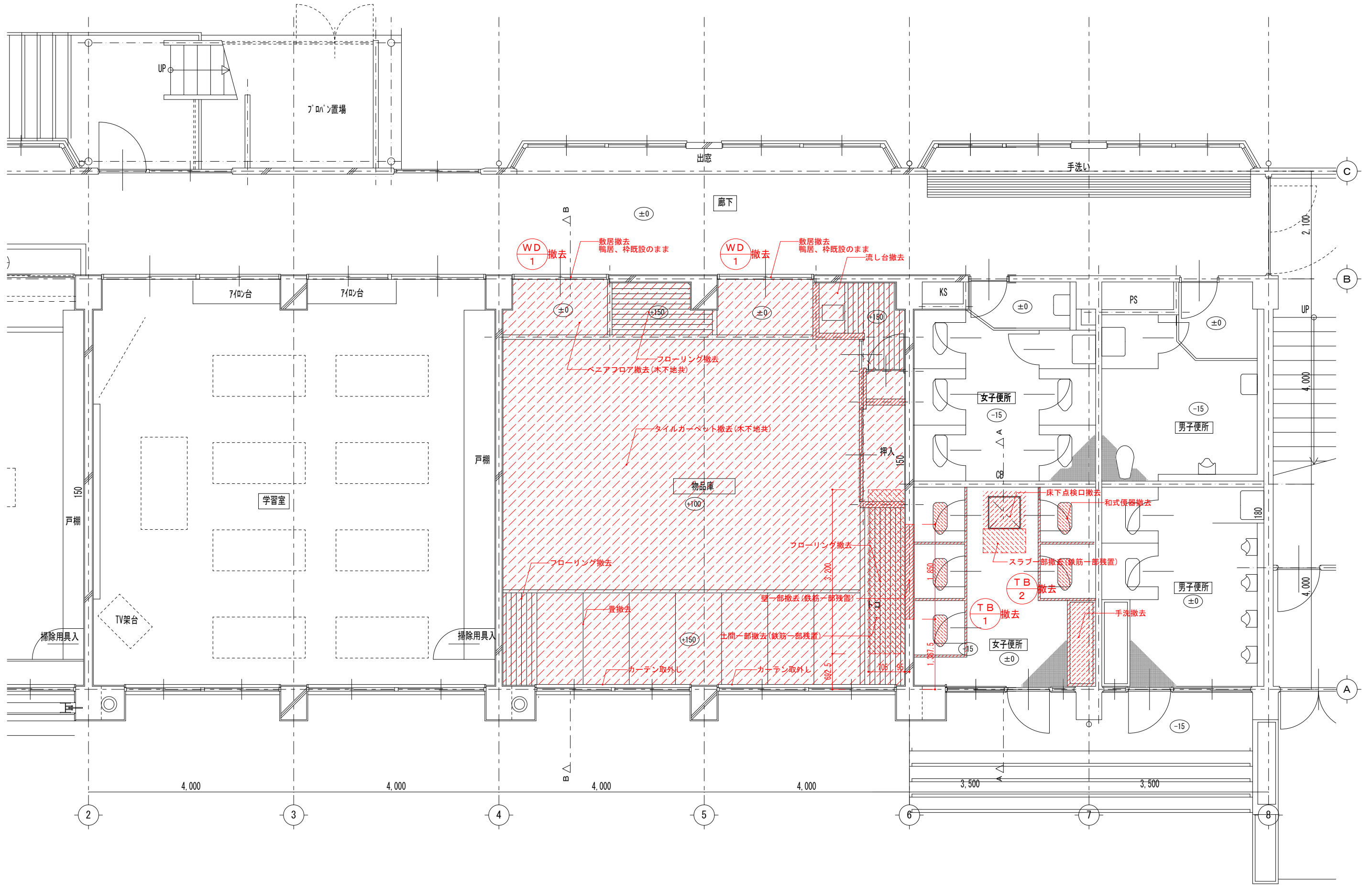


北側立面図 1:200

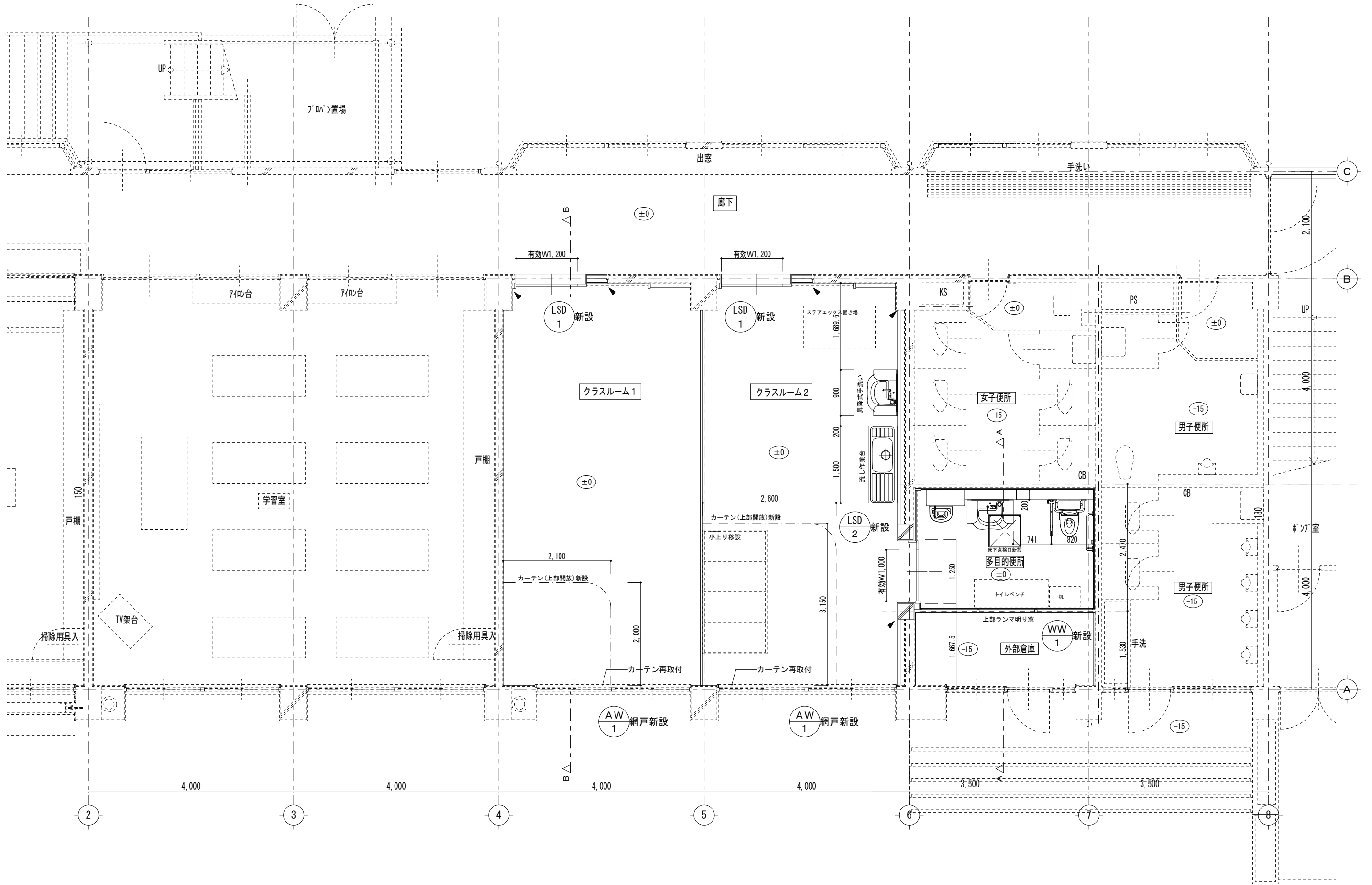


改修場所

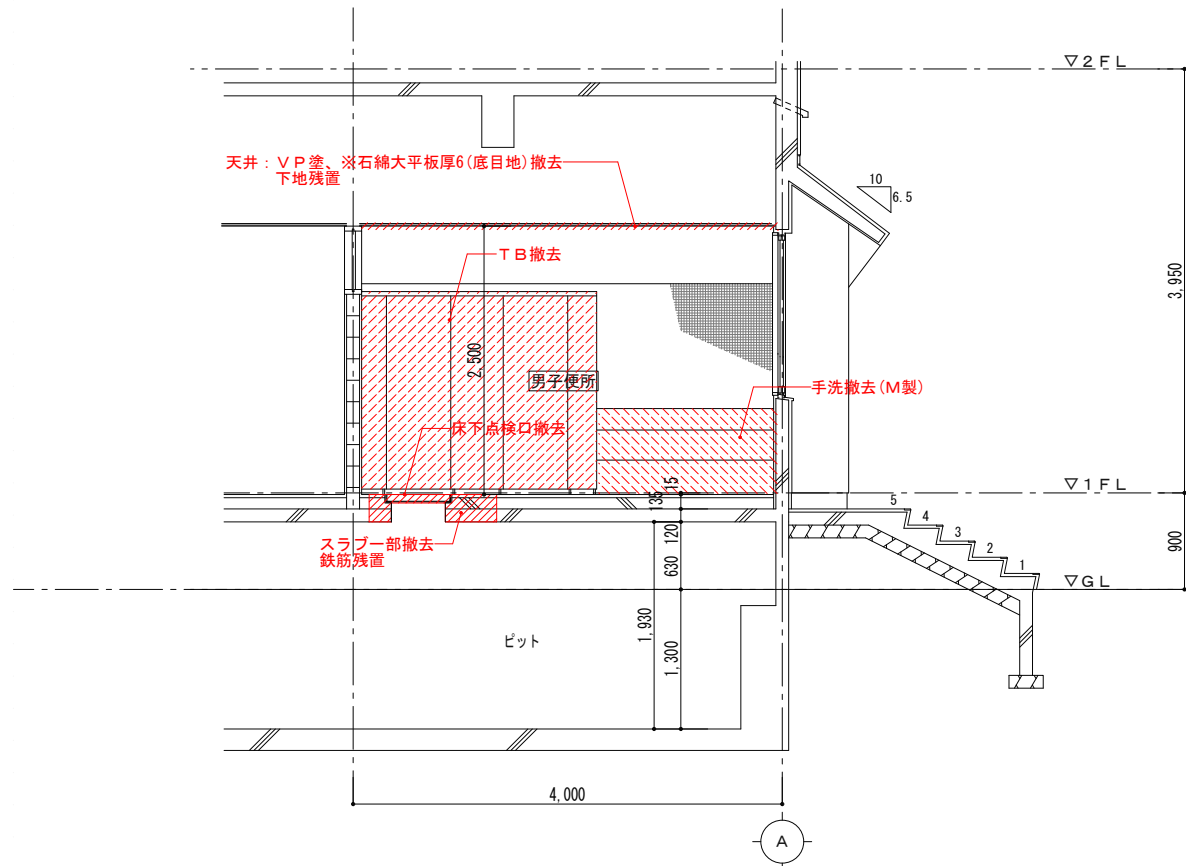
南側立面図 1:200



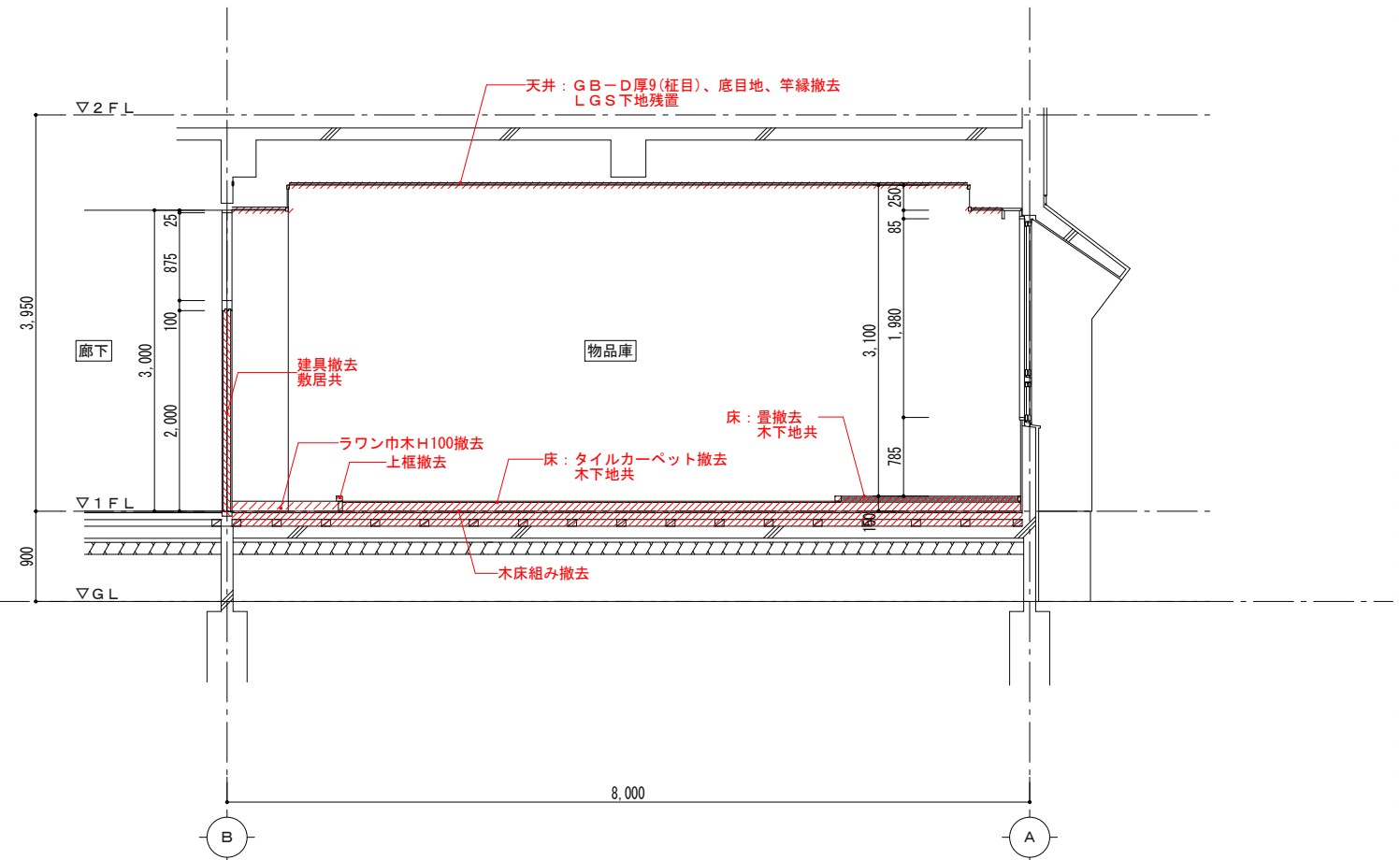
平面詳細図(改修前) 1:50



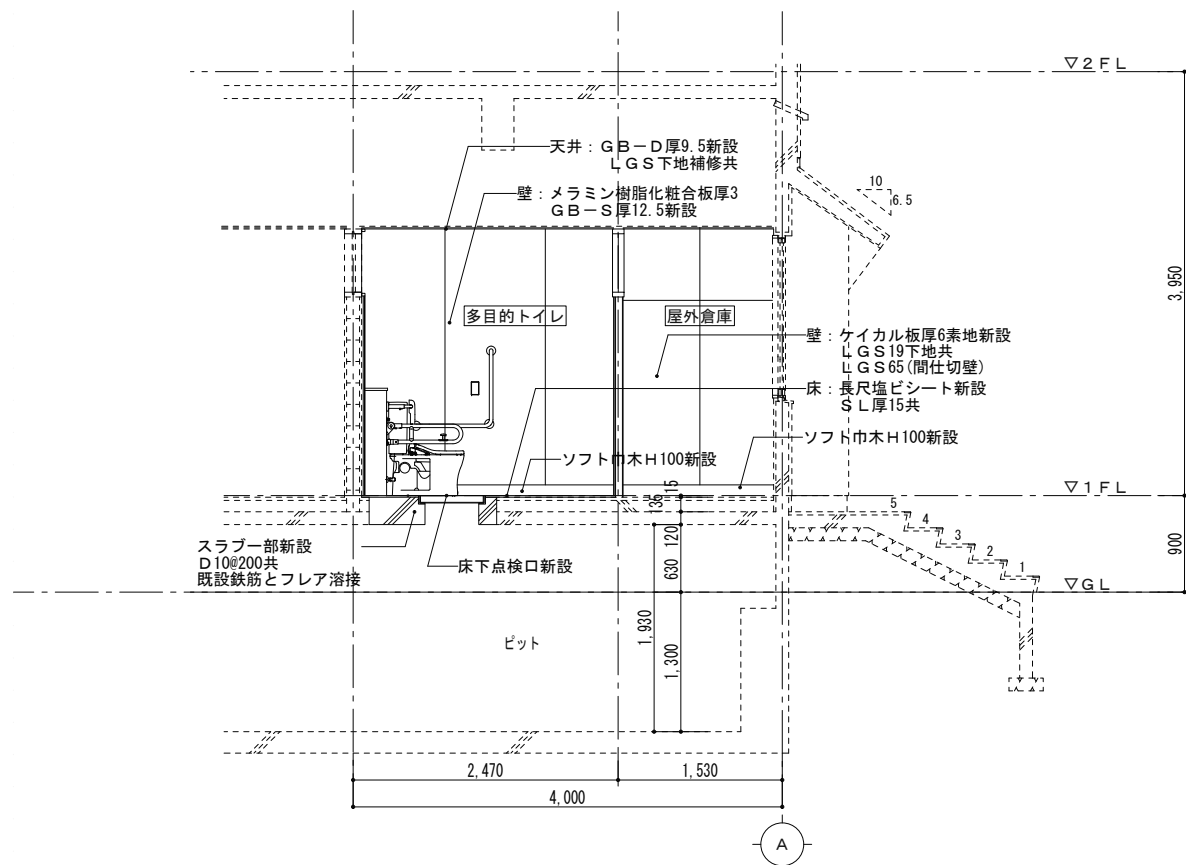
平面詳細図(改修後) 1:50



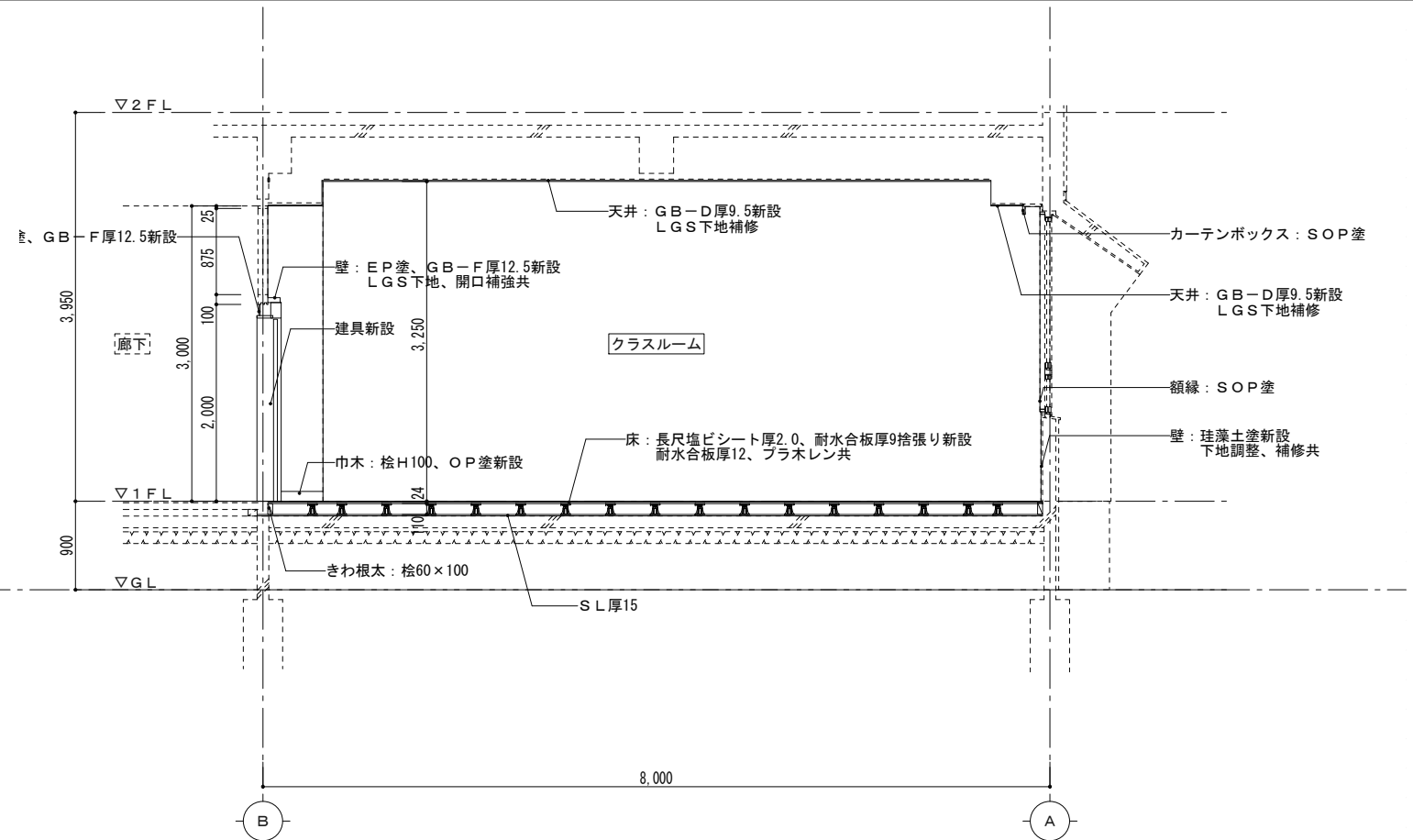
A断面詳細図(改修前) 1:50



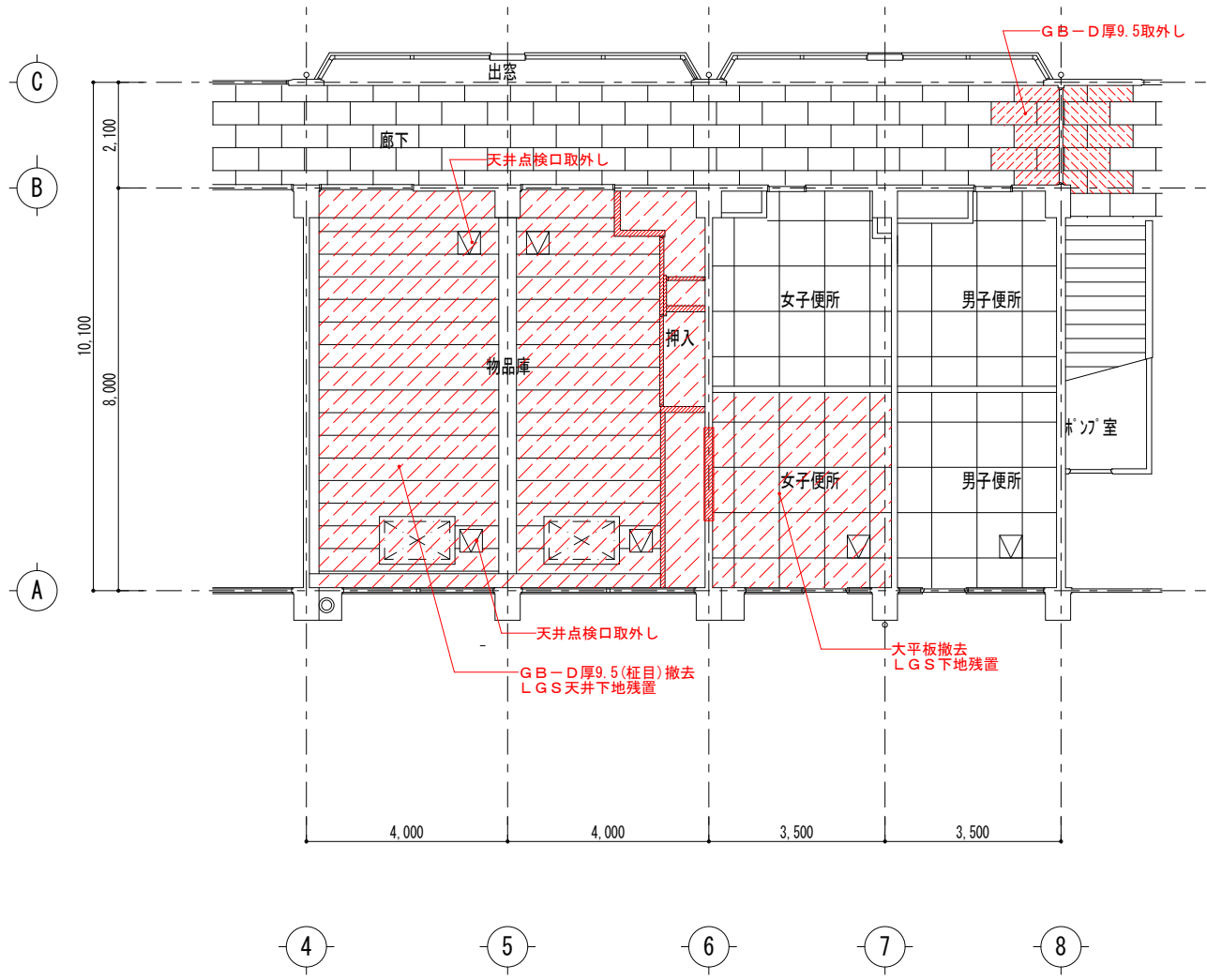
B断面詳細図(改修前) 1:50



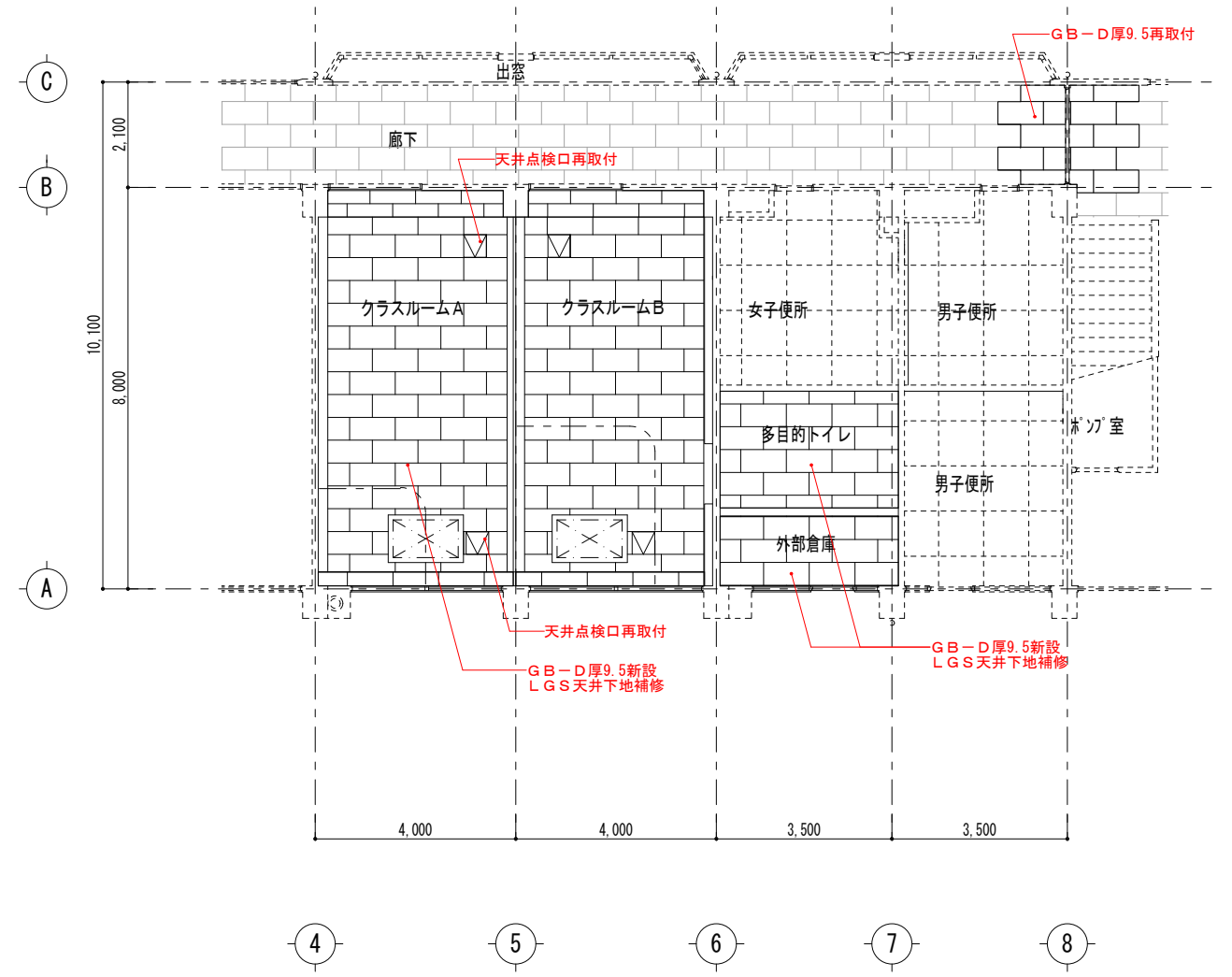
A断面詳細図(改修後) 1:50






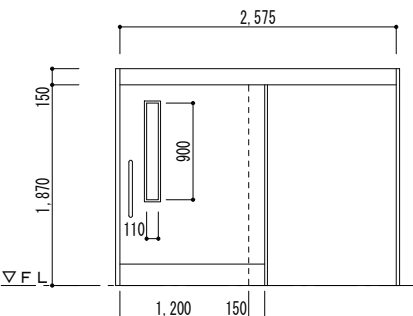
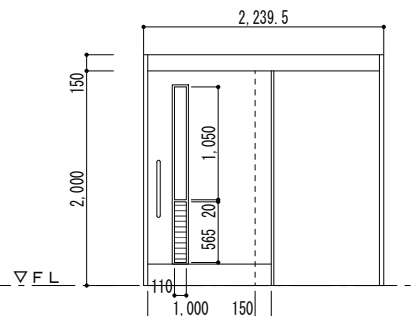
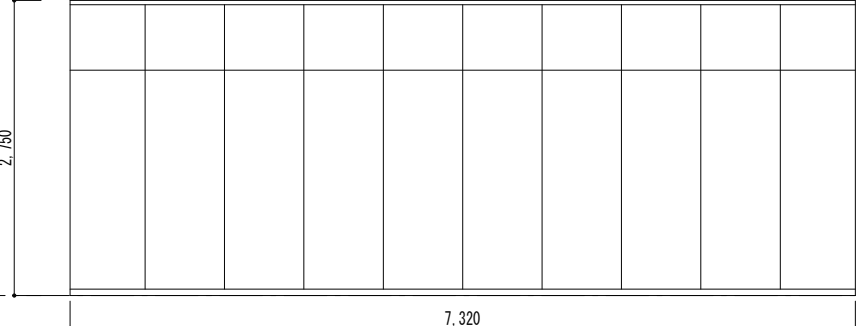



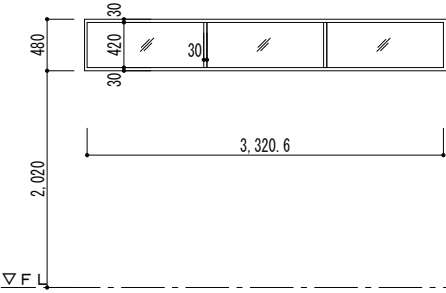
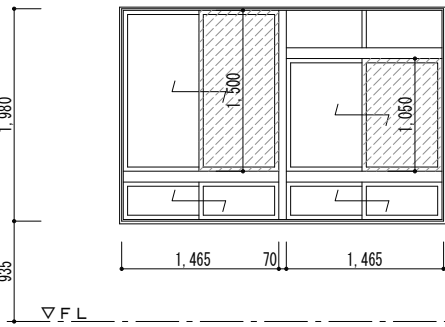
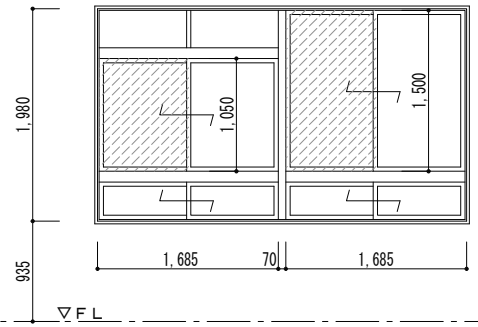
B断面詳細図(改修後) 1:50

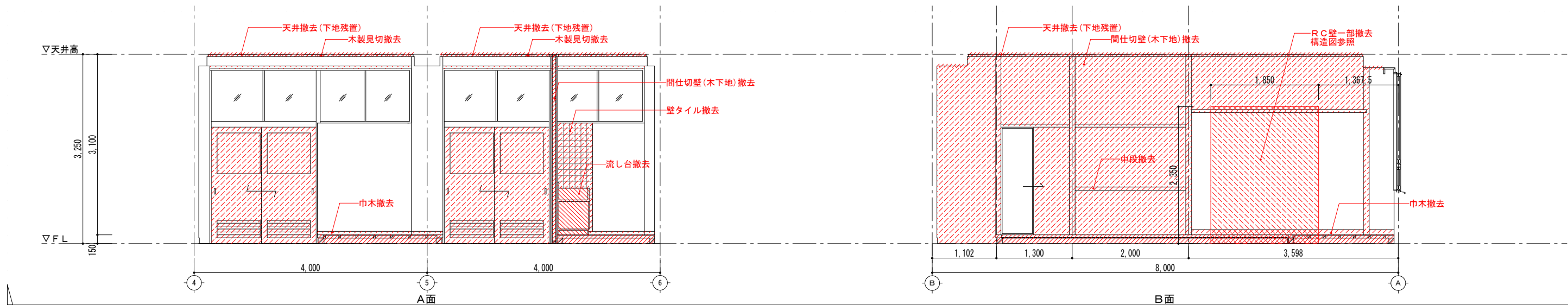


天井伏図(改修前) 1:100

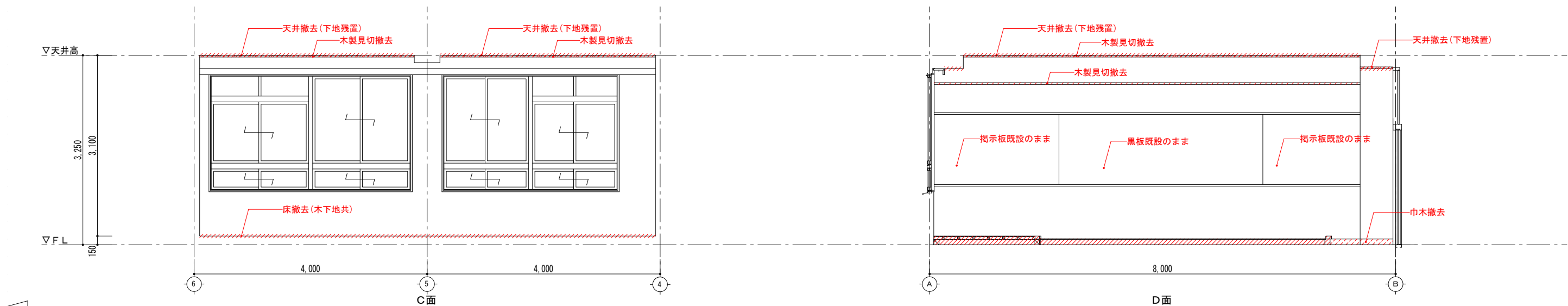


天井伏図(改修後) 1:100

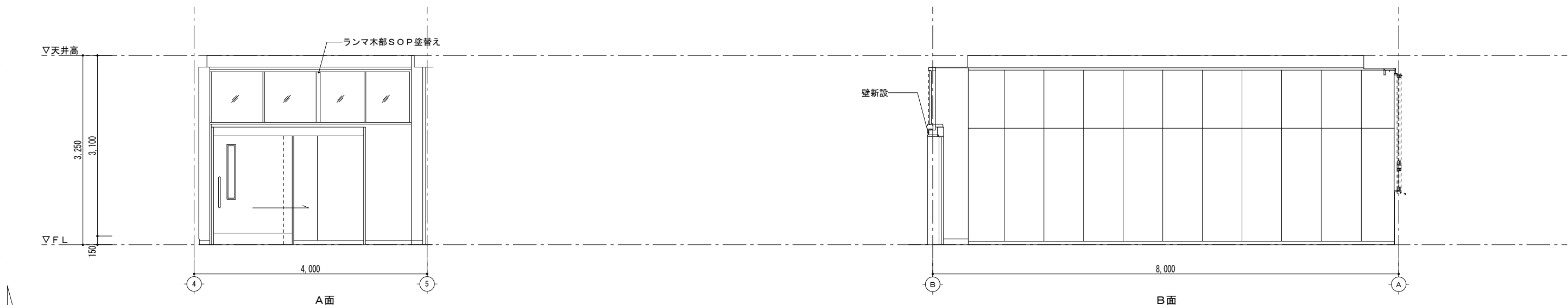
符号	 LSD 1 鋼製軽量片引フラッシュ吊戸		 LSD 2 鋼製軽量片引フラッシュ吊戸		 SP 1 スチールパーティション				
姿図									
場所	数量	クラスルーム 1、2	2	クラスルーム 1、2	1	クラスルーム	1		
枠見込	扉厚	107、170	40	107、165	40		50		
仕上	枠・扉：化粧合板(単色)		枠・扉：化粧合板(単色)		化粧合板(単色)				
金物	標準金物一式、自閉式上吊装置、キックプレート SUS引き棒、SUS沓摺、シリンダー錠		標準金物一式、自閉式上吊装置、キックプレート SUS引き棒、ガラリ		標準金物一式				
ガラス	エッチングガラス(すりガラス調)		エッチングガラス(すりガラス調)						
備考									
符号	 WW 1 FIXランマ				 AW 1 ランマ付連装引違い窓(網戸新設)		 AW 1 ランマ付連装引違い窓(網戸新設)		
姿図									
場所	数量	多目的トイレ	1			クラスルームA	1	クラスルームB	1
枠見込	扉厚	105				70		70	
仕上	杉、SOP塗 方立、ガラス押え縁共				固定式網戸：合成樹脂(斜線部)		固定式網戸：合成樹脂(斜線部)		
金物									
ガラス	強化ガラス厚4								
備考									



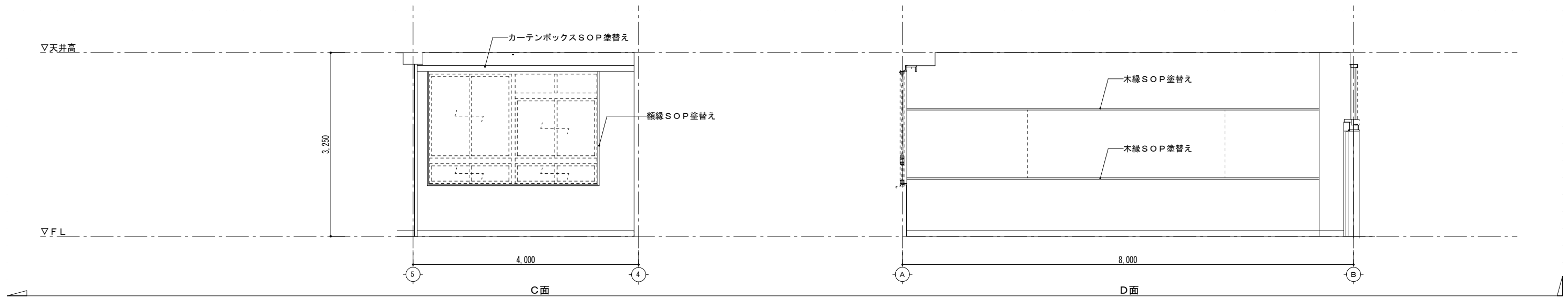
物品庫展開図(改修前) 1:50



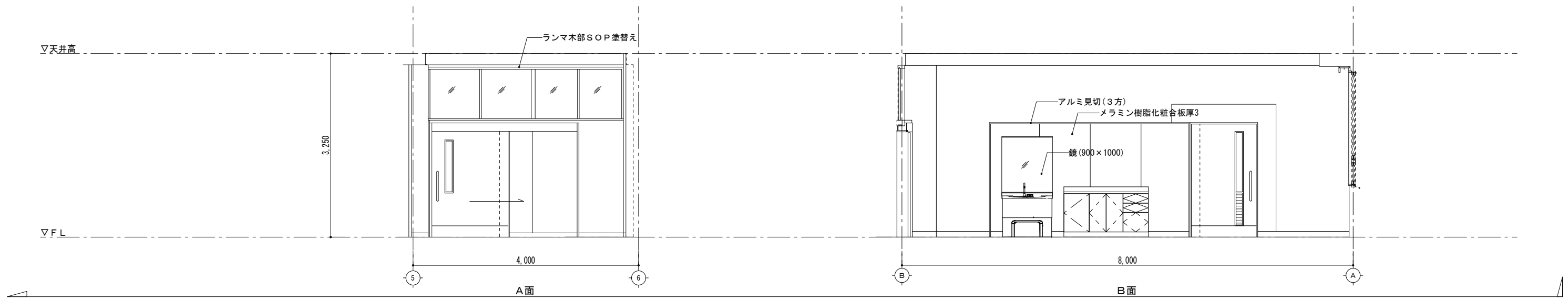
物品庫展開図(改修前) 1:50



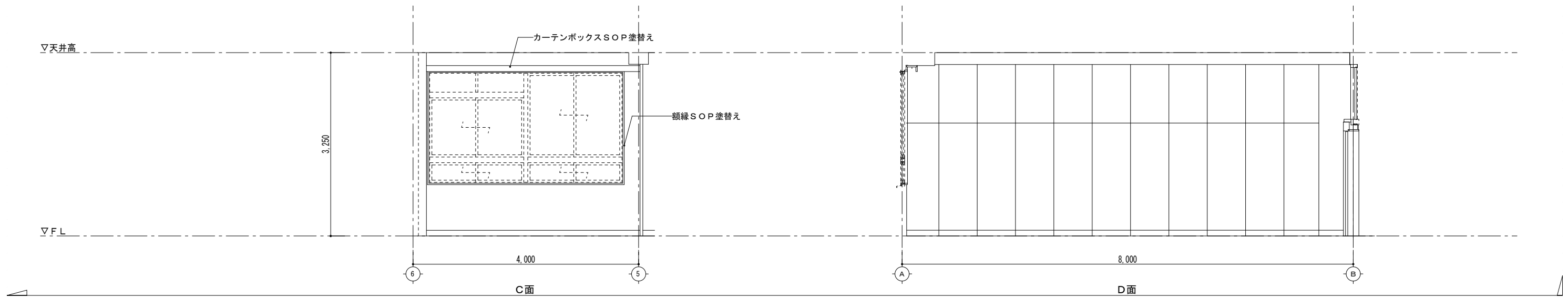
クラスルームA展開図(改修後) 1:50



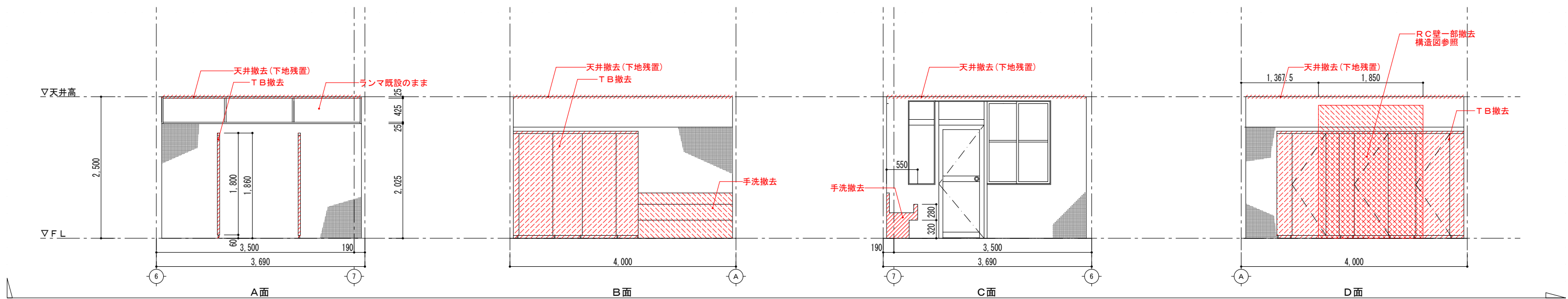
クラスルームA展開図(改修後) 1:50



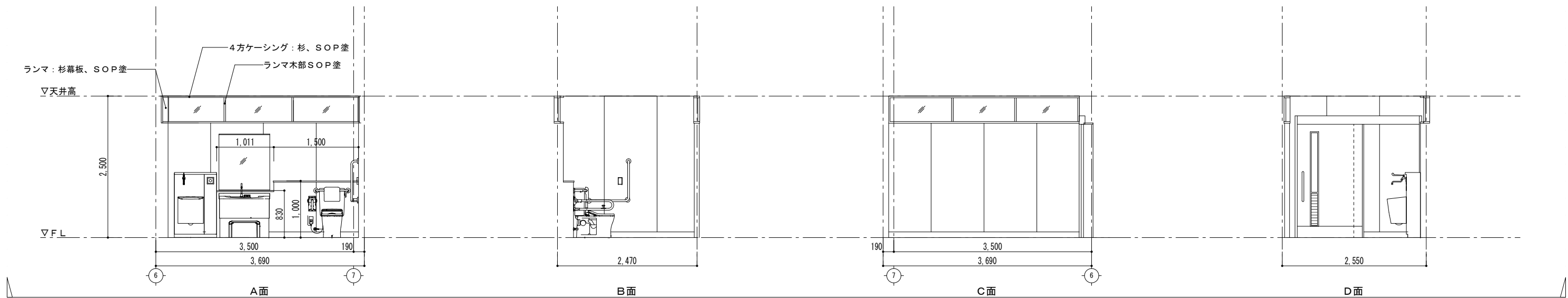
クラスルームB展開図(改修後) 1:50



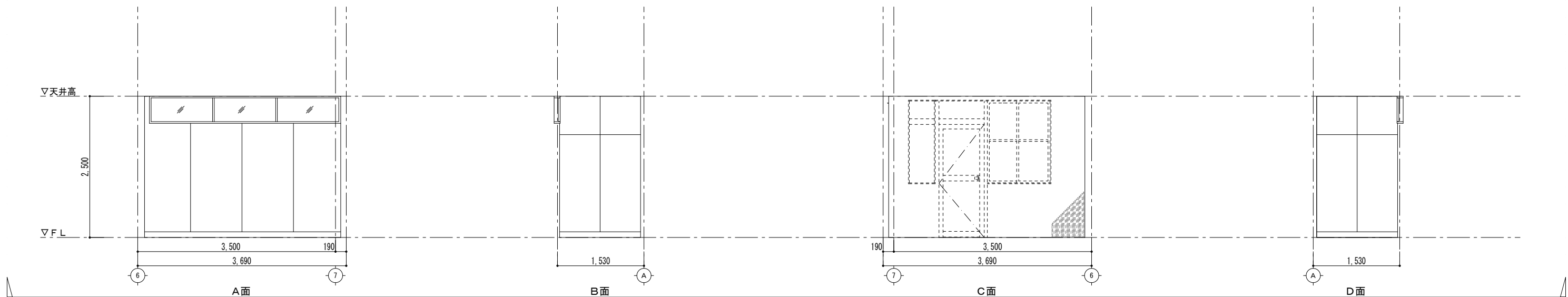
クラスルームB展開図(改修後) 1:50



女子便所展開図(改修前) 1:50

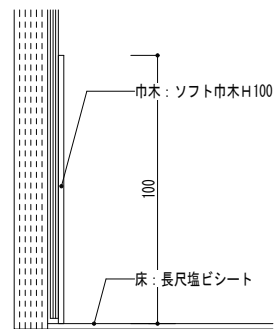


多目的トイレ展開図(改修後) 1:50

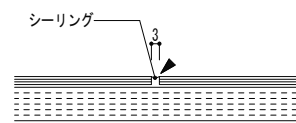


屋外倉庫展開図(改修後) 1:50

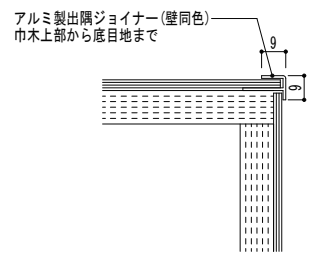
床・壁・天井詳細図 1:2



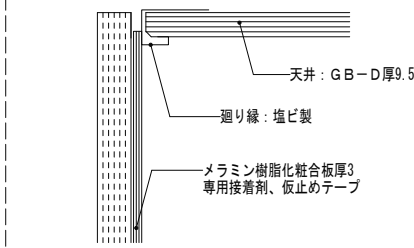
床一壁断面図



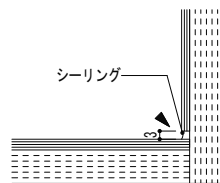
ジョイント部



出隅部



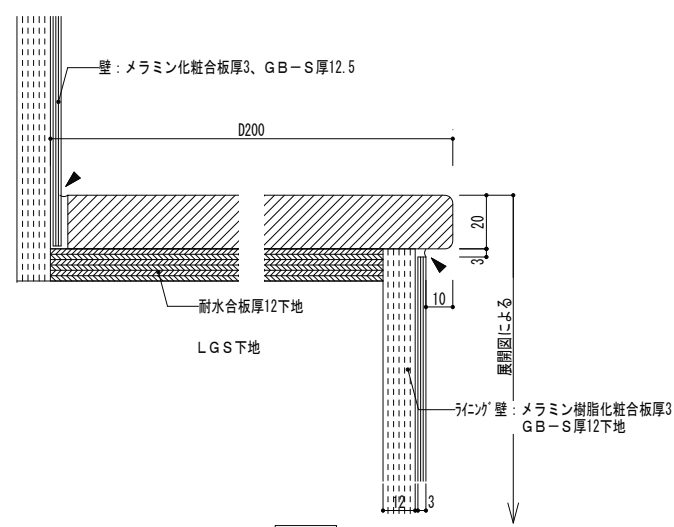
壁一天井平面図



入隅部

壁平面図

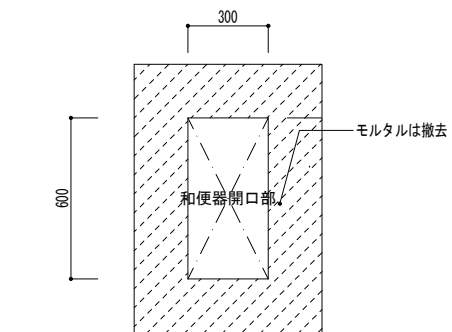
小便器側面台詳細図 1:2



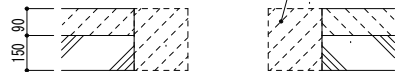
断面図

和便器撤去部詳細図 1:20

改修前

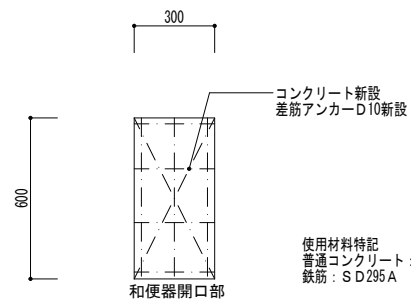


平面図

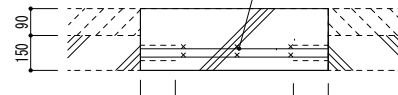


断面図

改修後



平面図



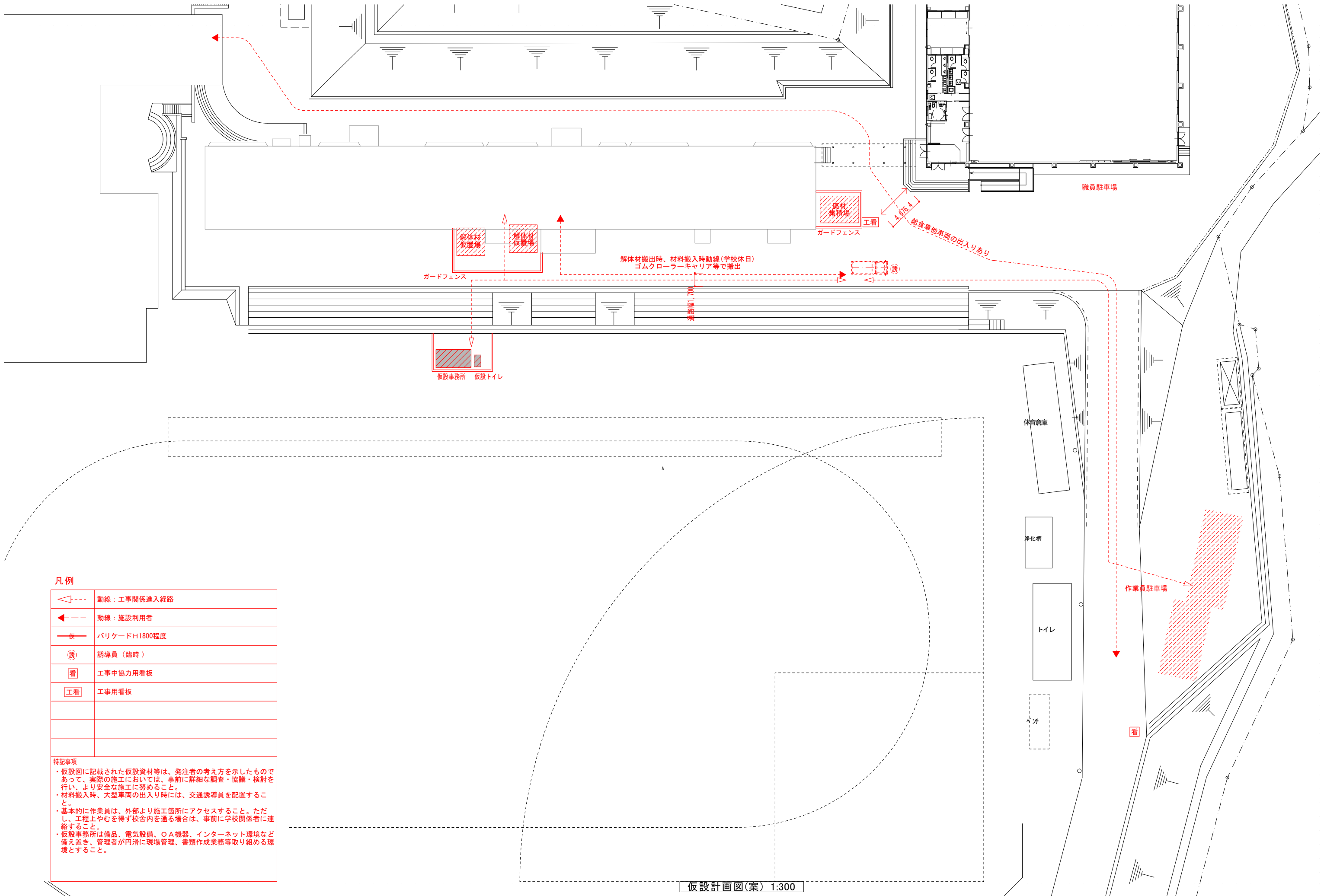
断面図

コンクリート新設  
差筋アンカーD10新設

使用材料特記  
普通コンクリート: 24-18-25N  
鉄筋: S D 295 A

既設スラブ鉄筋がある場合、定着は、  
フレア溶接10d (片面)とする。

コンクリート新設  
D10@200ダブル新設



凡例

	動線：工事関係進入経路
	動線：施設利用者
	バリケードH1800程度
	誘導員（臨時）
	工事中協力用看板
	工事用看板

特記事項

- ・仮設図に記載された仮設資材等は、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工においては、事前に詳細な調査・協議・検討を行い、より安全な施工に努めること。
- ・材料搬入時、大型車両の出入り時には、交通誘導員を配置すること。
- ・基本的に作業員は、外部より施工箇所にアクセスすること。ただし、工程上やむを得ず校内を通る場合は、事前に学校関係者に連絡すること。
- ・仮設事務所は備品、電気設備、OA機器、インターネット環境など備え置き、管理者が円滑に現場管理、書類作成業務等取り組める環境とすること。

仮設計画図(案) 1:300

特記仕様書(構造関係)													
8-1 鉄筋工事	1 鉄筋	鉄筋の種類等 [8.2.1]	鉄筋の種類等	種類	呼び名	備考							
	2 溶接金網	鉄線の形状等 [8.2.2]	種類	種類の記号	網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位							
8-2 コンクリート工事	1 適用範囲	※改修標準仕様書 第8章 耐震改修工事 ・改修標準仕様書において第8章耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分	コンクリートの種類	コンクリートの種類	呼び名	備考							
	2 既存部分の処理等	既存構造体の撤去 [8.2.1][8.2.2][8.2.3][8.2.4][8.2.5] 撤去範囲 ※構造図による はつり出し鉄筋及び鉄骨の処置 ※露出部分は、錆止め塗料塗りを要する 既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度及び範囲 [8.2.1][8.2.3][8.2.3] 既存柱、梁面 ※打継ぎ面の15~30%程度に、平均深さ2~5mm(最大7mm)程度の凹凸処理を施す。 ・構造図による 既存壁 ※打継ぎ面の10~15%程度に、平均深さ2~5mm(最大7mm)程度の凹凸処理を施す。 ・構造図による 既存杭の撤去等 [8.2.2] ・撤去範囲及び撤去方法 ※構造図による ・杭頭部の処理 ※構造図による ・既存杭の補強 ※構造図による ・既存杭の健全性を確認する試験 ※構造図による	① コンクリートの種類 [8.1.3] ※I類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・II類 (JIS A 5308に適合したコンクリート) ② コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等 [8.1.3.4][8.2.5] ※普通コンクリート 設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> ) スラブ (cm) 気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> ) 適用箇所 ・24 ・改修標準仕様書表8.1.2による 2.3程度 構造図による ○21 構造体強度補正值 ※改修標準仕様書表8.2.4による 構造図による ・軽量コンクリート [8.1.3.4][8.2.5][8.9.2] 設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> ) スラブ (cm) 気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> ) 種類 適用箇所 ・ ※21 ・ 1種・2種 構造図による 構造体強度補正值 ※改修標準仕様書表8.2.4による 構造図による	③ セメント [8.2.5] 種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする ・高炉セメントB種 適用箇所( ) ・フライアッシュセメントB種 適用箇所( )	④ 骨材 [8.2.5] アルカリシリカ反応性による区分 ※A・B	5 混和材料 [8.2.5] ・混和剤 混和剤の種類 ※改修標準仕様書 8.2.5(4)(a)による 構造図による ・混和材 混和材の種類 ※改修標準仕様書 8.2.5(4)(b)による 構造図による	6 構造体用モルタル [8.2.6] 圧縮強度( ) フロー値( )	7 層中コンクリート [8.10.2] 構造体強度補正值 ※6N/mm <sup>2</sup> 構造図による	8 マスコンクリート [6.13.1][6.13.2][6.13.2][6.13.2] 適用箇所 ※構造図による セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント ・( ) 混和材料 ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.13.2(2)(7)による 構造図による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.13.2(2)(4)による 構造図による スラブ ※15cm ・( )cm 構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.13.1による 構造図による	9 無筋コンクリート [8.11.1][8.11.1] コンクリートの種類 ※普通コンクリート ( ) 設計基準強度 ※18N/mm <sup>2</sup> ・( )N/mm <sup>2</sup> スラブ ※15cm又は18cm ・( )cm セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 適用箇所 ※構造図による 10 流動化コンクリート [6.15.1] 適用箇所 ※構造図による 11 構造体コンクリートの仕上り [8.1.4] 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げの仕上り [8.1.4] コンクリートの仕上りの平坦さ ※意匠図による 12 打増し厚さ(打放し仕上げ部) [8.7.8] ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・( )mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm・20mm ・( )mm ・外装タイル張り面の打増し処理 ・20mm ・床型枠用鋼製デッキプレート梁側面部の打増し処理 プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う ・10mm・20mm ・( )mm 13 型枠 [8.2.7] せき板の材料及び厚さ ※合板 厚さ ※12mm ・( )mm ・メッシュ型枠(使用部位 ※構造図による) ・床型枠用鋼製デッキプレート(施工範囲 ※構造図による) ・断熱材を兼用した型枠材 使用箇所 ※構造図による ・MCR工法用シート 適用箇所 ※構造図による 打増し厚さ ・20mm ・( )mm 打増し範囲 ※構造図による 14 型枠の加工及び組立 [8.7.8] スリーブの材質・規格等 ※構造図による 15 コンクリートの打込み工法等 [8.21.8][8.23.5] コンクリートの打設工法の種類 [8.21.8][8.23.5] 補強工法 打設工法 部位 ・現場打ちコンクリート増設工事 ・流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2) ・全ての増設壁 構造図による ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3) ・全ての増設梁 構造図による ・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接フープ巻き工法) ・流込み工法 8.21.8(1)(7)、(2) ・全ての柱補強部分 構造図による ・圧入工法 8.21.8(1)(4)、(3) ・全ての柱補強部分 構造図による 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等 [8.23.6] 柱頭及び柱脚の隙間の寸法 ※構造図による 柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠 ・発泡プラスチック保温材等を埋込む ・構造図による 既存柱外周部あと打ちコンクリート又は構造体用モルタルの厚さ ※構造図による 補強後の仕上げ ※構造図による	8-3 鉄骨工事 1 鉄骨製作工場 [8.1.5] 鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法 第68条の2に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している 鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 ( )グレード以上 ・監督職員の承諾する工場 2 鉄骨製作工場における施工管理技術者 [8.1.6] ・適用する ・適用しない 3 鋼材 [8.2.8] 種類等 [8.2.8] 種類の記号 適用箇所(主要な部分) 規格 ※JIS規格による ※JIS規格による ※JIS規格による ※JIS規格による ※JIS規格による 4 高力ボルト [8.2.9] 高力ボルトの種類 ※トルシア形高力ボルト 2種 (S10T) ・JIS形高力ボルト 2種 (F10T) ・( ) ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項(鉄骨標準図) 1-1 線端距離及びボルト間隔 構造図による 摩擦面の処理方法 [8.14.2] ※自然発錆(黒皮等を除去した後に自然放置して表面に赤さびが発生した状態) ・ブラスト処理(表面粗度50µmRz以上) ・すべり試験の種類 ※すべり係数試験 構造図による ・すべり耐力試験 構造図による 5 溶融亜鉛めっき高力ボルト [8.13.2] セットの種類 ※1種 (F8) 相当 ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項(鉄骨標準図) 1-1 線端距離及びボルト間隔 ・構造図による 摩擦面の処理方法等 [8.20.5] ※ブラスト処理(表面粗度50µmRz以上)又はりん酸塩処理 ・構造図による 6 普通ボルト [7.2.3] ボルト及びナットの材質 ※標準仕様書表7.2.3(JIS附属書品)又は次による ボルトの規格は、JIS B 1102とする。ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。ナットの種類は、六角ナットとし、材料は鋼とする。 7 座金 [7.2.3] ※JIS B 1256による 構造図による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項(鉄骨標準図) 1-1 線端距離及びボルト間隔 ・構造図による 母屋又は副線の取付けに使用するボルトの孔径 [7.3.8] ※ねじの呼び径+1.0mm ・構造図による 8 アンカーボルト [7.2.4)(7.3.2) ・構造用アンカーボルト セットの種類 (JIS B1220) ・ABR400 ・ABR490 ・( ) ・建方用アンカーボルト 種類 ・SS400 ・( ) アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書表7.2.3による ・構造図による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [7.3.2] ※構造図による 8 溶接材料 [8.2.10] 溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・構造図による		

8-3 鉄骨工事	1	スタッド	[8.2.11]	種類等 呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所 - 16 - 19 - 22 JIS B1198 (頭付きスタッド)	8 耐火被覆	種類、材料、工法等 [8.18.2-8] 種類 材料・工法等 性能 (耐火時間) 適用箇所 (部位・部分) 耐火材吹付け 耐火板張り 耐火材巻付け ラス張りモルタル塗り 耐火塗料	8-5 グラウト工事	①	柱底均しモルタル及びグラウト材	[8.2.12]	柱底均しモルタル ※無収縮モルタル	8-8 土工事及び地業工事	①	埋戻し及び盛土	[8.28.3]	埋戻し及び盛土の材料及び工法 ※改修標準仕様書 8.28.3(2)(9)(b)表8.28.11による ・A種 適用場所 ( ) ・B種 適用場所 ( ) ・C種 適用場所 ( ) 土質 ( ) 受渡場所 ( ) ・D種 適用場所 ( ) ・材料 (品質 細粒分 (75 $\mu$ m以下) の含有率 (重力百分率) の上限を50%未満とする) 工法 ( )					
	2	製作精度	[8.13.3]	鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイアグラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ・H12建告第1464号第二号イ(2)による ・構造図による アンダーカットの寸法 ・H12建告第1464号第二号イ(3)による ・構造図による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・構造図による				9	アンカーボルト等の設置等	[7.10.3]	構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ※構造図による 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ※構造図による 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 ※構造図による 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種類 ・A種 ・B種 柱底均しモルタル厚さ及び工法の種類 厚さ ( ) 種類 ※A種 ・B種		②	山留めの撤去	[8.28.3]	鋼矢板等の抜き跡の処理 ※直ちに砂で充填する ・意匠図による 山留めの存置 ・行う 存置範囲 ※現場説明書の施工条件明示による					
	3	溶接技能者の技量付加試験	[8.15.3]	試験の要領 ※構造図による				10	鉄骨ブレース設置後の仕上げ	[8.22.9]	※意匠図による		③	杭地業	[8.28.4]	支持層の位置及び土質 (基礎ぐいの先端位置含む) ※構造図による 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 ※構造図による 試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 ※構造図による 杭の継手の箇所数、材料、工法等 ※構造図による 杭の溶接継手 技能資格者の技量 ※構造図による 溶接部の確認 ※構造図による 杭頭を処理する 処理方法 (切断ともなう補強方法含む) ※構造図による 杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同割合のもの ・構造図による					
	4	溶接接合	[8.15.4]	開先の形状 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-2				8-4 あと施工アンカー工事	1	あと施工アンカー	[8.2.4]		材料等 ・接着系アンカー アンカーの種類 ※カプセル方式回転・打撃式 ( ) 接着剤の品質 ・有機系 ・無機系 アンカー筋の径及び埋込み長さ ※構造図による アンカー筋の種類 ( ) アンカー筋の新設壁内への定着の長さ ※構造図による ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ※構造図による	④	砂利地業	[8.2.15]	材料 ・再生クラッシュラン ・切込砂利又は切込砕石 砂利厚さ ※60mm ( ) mm				
	5	溶接接合	[8.15.7]	エンドタブの切断部分 切断する箇所 ※構造図による 切断する範囲 ・構造図による ・エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線上に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する 切断部の仕上げ ※改修標準仕様書8.15.7(1)(a)(b)②による ・構造図による										2	穿孔	[8.12.4]	埋込み配管等の探査方法 ※鉄筋探知器 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつり出しによる ( )	⑤	捨コンクリート地業	[8.28.4]	捨コンクリートの厚さ ※50mm ( ) mm コンクリートの種類 ※普通コンクリート ( ) 設計基準強度 ※18N/mm <sup>2</sup> ( ) N/mm <sup>2</sup> スランプ ※15cm又は18cm ( ) cm
	6	溶接接合	[8.15.7]	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-4 ・構造図による 適用箇所 ※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 ・構造図による										3	施工確認試験	[8.12.7]	試験方法 ※引張試験機による引張試験 確認強度 ※構造図による	1	スリットの方式、幅及び深さ	[8.25.2]	方式 ・完全 ・部分 幅及び深さ ※構造図による 設置箇所 ※構造図による
	7	溶接部の試験	[8.15.12]	平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査②										4	施工管理技術者	[8.12.1]	(社) 日本建築あと施工アンカー協会が定める「あと施工アンカー技術管理士」の資格以上の能力を有する者とする。	2	スリットの施工前の埋込み配管等の探査	[8.12.4]	既存撤去部の埋込み配管等の探査方法 ※鉄筋探知器 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつりだしによる
8	溶接部の試験	[8.17.2]	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-4 ・構造図による 適用箇所 ※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 ・構造図による	2	穿孔	[8.12.4]	埋込み配管等の探査方法 ※鉄筋探知器 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつり出しによる ( )					3		スリット充填材の挿入及び周囲補修等	[8.25.2]	耐火材 使用箇所及び仕様 ※構造図による 遮音材 使用箇所及び仕様 ※構造図による 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 ・構造図による					
9	溶接部の試験	[8.17.4]	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-4 ・構造図による 適用箇所 ※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 ・構造図による	3	施工確認試験	[8.12.7]	試験方法 ※引張試験機による引張試験 確認強度 ※構造図による					3		スリット充填材の挿入及び周囲補修等	[8.25.2]	耐火材 使用箇所及び仕様 ※構造図による 遮音材 使用箇所及び仕様 ※構造図による 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 ・構造図による					
10	溶接部の試験	[8.17.2]	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-4 ・構造図による 適用箇所 ※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 ・構造図による	4	施工管理技術者	[8.12.1]	(社) 日本建築あと施工アンカー協会が定める「あと施工アンカー技術管理士」の資格以上の能力を有する者とする。					3		スリット充填材の挿入及び周囲補修等	[8.25.2]	耐火材 使用箇所及び仕様 ※構造図による 遮音材 使用箇所及び仕様 ※構造図による 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 ・構造図による					

一般事項

- 適用範囲
  - 耐震改修共通事項は、耐震改修工事における構造関係の共通事項とする。
  - 耐震改修共通事項以外については、設計図及び監督職員の指示による。
- 設計図書の間で配筋方法に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。
  - 改修特記仕様書
  - 図面
    - 2-1 耐震改修標準図、構造関係共通事項（配筋標準図、鉄骨標準図）を除く図面
    - 2-2 耐震改修標準図、構造関係共通事項（配筋標準図、鉄骨標準図）
  - 国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」
- 用語の定義
  - 異形鉄筋の径（本文、図・表において「D、d」で示す。）は、呼び名に用いた数値とする。
  - 長さ、厚さの単位は、特記なき限りmmとする。

表1.1 鉄筋の断面表示

記号	●	×	○	○	○	○	○
異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29

表1.2 各階伏図における記号

記号	説明	記号	説明
○S*	スラブの配筋種別	⊕	杭の位置
◇	スラブ厚さ	⊕	試験杭の位置
○	階段の配筋種別	▨	打増しの範囲
○D0	土間コンクリート	⊗	スラブ開口
▨	コンクリートブロック壁（CB壁）	⊕	ボーリング位置
▨	梁・スラブの上がり下がり範囲	(±)	FLからの上がり下がり

- 使用材料
  - スパイラル筋 JIS G 3112 SR235

形状は下記による。

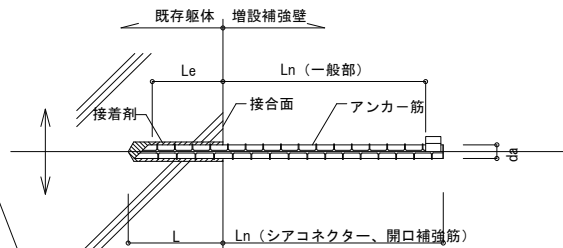


壁厚	割裂防止筋

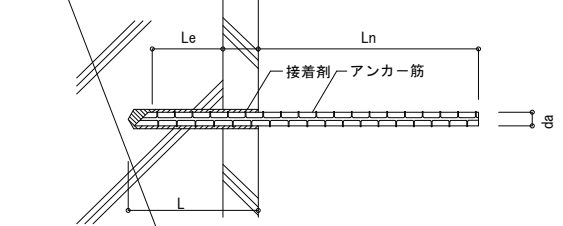
- 注意事項
  - 改修工事に先立ち、補強構面毎に現場実測を行い、スパイラル筋、壁配筋等が確実に施工できるか確認を行うこと。
  - 増設部分と既存コンクリート躯体との接触面については既存コンクリート躯体面を目荒らしとし、コンクリート打設前に十分な水湿しを行う。
  - 直交雑壁が存在する部分は、壁筋のみを残して、増打ち壁厚分をはり込みのこと。
  - 施工段階で納まり上、設計図通りの配筋が困難な場合は施工図等を用い、監督職員と協議すること。
  - 壁、スラブ、階段等の配筋種別は、標仕別図各部配筋（4.1）～（6.2）による。
  - 目地にシーリングがある場合の最小かぶり厚さは改修標仕（表8.3.6）の「仕上げなし」の項による。
  - NW##は新設耐震壁を示し、かぶり厚さ、定着長さ、継手長さは改修標仕による。（##は壁配筋の種別の数値又は符号を示す。）
  - 既存壁に開口を設けてはならない。やむを得ず設ける場合は監督職員の承諾を受ける。
  - 割裂補強筋は、改修壁の柱・梁に接する面全てに配置する。
  - 割裂補強筋の継手は、2巻以上の重ねとする。
  - あと施工アンカーの規定穿孔深さは、はり出しや目荒らしの底面を基準とする。
  - 穿孔に使用する機械は、[○ハンマードリル・コアドリル]とし、金属検知により電源供給が停止出来る付属装置（メタルセンサーリール）を使用する。穿孔の際に鉄筋に当たった場合は、直ちに監督職員に報告し、指示を受ける。

あと施工アンカー

(1) 接着系アンカー



打増しのある場合



L : コンクリートの穿孔深さ  
 Le : アンカーの有効埋め込み長さ  
 Ln : 有効埋め込み長さ・定着長さ  
 da : アンカー軸部の直径、アンカー筋の呼び名  
 ※ 接着剤は、打増し部を含め、穿孔深さ全域にすき間なく充填すること

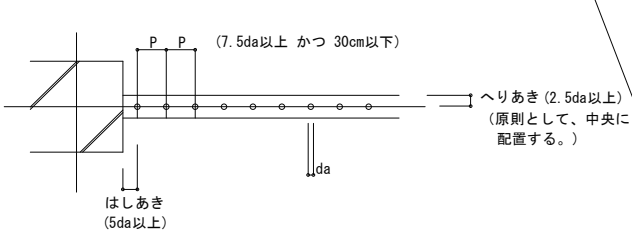
アンカー関係共通事項

接着系アンカーの有効埋め込み長さ	一般部 : Le = 7da シアコネクター : Le = 7da 開口補強筋 : Le = 12da
接着系アンカーの有効定着長さ	一般部 : Ln = 20da シアコネクター : Ln = 増打壁厚 - かぶり厚 開口補強筋 : Ln = L1 + 50 (=補強筋との継手長さ + 余長)
アンカー筋形状	一般部 : ナット付き異形棒鋼とし、ナットからねじ山が2山以上であること。 シアコネクター : ナットなし ただし、フォームタイを兼用する場合は、端部にナットを付ける。 開口補強筋 : ナットなし ※既存躯体側の先端形状は45°カットとする。

施工確認試験荷重

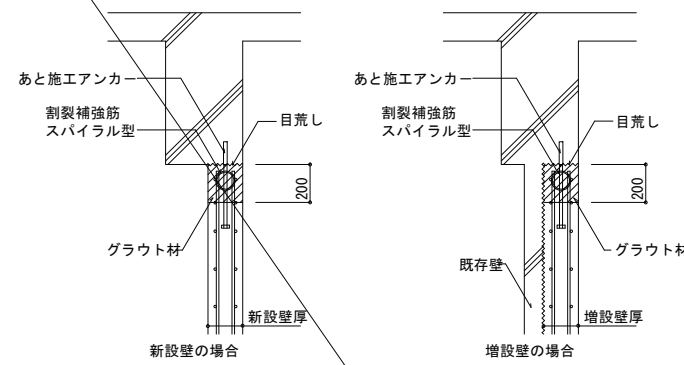
アンカー筋呼び名 (da)	荷重 (kN)

(2) あと施工アンカーの位置と間隔

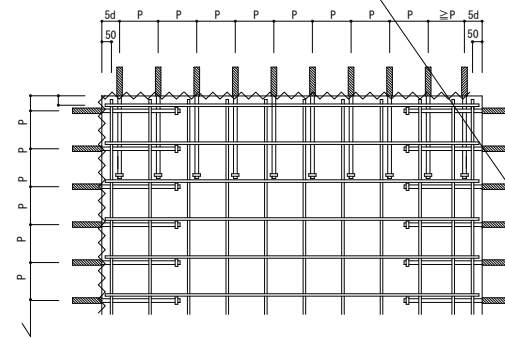


新設・増設壁上部グラウト要領

- 特記なき新設・増設壁上部は、グラウトを行う。



アンカー筋ピッチ標準

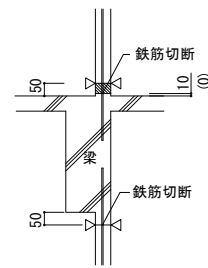


既存壁等撤去要領図

S=1/30

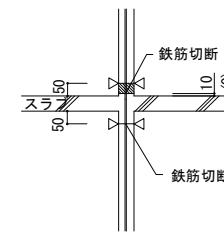
注記) 特記なき壁等の撤去は下図による。  
 注記) <I>印は、コンクリートカッター位置を示し、カッター深さ30とする。  
 注記) 鉄筋切断部には、錆止め塗装を行う。  
 注記) ▨部は手ばつりを示す。

撤去壁-梁 取合部 (撤去のみの場合)



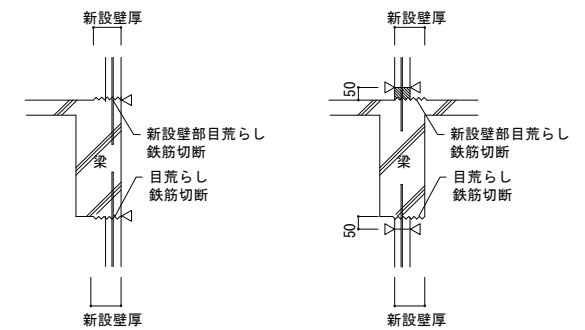
※( )内の値は、直均し仕上げの場合の鉄筋切断位置を示す。

撤去壁-スラブ 取合部

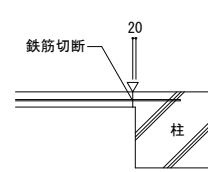


※( )内の値は、直均し仕上げの場合の鉄筋切断位置を示す。

撤去壁-梁 取合部 (壁を新設する場合)

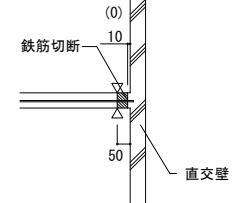


撤去壁-柱 取合部 (撤去のみの場合)



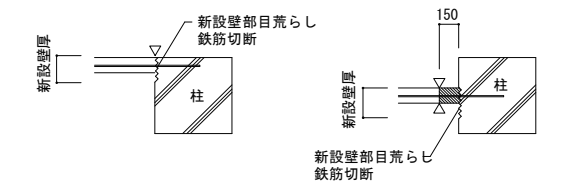
※外気に面する部分の撤去は特記による。

撤去壁-直交壁 取合部



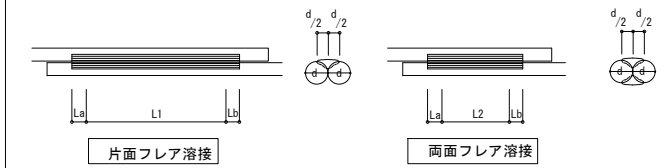
※( )内の値は、直均し仕上げの場合の鉄筋切断位置を示す。

撤去壁-柱 取合部 (壁を新設する場合)



鉄筋フレア溶接要領

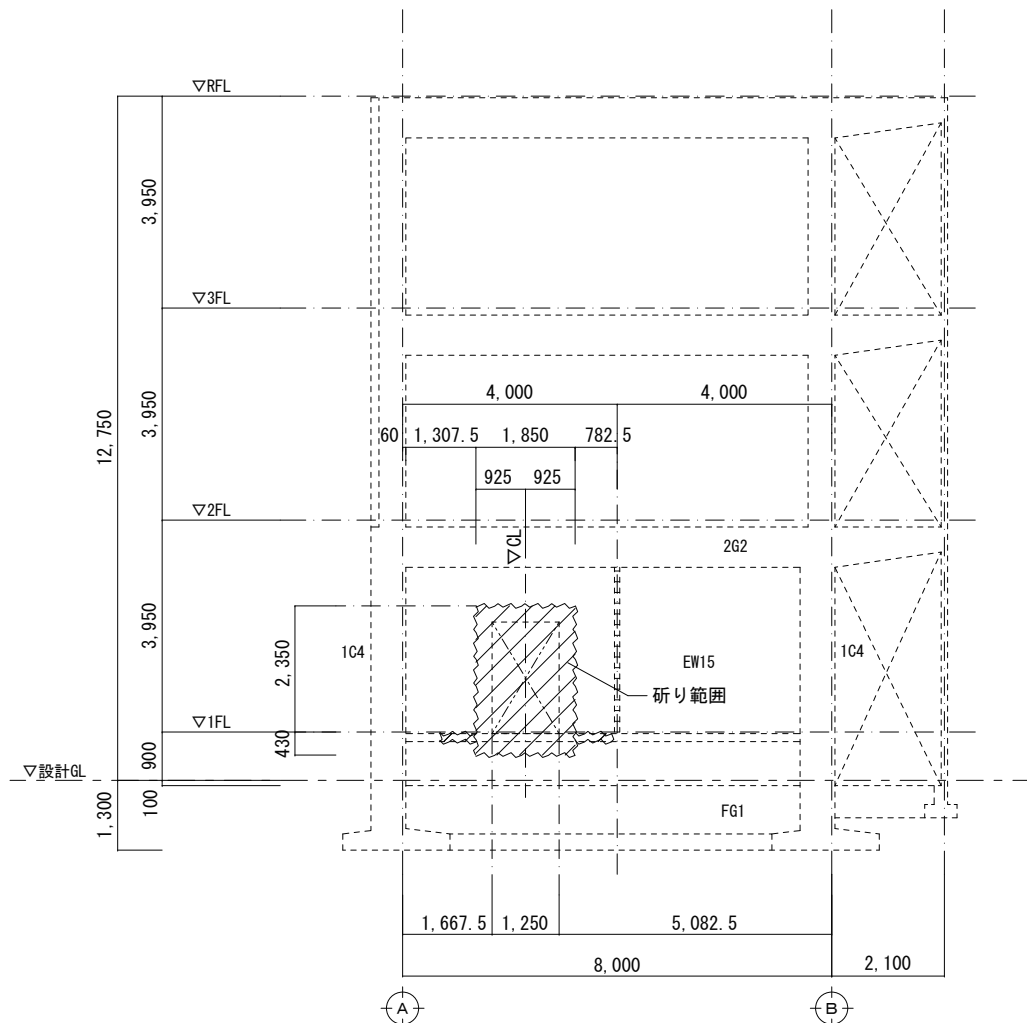
- 特記なき鉄筋のフレア溶接は、下図の片面または両面とする。
- 鉄筋のフレア溶接の溶接長さは、ビードの始点(La)及び、クレータ(Lb)を除いた部分の長さとし、寸法は下表による。但し、La及びLbは1d以上とする。



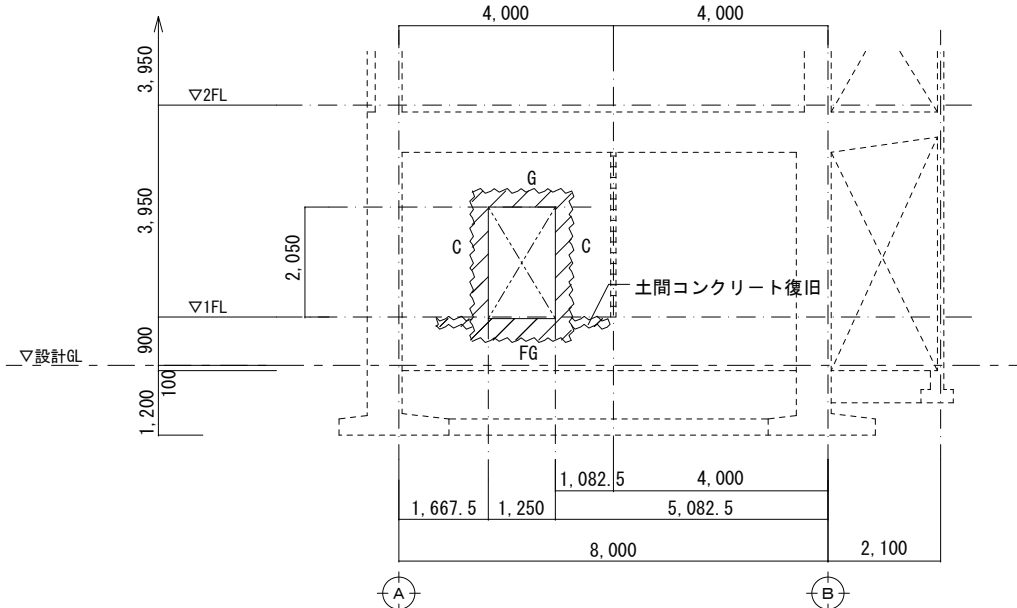
鉄筋径	L1	L2	d
9φ・D10	100		
13φ・D13	100		
D16	100		

一般仕様書

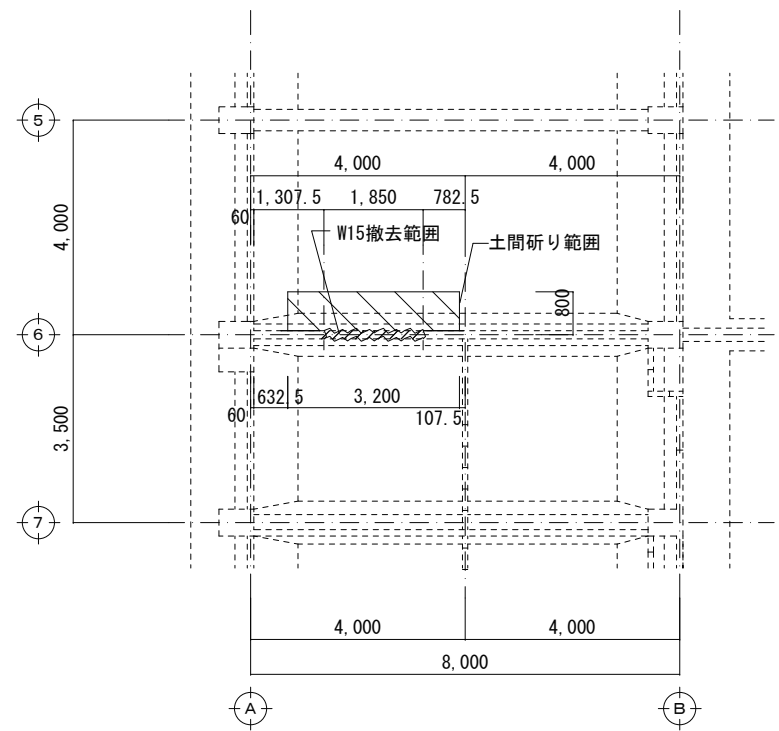
1. 使用鉄筋：SD295 規格品（D16以下）  
SD345 規格品（D19以上）
2. 使用コンクリート：普通コンクリート 設計基準強度  $F_c = 21 \text{ N/mm}^2$  スランプ=18cm
3. 使用無収縮モルタル：設計基準強度  $F_m = 30 \text{ N/mm}^2$  以上
4. 注意事項
  - 1) 壁配筋等の材料の加工に先立ち躯体寸法を実測し、これらの補強筋等を実状に合った寸法に加工する。
  - 2) 増設部分と既設コンクリート躯体との接触面については既存コンクリート躯体面を目荒らしとし、コンクリート打設前に十分な水湿しを行う。
  - 3) コンクリートの打設にはパイプレーターの使用、又はタタキにより密実なコンクリートとなるように十分な施工計画を立てる。
  - 4) 後打ちコンクリートは無収縮コンクリートとして計画施工する。
  - 5) 後打ちコンクリートは梁下 20 cm まで打設し、壁頂部は無収縮モルタル流込みとする。  
なお、既存壁下と新設梁 G の間に隙間が生じた場合は、エポキシ樹脂注入等の対策を講じる事。
  - 6) コンクリートの強度発現期間内は十分な湿潤状態で養生する。また養生期間中は振動等を与えないように注意する。



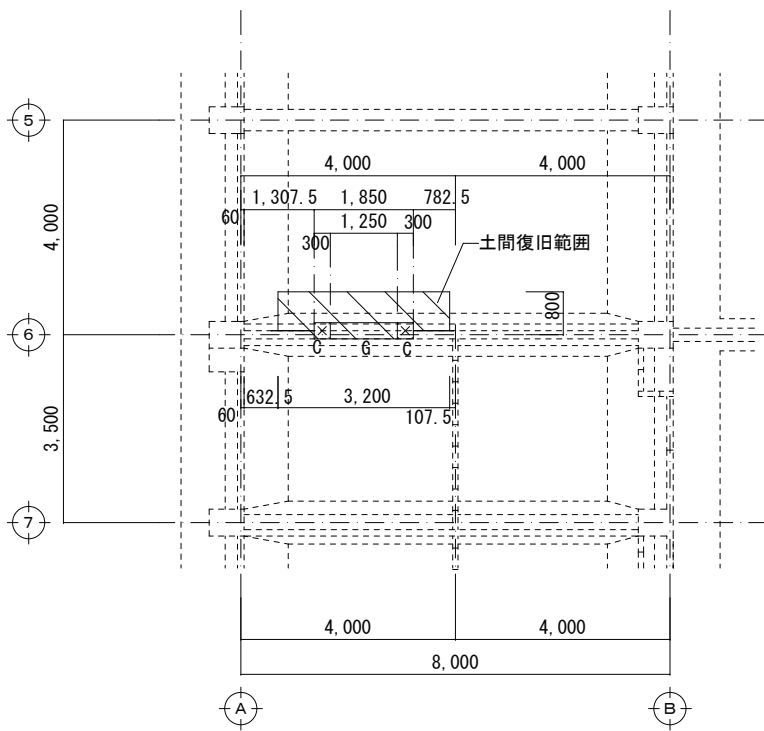
6通り軸組図 (改修前) 1/100



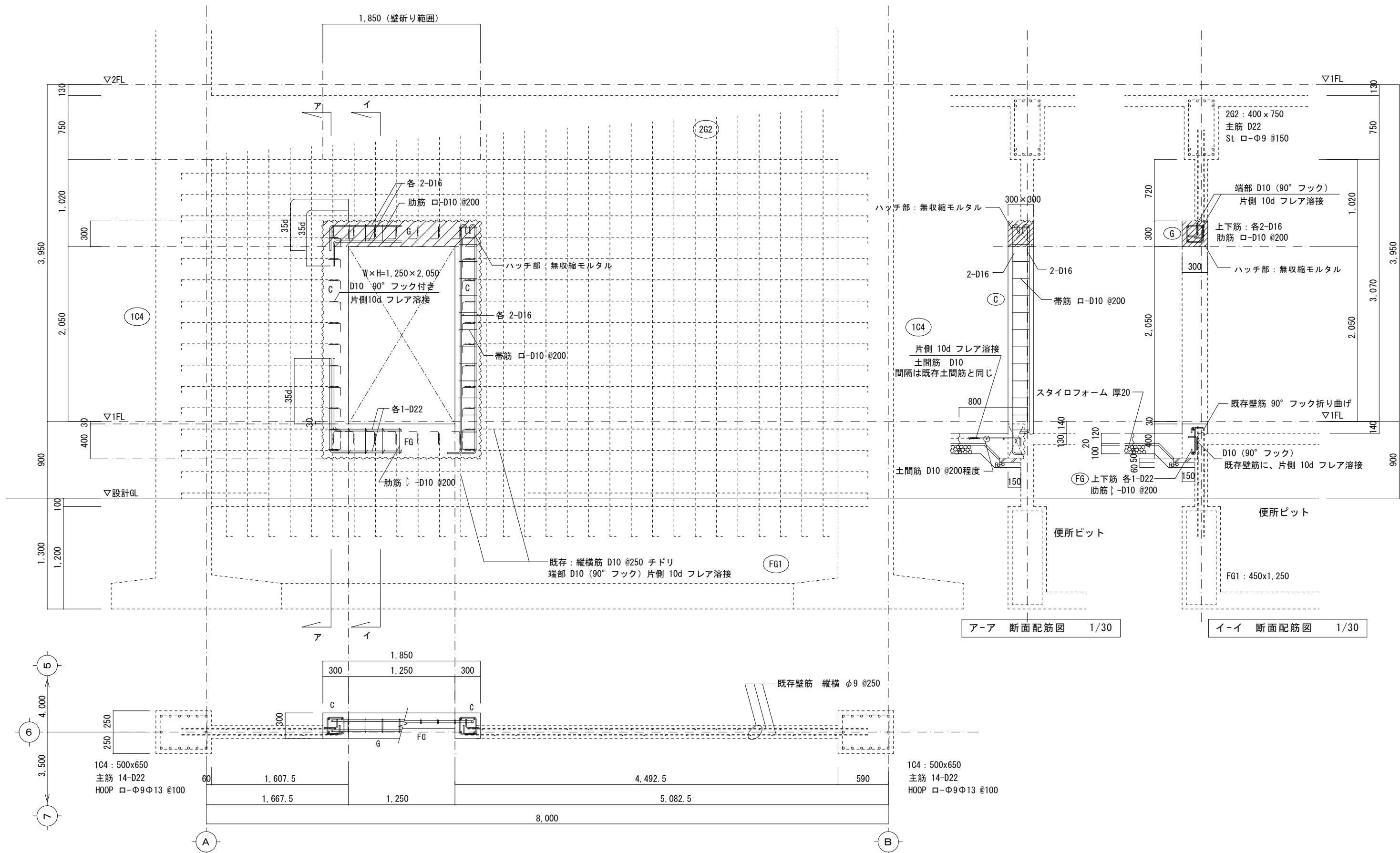
6通り軸組図 (改修後) 1/100



基礎伏図 (改修前) 1/100



基礎伏図 (改修後) 1/100



特記外 1. 既存壁筋 φ9 の端部は、90° フックとするが、①90° フックフレア溶接、②既存壁の折り曲げ のいずれでもよい。

I. 工事概要

1. 工事名称 豊平中学校1階多目的室・女子トイレ等改修工事
2. 工事場所 広島県山県郡北広島町都志見10914
3. 建物概要

Table with columns: 建物名称, 構造, 階数, 建築基準法による延べ面積(m2), 消防法施行令別表第一の区分, 備考. Includes sections for 工事種目 and 指定部分.

5. 指定部分 ※ 無し ・ あり (工期 令和 年 月 日)
(改修工事の場合の部分使用 ※ 無し ・ あり)

II. 工事仕様

- 1. 共通仕様
(1) 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成31年版）」
(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を用いる。
2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを用いる。
(2) 特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを用いる。ただし、○印のない場合は※印を用いる。
(3) 標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・工法検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等（条例含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（守1.1.13）を優先する。

Table with columns: 項目, 特記事項. Includes items like ① 機材の品質等, ② 電気工事士, ③ 官公署への手続き, ④ 工用電力, 水, その他, ⑤ 監督職員事務所, ⑥ 受注者事務所その他, ⑦ 工事現場の表示, ⑧ 交通誘導員, ⑨ 足場, ⑩ 施工条件.

- ⑪ 施工調査
12. 非破壊検査
⑬ 発生材の処理
14. 建設発生土の処理
15. 工事中情報共有システム
16. 電子納品
⑰ 完成時の提出書類等 建築工事に準ずる
⑱ 施工図等
⑲ 電線類
20. 耐震措置

- 21. あと施工アンカー
22. 呼び線
⑳ 7mmφアートの材質
㉑ ガ-プレートの用途別表示
㉒ 電線本数・管路等
㉓ 接地極
27. 露出配管の塗装
28. 屋外配管の仕上げ
29. ア-プレットの塗装
⑳ 屋上・屋側の支持金物等
㉑ 露出配管の固定保護
32. 屋上・屋側等への設置 機材の周囲処理
33. 工事安全計画書
4. 他工事との取合い
35. 天井仕上げ区分
36. 適用区分
① 配線器具
② 照明器具
3. 照明制御の照度測定等
4. 照明制御装置設定器
5. 多重伝送レコッド送信器
6. 非常点検送信器
1. 大地抵抗測定
2. 接地システム
1. 受変電設備容量
2. 変圧器
3. 予備品等
④ 電気方式
2. 発電機容量
3. 燃料小出槽
4. 燃料種別
① 太陽電池アレイ
2. パワーコンディショナ
3. 表示装置
4. 連系する電力系統
1. 型式
2. 保安器用接地
3. 壁掛電話機

増幅器
1. 施工方法
2. 地中箱
3. 高圧負荷開閉器
4. 高圧ケーブルの端末部
5. 高圧ケーブルの屋外 端末処理
6. 照明用ポール

① 施工方法
2. 地中箱

① 機器取付高
機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。

Table with columns: 名称, 測点, 取付高(mm), 名称, 測点, 取付高(mm). Lists various electrical equipment and their installation heights.

② 配線図記号その他
(1) EEF1.6-20×2は、EEF1.6-4Cを使用してもよい。
(2) EMケーブルの表記は警報用及び同軸ケーブルを除き「EM」を省略する。

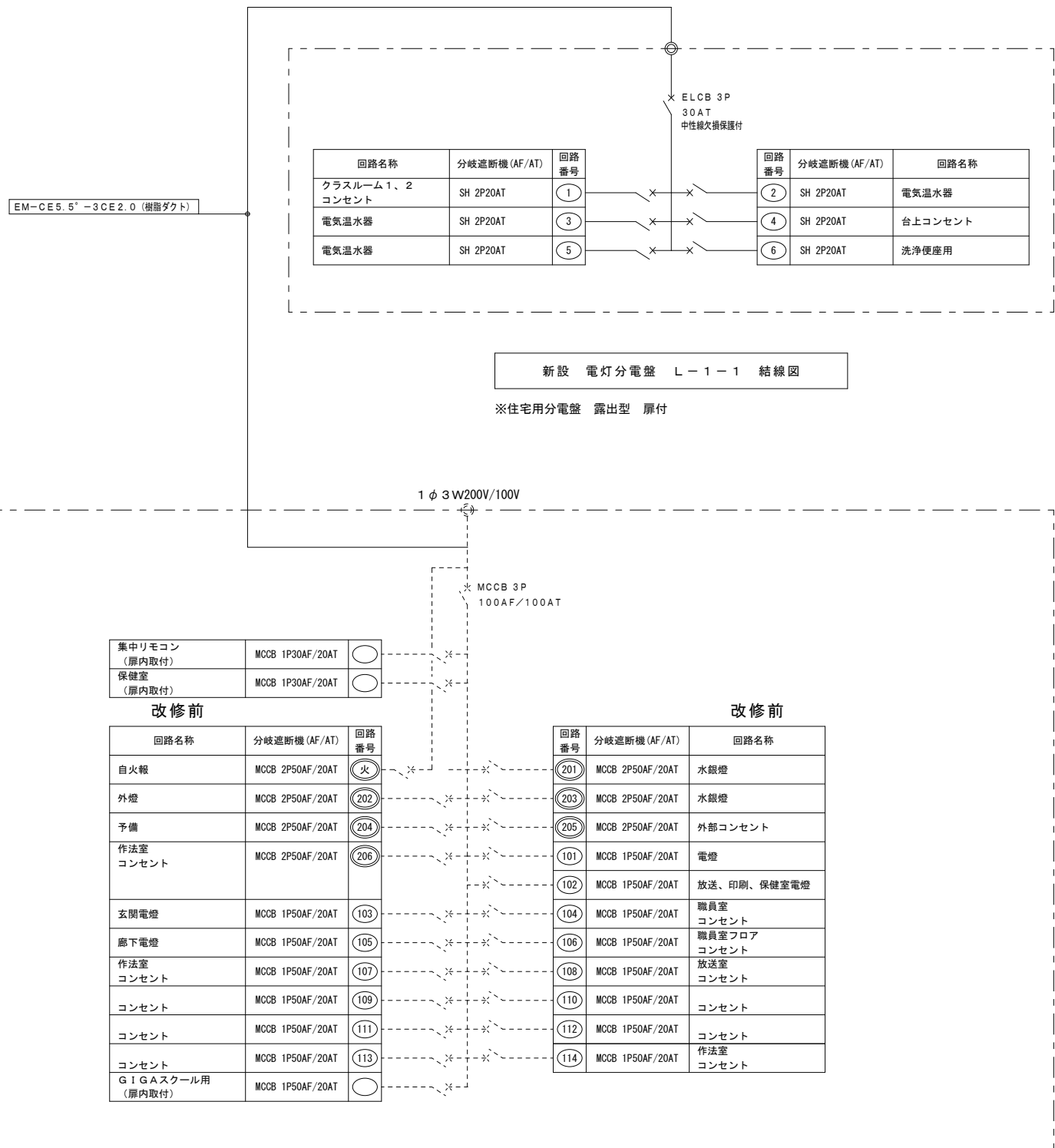
3. コリジョン登録について
受注者は受注時又は変更時において請負金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス（OORIS）に基づき、受注・変更、竣工、訂正時工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督職員の確認を受けた後に登録機能に登録申請し、登録機関発行の「登録内容確認書」を監督職員に提出しなければならない。なお、途中変更時の登録が必要な場合は、工期の変更、技術者の変更があった場合とする。

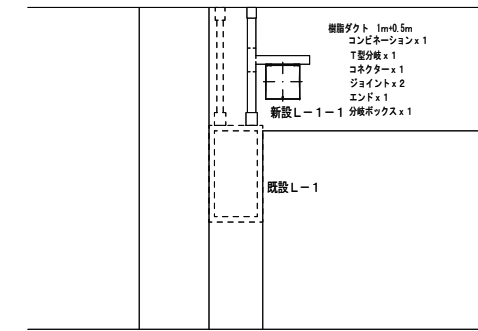
4. 防振ゴム等の製造検査
本工事に施工に当たり、東洋ゴム化学品（株）又はニッタ化学品（株）で製造された製品や材料を用いる場合には、使用するまでにその機能による品質を証明する書類を提出すること。

Table with columns: 品目, 機材名. Lists various electrical equipment like LED lighting, control devices, transformers, etc.

Table with columns: 電動機出力(kW), 規約効率(%). Lists motor specifications and efficiency data.

[凡例]		
	分電盤	
	LED灯	ダウライト
	LED灯	天井直付
	熱線センサ付自動スイッチ	親機 天井付 屋内型 換気扇連動形
	熱線センサ付自動スイッチ切替スイッチ	連続入-自動-切 2回路用 (照明+換気用)
	スイッチ	1P15Ax1
	スイッチ	1PL15Ax1
	スイッチ	1P15Ax1 露出ボックスタイプ
	コンセント	2P15Ax1
	コンセント	2P15Ax2
	コンセント	2P15Ax1 接地極付
	コンセント	2P15Ax1 接地極・接地端子付
	コンセント	2P15Ax1 露出ボックスタイプ
	コンセント	2P15Ax2 露出ボックスタイプ
	カバープレート	天井用 丸
	カバープレート	壁用 角
	アットレットボックス	中四角浅型
(既設)		
	蛍光灯、LED灯	天井直付
	蛍光灯、LED灯	壁付
	スイッチ	1P15Ax1
	ハットランプ	
	コンセント	2P15Ax1
	コンセント	2P15Ax2
	天井扇	機械設備工事
	スピーカー	壁掛形 合成樹脂製フックなし
	フットネー	0.5W~6W 金属製プレート
	電話機	
	直列ユニット	端末型
	スポット型差動式感知器	
	配管配線	いんべい配線
	配管配線	露出配線
	立ち下げ部保護	保護管種は図示による
	撤去	
	取り外し	
	取り外し品再取付	





分電盤姿図

注記

1. 特記なき配管配線は、下記の通りとする。

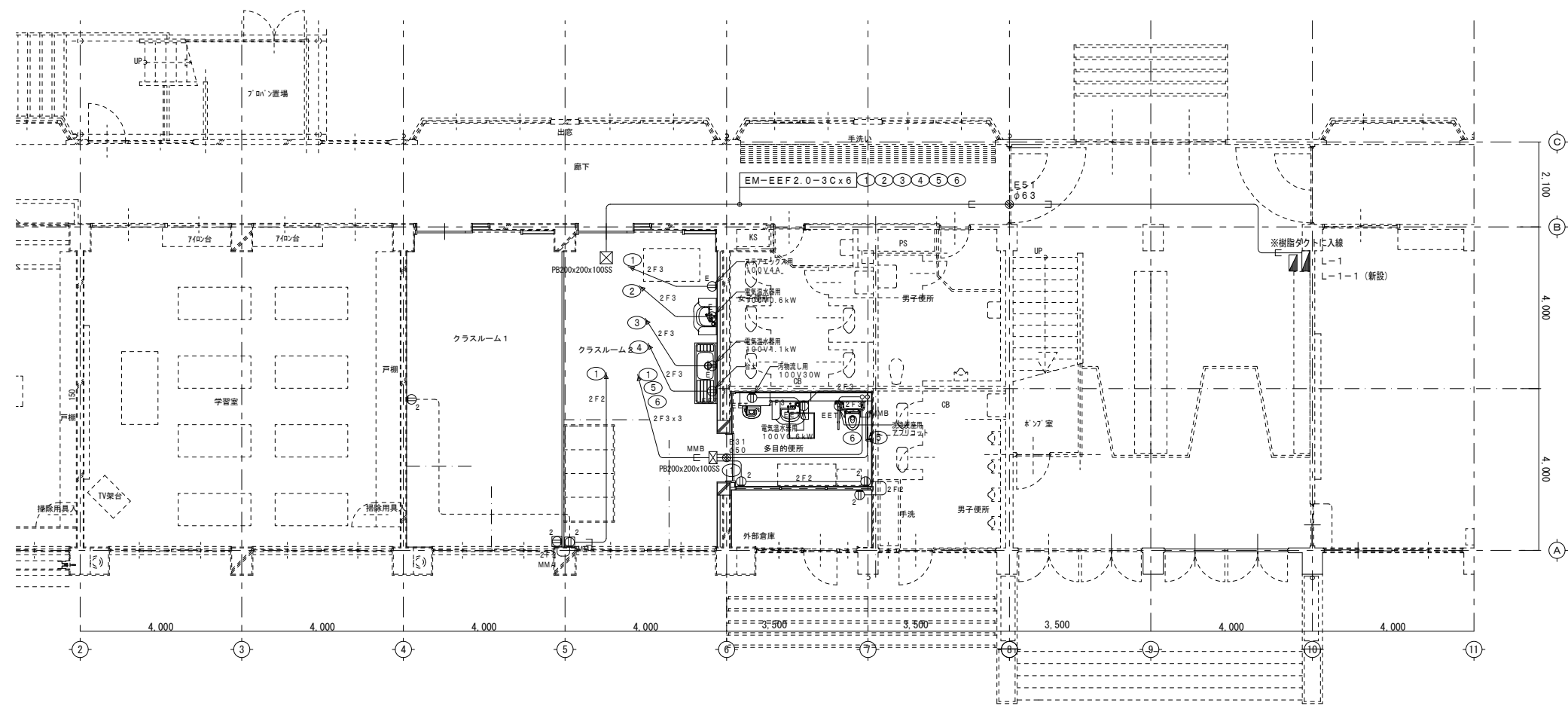
・改修後

— 2F2 — EM-EEF2.0-2C (22)

— 2F3 — EM-EEF2.0-3C (22)

※二重天井内はケーブル配線とする。

・コンセント位置は、再度関係者と協議して決定すること。



コンセント設備 1階平面図(改修後) 1:100

物品庫			
撤去	FL40Wx2 直付	6	
撤去	FL20Wx1 直付	1	

女子便所			
撤去	FL40Wx1 直付	1	

女子便所			
取外し	FL40Wx1 直付	1	

注記

1. 特記なき配管配線は、下記の通りとする。

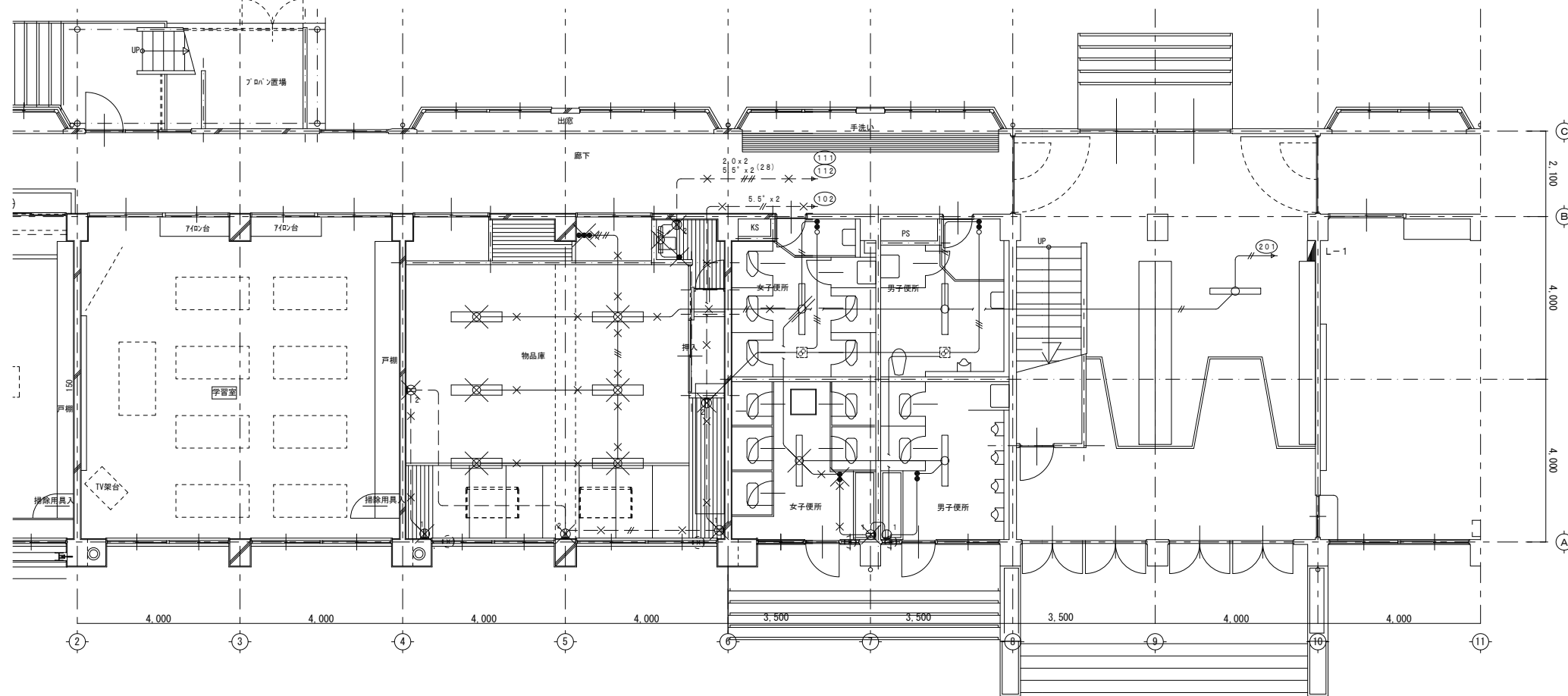
・改修前

——	1V2.0x2 (16)
——	1V1.6x2 (16)
——	1V1.6x3 (16)
——	1V1.6x4 (16)

・改修後

—2F3—	EM-EEF2.0-3C (22)
—F2—	EM-EEF1.6-2C (16)
—F3—	EM-EEF1.6-3C (16)
—F4—	EM-EEF1.6-2Cx2 (22)
—F5—	EM-EEF1.6-2C+3C (22)
—F6—	EM-EEF1.6-3Cx2 (22)

※二重天井内はケーブル配線とする。



電灯設備 1階平面図(改修前) 1:100

クラスルーム1			
新設	(公)LSS9-4-48LN	6	

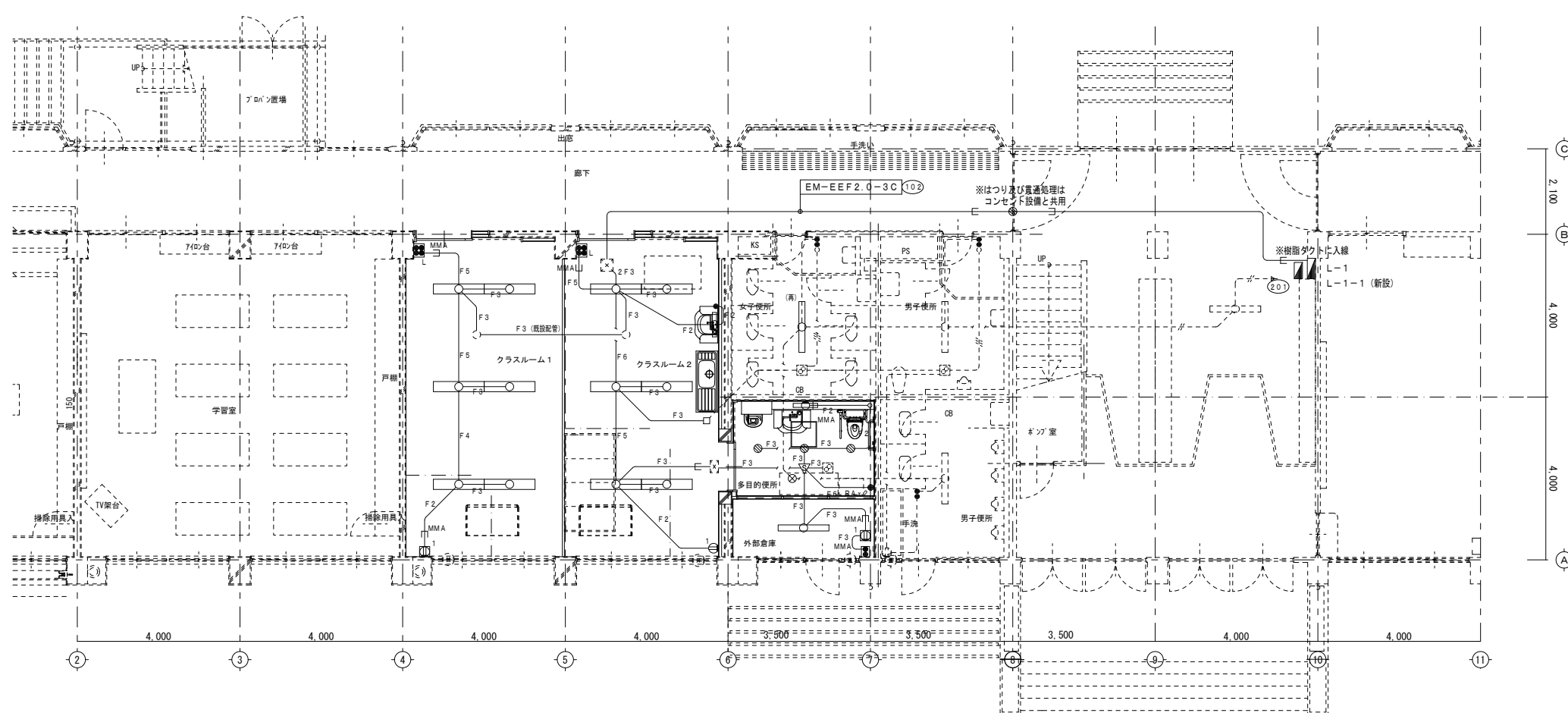
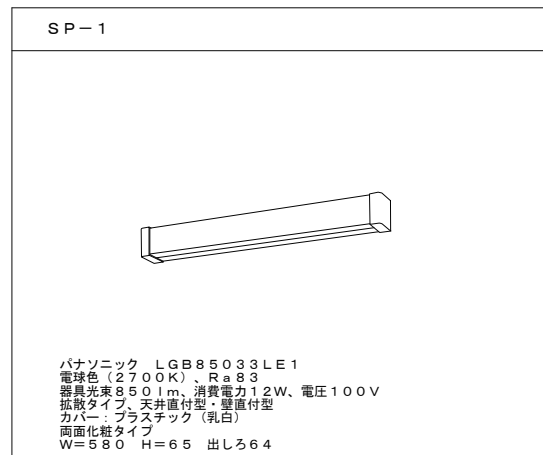
クラスルーム2			
新設	(公)LSS9-4-48LN	6	
新設	SP-1	1	

多目的便所			
新設	(公)LRS1-17LN	3	
新設	SP-1	1	

外部倉庫			
新設	(公)LSS9-4-23LN	1	

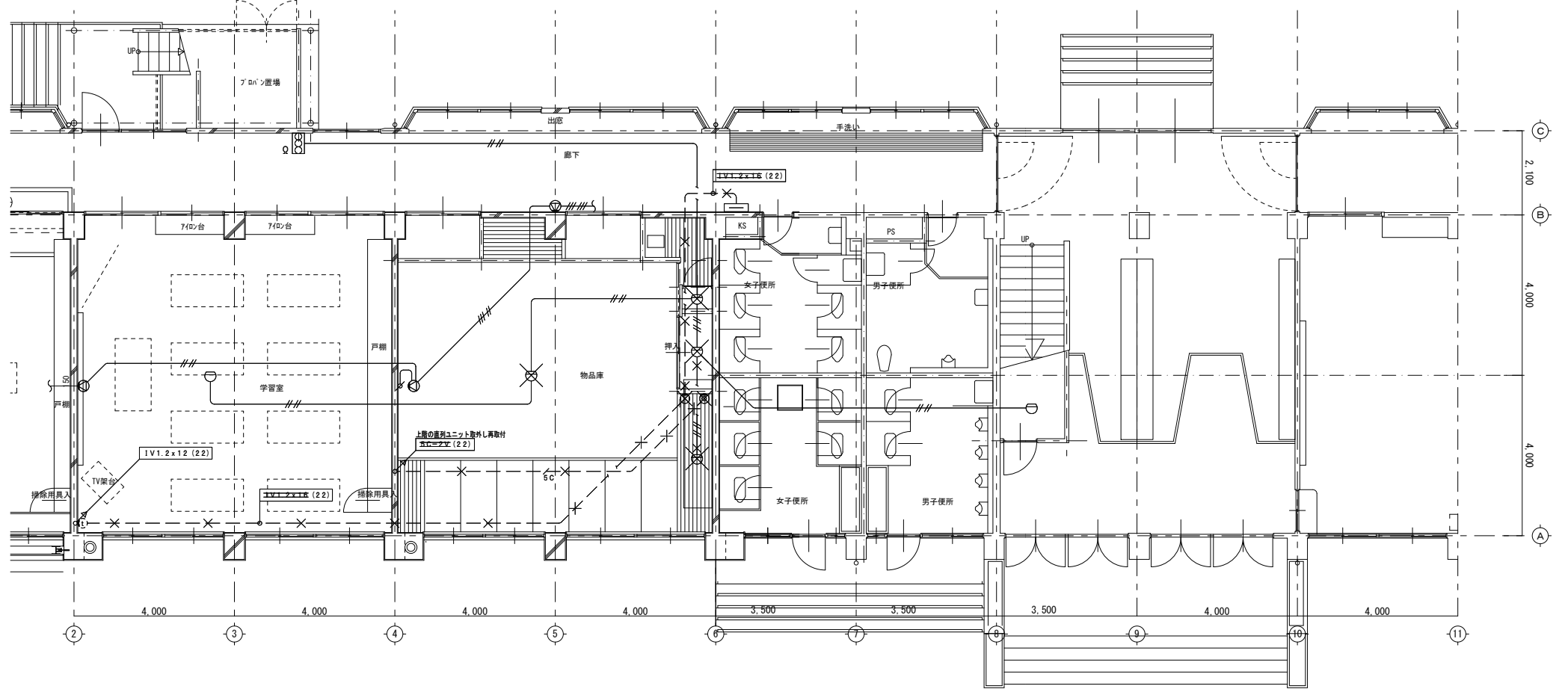
女子便所			
再取付	FL40Wx1 直付	1	

照明器具姿図 ※形状、仕様は参考とする。

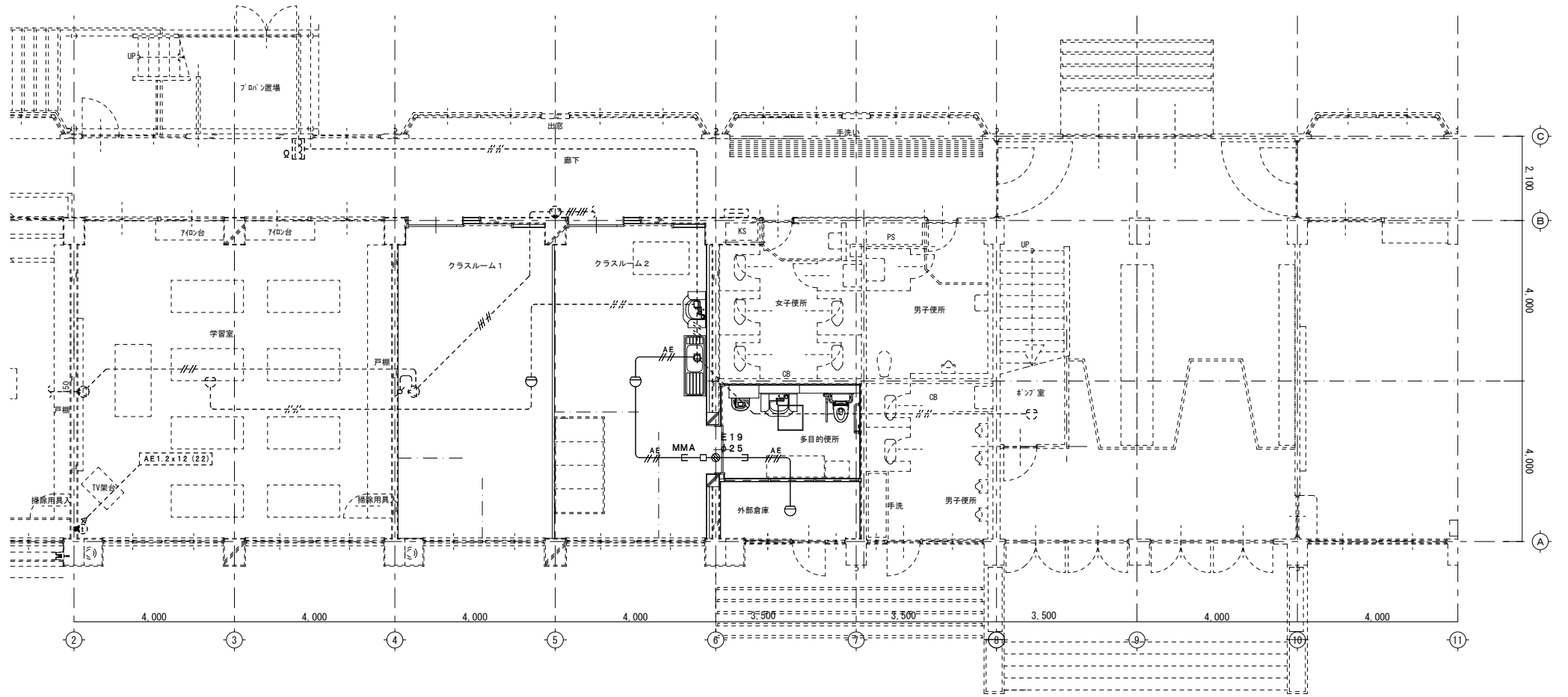


電灯設備 1階平面図(改修後) 1:100

注記	
1. 特記なき配管配線は、下記の通りとする。	
・改修前	
——	IV1.2x2 (16)
——	IV1.2x3 (16)
——	IV1.2x4 (16)
——	IV1.2x5 (16)
——	IV1.2x6 (16)
・改修後	
——	EM-AE1.2-4C 天井内
※二重天井内はケーブル配線とする。	



弱電・自動火災報知設備 1階平面図(改修前) 1:100



弱電・自動火災報知設備 1階平面図(改修後) 1:100

1. 工事概要
1. 工事名称 豊平中学校1階多目的室・女子トイレ等改修工事 (機械設備工事)
2. 工事場所 広島県山県郡北広島町志見10914
3. 建物概要
建物名称 構造 階数 建築基準法による延べ面積(m2) 消防法施行令別表第一の区分 備考
校舎 RC造 3階 2,024.0m2
4. 工事種目 (印の付いたものを適用する)
建物別及び屋外工事種別
5. 指定部分 ※なし
6. 設備概要 (改修工事の場合は既存の概要を示す)
空調設備
換気設備
排煙設備
自動制御設備
衛生設備
給水設備
排水設備
放流先
給湯設備
消火設備
ガス設備
浄化槽設備

3. 施工計画書
4. 工程報告
5. 工事実績情報の登録
補償
1. 工事中
2. 工事後
管理
1. 完成引渡しまでの管理
2. 機器の取扱い等
機器及び材料
1. 完成時の提出書類等
2. 工事に関する写真

2. 特記仕様
1) 区分は●を、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項のうち選択する事項は○の付いたものを適用する。
ただし、○印のない場合は※印を適用する。○印 ※印の場合は両方を適用する。

区分
1. 電子納品
2. 工事中情報共有システム
3. 機材の品質等
4. 監督職員事務所
5. 工用電力、水その他
6. 工事現場の表示
7. 工用取扱設備
8. 交通誘導員
9. 説明板等
10. 技能士の適用

1. 土工事
1.2 発生材の処理及び産業廃棄物の処理
1.3 総合転運調整
1.4 図形表示
1.5 電容量及び機器表示
1.6 負担金等
1.7 電線・電線管
1.8 塗装
1.9 保温
2.0 絶縁継手
2.1 防護継手
2.2 伸縮継手
2.3 弁類

2.4 埋設表示
2.5 はつり工事
2.6 補修など
2.7 支持金物
2.8 配管の建物導入部
2.9 管端防食継手
3.0 配管附属品
3.1 ポンプの電動機
3.2 他工事との他取合い
3.3 耐震措置
3.4 溶接配管の検査
3.5 撤去工事
3.6 スパイク鋼管の接合方法
3.7 鋼管類の気密試験
3.8 天井仕上区分
3.9 砂の取扱
4.0 足場
4.1 施工条件
4.2 施工調査
4.3 非破壊検査
4.4 その他
4.5 防護ゴム等の製造検査

注 1) 区分は、●を、項目は、番号に○印の付いたものを適用する。  
 2) 特記事項のうち選択する事項は、○の付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。○印 ※印 の場合は両方を適用する。

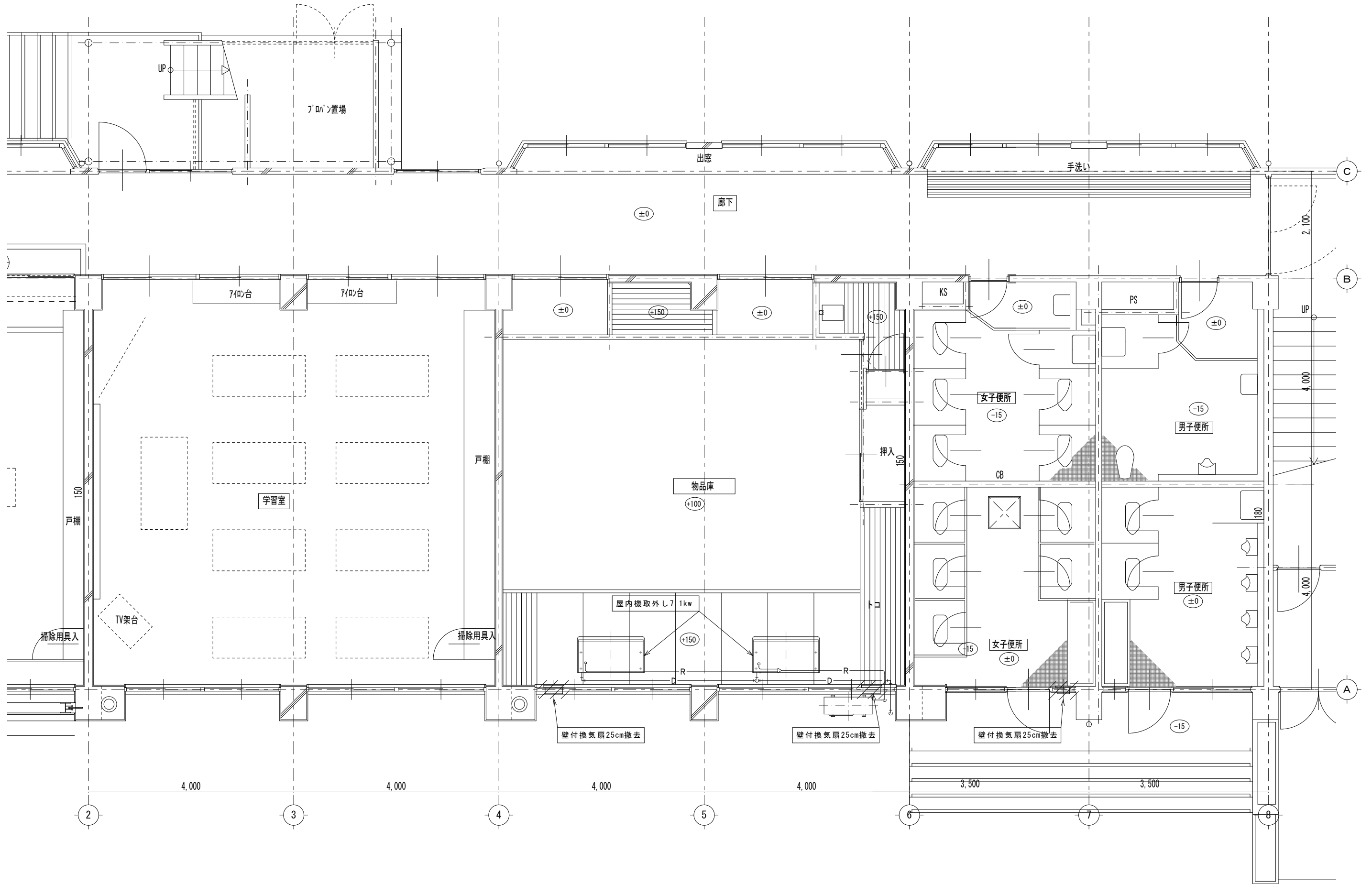
区分	項目	特記事項
●	衛生器具設備	<p>1. 衛生器具の参考型番          2. 大便器・小便器          3. 衛生器具ユニット          4. 小便器用洗浄水節水装置          5. 洗面器用自動水栓          6. 衛生器具と排水管接続</p> <p>型番変更等により参考型番が変更または廃止されている場合、参考型番の同等品とする。          標記板は、取付ける（自動洗浄小便器は除く）○取付けない          ユニットの配管材は図示による。          ※ 個別感知方式（電源種別は ※ AC電源 ・ 乾電池 ・ 自己発電）○手動式          ※ 洗浄水量 4リットル/回以下 【工事範囲は、電気一次側配管配線を除きすべて本工事とする。】          電源種別は ※ AC電源 ・ 自己発電 ・ 乾電池          ※ 標準図（施工6.3） ・ 標準図（施工6.4）</p>
●	給水設備	<p>1. 量水器          2. 量水器棚          3. 配管材料          ※重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>(1) 観メーター ※ 借用 ・ 買取り          (2) ゼメーター ※ 買取り ・ 借用          (1) 観メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図（機材57）          (2) ゼメーター用 ※ 標準図（機材57） ・ 水道事業者の指定品          (1) 一般配管用 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VB）（SGP-FVB）          ・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（SGP-PA）（SGP-FPA）          ・ 一般配管用ステンレス鋼管（SUS304）          ・ 一般配管用ステンレス鋼管（SUS316）          ○ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP）          (2) 土間配管用 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VD）（SGP-FVD）          ・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（SGP-PD）（SGP-FPD）          ・ 一般配管用ステンレス鋼管（SUS304）          ・ 一般配管用ステンレス鋼管（SUS316）          ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP）          (3) 屋外土中用 ※ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP）          ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VD）（SGP-FVD）          ・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（SGP-PD）（SGP-FPD）          ・ 水道用ポリエチレン二層管（50A以下） ・ 水道用ポリエチレン管（75~150A）          ・ 一般配管用ステンレス鋼管（SUS304）          ・ 一般配管用ステンレス鋼管（SUS316）          (4) ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ・ ゴム輪接合          (5) 81/2インチ管の接合方法 50A以下 ・ 融着継手 ・ 金属製継手 75A以上融着継手          (6) ゴム輪接合の場合、直管以外の継手部には離脱防止金具付とする。          (7) 特記なき給水管の最小口径は20Aとする。          (8) ステンレス鋼管を使用する場合は下記の水質の確認を行う。          電気伝導率、Mアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、全硬度、重炭酸イオン遊離炭酸、塩素イオン、シリカ、蒸発残留物</p>
●	排水設備	<p>1. FRP製タンクのマンホール</p> <p>(1) 公営水道に直結する配管に使用するものの耐圧は、10Kとする。          (2) 受水タンク以降の配管に使用するものの耐圧は5Kとする。          (3) 給水引込み部の ・ 止水栓 ・ 弁類 は水道事業者の指定品とする。          鋼板製、ステンレス製タンクの保温 ・ 施工する ・ 施工しない          ・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品          ※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製          7. 水栓柱          8. 水栓          (1) 屋外の水栓は ・ キーハンドル ・ 一般水栓          (2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p>
●	排水設備	<p>1. 配管材料          ※重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>(1) 屋内汚水管 ※ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 排水通気用耐火二層管（VP）（第1層まで含む）          ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ 排水通気用鉛管          ・ コーティング鋼管（ ・ ノンタルエポキシ ・ 塩化ビニル）          ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP）          (2) 屋内雑排水管 ※ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 排水通気用耐火二層管（VP）（第1層まで含む）          ・ 配管用炭素鋼管（白管） ・ 排水通気用鉛管          ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管          ・ コーティング鋼管（ ・ ノンタルエポキシ ・ 塩化ビニル）          ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP）          (3) 通気管 ※ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 排水通気用耐火二層管（VP）          ・ 配管用炭素鋼管（白管） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管          ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP）          (4) 屋外排水管 ※ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）          ・ プレキャスト鉄筋コンクリート製品（外圧1種B形）          ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP）          ・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（REP-VU）          ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS-VU）</p>
○	ガス設備	<p>2. グリース阻集器          ※ 工場製品（ ※ SUS製 ・ 鉄製 ・ FRP製 ） ・ 現場施工品          ・ 耐火被覆 ・ 標準図（施工6.6（a））を施工する ・ 施工しない</p> <p>3. 排水金物          記号 COAD は掃除口を兼用する排水金物を示す。</p> <p>1. 都市ガス設備          2. 配管材料          (1) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管（白管）          (2) 一般配管（ビッド内） ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ 配管用炭素鋼管（白）          (3) 土間配管 ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管（JIS-K6774）          (4) 屋外土中配管 ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管（JIS-K6774）          ・ 10Kg ・ 20Kg ・ 50Kg 本 ※ 借用 ・ 買取          (1) 観メーターは ※ ガス事業者より借用 ・ 買取          (2) ゼメーターは ※ 買取り ・ ガス事業者より借用          (3) ゼメーターの計量方式は ※ 直読 ・ 遠隔表示          自動切替式で施工方法は標準図（施工7.2）の ・ (a) ・ (b) ・ (c)          施工方法は標準図（施工7.3）の ・ (a) ・ (b)          ・ 要（取付位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要） ※ 不要          警報器から制御器。遮断弁（又はマイコンメーター端子）までの電線管は ・ 別途電気工事 ・ 本工事          ・ 流量検知式（切替形又は圧力監視形） ・ 圧力検知式          ビニール被覆支持金物、又は配管クランプ部を電食防止テープ巻き</p>

●	給湯設備	<p>1. 配管材料          (1) 給湯管 ※ 保温付き被覆鋼管 ・ 鋼管 ・ ステンレス鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管          (2) 湯沸器、給湯器廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。          2. 弁類          3. 保温          図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。ただし、公営水道に直結する部分及び特記部分は、10Kとする。          湯沸器の給排気筒の隠ぺい箇所は保温 h(イ)Ⅹを行う。</p>
○	消火設備	<p>1. 消火栓弁の耐圧 ※ 10K ・ 16K          2. 配管材料          (1) 屋内消火栓 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管（白管）          一般配管（ビッド内） ※ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（STPG370VS）          ・ 配管用炭素鋼管（白管）          土中配管用（土間を含む） ※ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（SGP-VS）          (2) 連結送水管 一般配管用 ※ 圧力配管用炭素鋼管          一般配管（ビッド内） ※ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（STPG370VS）          ・ 圧力配管用炭素鋼管          土中配管用（土間を含む） ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（SGP-VS）          3. 保温          (1) 呼水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する          (2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する          (3) 消火配管の保温は次による          ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する（ ・ 屋外露出 ・ 給水管に準じる範囲）          ・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する（ ・ 屋外露出 ・ 給水管に準じる範囲）          ・ 連結送水管 ※ 施工しない ・ 施工する（ ・ 屋外露出 ・ 給水管に準じる範囲）          ・ 連結取水 ※ 施工しない ・ 施工する（ ・ 屋外露出 ・ 給水管に準じる範囲）          ・ 屋内消火栓 ・ 易操作性1号消火栓 ・ 屋内2号消火栓 ※ 広範囲型2号消火栓          屋外消火栓開弁の材質は ・ 鉄製（要部青銅製） ・ ステンレス 鋳物製          箱の材質は ※ 鋼板製 ・ ステンレス 鋼板製          4. 新ガス系消火剤の種類 (1) 不活性ガス ・ IG-541 ・ IG-55 ・ 窒素          (2) ハロゲン化合物ガス ※ FK-5-1-12 ・ HFC-227ea ・ HFC-23          ※ 手動 ・ 自動、手動切替式          5. 新ガス系消火剤の起動方式 ※ 手動 ・ 自動、手動切替式          8. 二酸化炭素消火の起動方式</p>
○	浄化槽設備	<p>1. 処理種別及び方式          ・ 小規模合併処理（ ※ 担体流動方式 ・ 嫌気ろ床接触ばっ気方式          ・ 脱窒ろ床接触ばっ気方式 ・ 分離接触ばっ気方式 ）          ・ 合併処理（ ・ 接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式 ・ 回転板接触方式 ）          2. 形式 ※ ユニット形 ・ 現場施工形          3. 処理能力 処理対象人員 _____人 処理水量 _____m<sup>3</sup>/d 流入BOD濃度 _____mg/l          BOD _____60 ・ 30 ・ 20 ・ 10 mg/l以下          ・ _____mg/l以下          4. 放流水質 ※ 根切土の中の良質土（FRP周囲は山砂の類） ・ 購入土          5. 埋戻し土          6. 消毒薬          7. その他          ※ 竣工後6ヶ月間流入、放流のSS、BOD、PH、透し度、大腸菌個数等を（※報告する。 ・ 報告しない。）</p>

空気調和設備

区分	項目	特記事項																																	
●	空気調和設備	<p>1. 設計用温湿度条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外気条件</th> <th colspan="4">室内（調整目標値）</th> </tr> <tr> <th>温度（DB）</th> <th>湿度（RH）</th> <th>温度（DB）</th> <th>湿度（RH）</th> <th>温度（DB）</th> <th>湿度（RH）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>28.0</td> <td>50%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>19.0</td> <td>40%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 配管材料          (1) 冷水・温水・冷温水管 ※ 配管用炭素鋼管（白管）          ・ 一般配管用ステンレス鋼管（SUS304）          (2) ドレン管 ・ 配管用炭素鋼管（白管） ※ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）          ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP）          (3) 冷却水管 ・ 配管用炭素鋼管（白管）          ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VA）          ・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（SGP-PA）          (4) 膨張・空気抜き・補給水管 ※ 配管用炭素鋼管（白管）          ・ 一般配管用ステンレス鋼管（SUS304）          (5) 空調用給水管 ※ 一般配管用ステンレス鋼管（SUS304）          ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VA）          ・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（SGP-PA）          (6) 蒸気給気管 ※ 配管用炭素鋼管（黒管）          (7) 蒸気還水管 ※ 圧力配管用炭素鋼管（STPG370 黒sch40）          (8) 油・油用通気管 ※ 配管用炭素鋼管（黒管）          (9) 冷媒管 ※ 断熱材被覆鋼管 ・ 鋼及び銅合金の継ぎ目無管          図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。          ※ 冷温水管の接続部（往・還）にはボール弁を取り付ける。          ※ 流量調節弁 ・ 定流量弁 を取付ける。          （定流量弁は ・ ゲイザム式流量可変式 ・ トリッパリフ（A形）          ※ 床置形にはサブドレンパンを設けるものとし、材料等はドレンパンに準ずる。          （ 厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。）          (1) 遠方操作スイッチのフラッシュプレートは金属製（ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ、新金属も含む）とする。          (2) 遠方操作スイッチの差り配管 ・ 別途工事 ・ 本工事          (3) 遠方操作スイッチの差り配線 ・ 別途工事 ・ 本工事          6. 吹出口・吸込口          (1) アルミニウム製は塗装を ※ 行う ・ 行わない ・ 亜鉛鉄板製          (2) 吸込口GVFSは防火シャッター付吸込口を示す。</p>		外気条件		室内（調整目標値）				温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	夏季	℃	%	28.0	50%	℃	%	冬季	℃	%	19.0	40%	℃	%						
	外気条件			室内（調整目標値）																															
	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）																													
夏季	℃	%	28.0	50%	℃	%																													
冬季	℃	%	19.0	40%	℃	%																													
●	換気設備	<p>3. 弁類          4. ファンユニット          ※ 流量調節弁 ・ 定流量弁 を取付ける。          （定流量弁は ・ ゲイザム式流量可変式 ・ トリッパリフ（A形）          ※ 床置形にはサブドレンパンを設けるものとし、材料等はドレンパンに準ずる。          （ 厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。）          (1) 遠方操作スイッチのフラッシュプレートは金属製（ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ、新金属も含む）とする。          (2) 遠方操作スイッチの差り配管 ・ 別途工事 ・ 本工事          (3) 遠方操作スイッチの差り配線 ・ 別途工事 ・ 本工事          6. 吹出口・吸込口          (1) アルミニウム製は塗装を ※ 行う ・ 行わない ・ 亜鉛鉄板製          (2) 吸込口GVFSは防火シャッター付吸込口を示す。</p>																																	
○	換気設備	<p>7. ダクト          (1) ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト          (2) 矩形ダクトは ・ アングルフランジ工法          ※ コーナーボルト工法（ ・ 共板工法 ・ ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ工法 ）          （ 厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。）          (3) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。          (4) 厨房用ダクトの板厚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">矩形ダクトの場合</th> </tr> <tr> <th>ダクトの長辺</th> <th>ステンレス鋼板</th> <th>亜鉛鉄板</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>450以下</td> <td>0.5以上</td> <td>0.6以上</td> </tr> <tr> <td>450を超え1,200以下</td> <td>0.6以上</td> <td>0.8以上</td> </tr> <tr> <td>1,200を超え1,800以下</td> <td>0.8以上</td> <td>1.0以上</td> </tr> <tr> <td>1,800を超えるもの</td> <td>0.8以上</td> <td>1.2以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>円形ダクトの場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>円形ダクトの寸法</th> <th>ステンレス鋼板</th> <th>亜鉛鉄板</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>300以下</td> <td>0.5以上</td> <td>0.6以上</td> </tr> <tr> <td>300を超え750以下</td> <td>0.5以上</td> <td>0.6以上</td> </tr> <tr> <td>750を超え1,000以下</td> <td>0.6以上</td> <td>0.8以上</td> </tr> <tr> <td>1,000を超え1,250以下</td> <td>0.8以上</td> <td>1.0以上</td> </tr> </tbody> </table>	矩形ダクトの場合			ダクトの長辺	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板	450以下	0.5以上	0.6以上	450を超え1,200以下	0.6以上	0.8以上	1,200を超え1,800以下	0.8以上	1.0以上	1,800を超えるもの	0.8以上	1.2以上	円形ダクトの寸法	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板	300以下	0.5以上	0.6以上	300を超え750以下	0.5以上	0.6以上	750を超え1,000以下	0.6以上	0.8以上	1,000を超え1,250以下	0.8以上	1.0以上
矩形ダクトの場合																																			
ダクトの長辺	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板																																	
450以下	0.5以上	0.6以上																																	
450を超え1,200以下	0.6以上	0.8以上																																	
1,200を超え1,800以下	0.8以上	1.0以上																																	
1,800を超えるもの	0.8以上	1.2以上																																	
円形ダクトの寸法	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板																																	
300以下	0.5以上	0.6以上																																	
300を超え750以下	0.5以上	0.6以上																																	
750を超え1,000以下	0.6以上	0.8以上																																	
1,000を超え1,250以下	0.8以上	1.0以上																																	

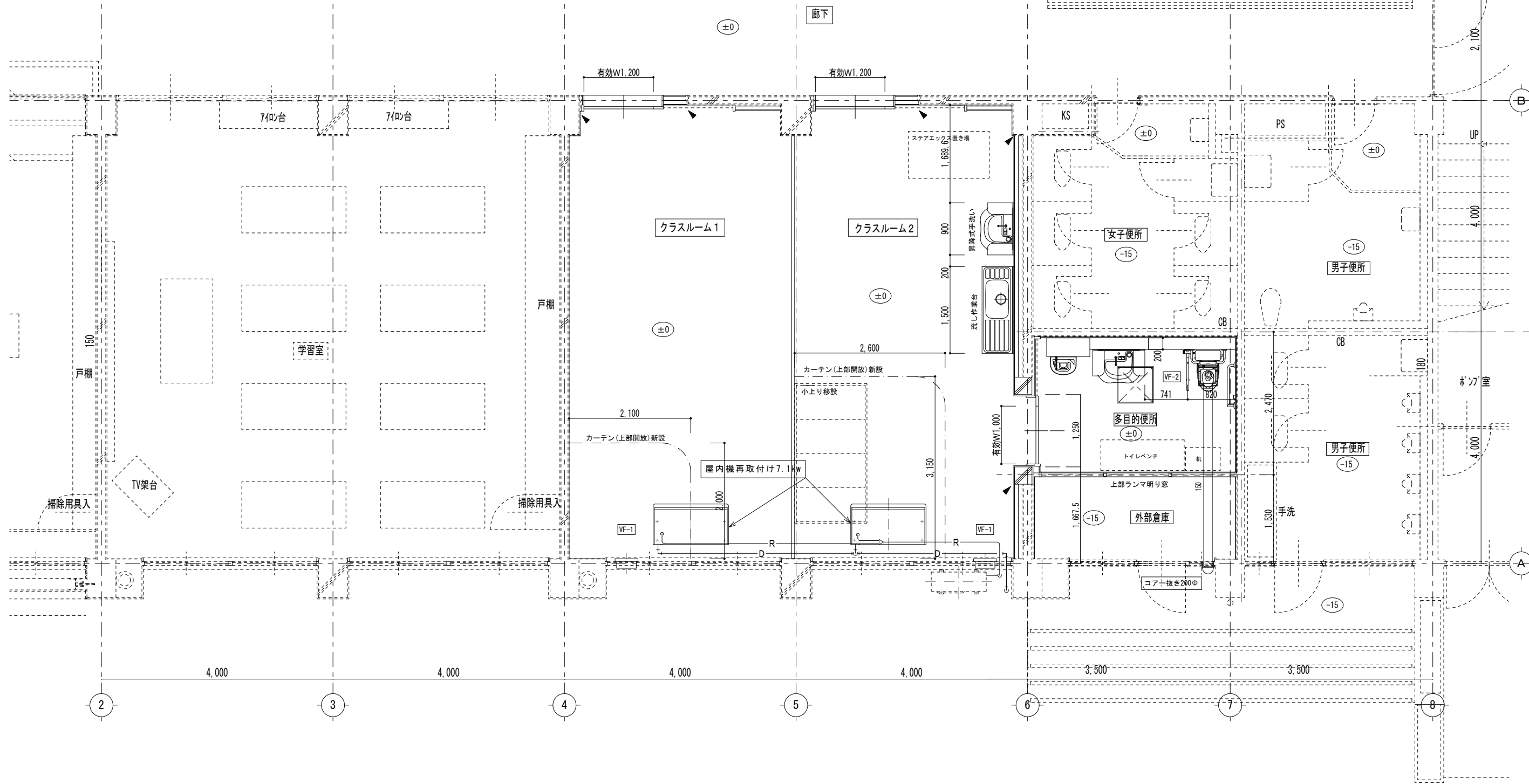
●	空気調和設備	<p>8. ダンパー          (1) 防火ダンパーは表示等により区分する。          (2) 防護ダンパー 復帰方式：遠隔復帰式（定格入力はDC24V、0.7A以下とする。）          9. 風量測定口          10. チャンパー等          取付位置は図示による。          (1) 線状吹出口には、接続チャンパー（長さ+100×300×300H）を設ける。          (2) シーリングディフューザーの接続は標準図（施工4.7）による。          施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。          (3) 外壁に面する方りにチャンパー等を設ける場合には原則として勾配をつける。          (1) 空調用吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。          (2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。          (3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を設ける。          点検口の大きさは、原則として400×600とする。          ・ グリエクストラクター ・ グリスフィルター          (1) 形式はビトー管（コック付）とする。 ※ 固定式 ・ 着脱式          (2) 下記の箇所、若しくは図示により取付ける          ・ 冷凍機類の冷水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング          ・ 冷凍機類の冷却水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング          ・ ボイラー又は熱交換器の温水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング          ・ 冷水水ヘッダーの各送り管 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング          ・ ユニット形空調機と機内の冷水水入口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング          ・ メカニカル形 ・ 風速センサー形          標準図によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。          ・ ユニット形空調機と機器の送気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト          ・          ・          機器附属品以外の温度計は ※ 工業用バイメタル式温度計 ・ ガード付き形温度計          標準図によるほか図示した箇所に取付ける。          (1) 空気溜りを生ずると思われる箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置（ ※ 手動 ・ 自動 ）を設け排水口まで配管する。          (2) 自動空気抜き弁装置は、標準図（施工3.6（g））による          (1) 厚さ ※ 3.2mm ・ 4.5mm          (2) 煤塵温度計 ・ 取付ける ・ 取付けない ・ 取付産を取付けない          (3) 煤塵量測定口（80φ×2）を ※ 取付ける ・ 取付けない          標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管、及び空調室内ユニット等の吊り、及び支持は          防振吊り金物又は防振支持金物で行う。          油面計はゲージ式（側圧式）とする。          2.1. 地下オイルタンク          (1) 据付け方法（標準図）は          ・ 地下オイルタンク据付け図（施工3.1）          ※ 鋼製強化プラスチック製二重タンク据付け図（施工3.0）          (2) タンクの保護被覆は ・ エポキシ樹脂 ※ 強化プラスチック ・ アスファルト          (3) 遠隔油面指示装置（油面計は（ ・ 抵抗変位式 ・ 磁歪式 ）で（ ・ 室内 ・ 室外 ）より油面監視用）を取付ける。          (4) 基礎杭は ※ 不要 ・ 要（但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事）          (5) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事）          2.2. 液面制御装置          (1) 液面制御装置の機能は下記による。          ・ 給油ポンプの起動、停止 ・ 返油ポンプの起動、停止 ・ ポンプ緊急停止警報          ・ 満油警報 ・ 減油警報 ・ 遠方警報接点（ ・ 満油 ・ 減油）          (2) 返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは、通過形接点とする。          ※ 設ける（図示した箇所に取付ける） ・ 設けない          空気調和機器等又はフィルターチャンパーの装着枚数の100%を予備品（特付）として納める。          ファンコイルユニットは 総枚数の約50%に当たるフィルターを予備品（特付）として納める。          自動巻取り形及びグリッドフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。          日本冷凍空調工業会（冷凍空調機器用水質ガイドライン）による。          2.5. 空調用流体の水質基準          2.6. 冷媒ガス ※ R407C、R410A又はR32 ・ _____          形式 罐型式又は液管型          2.7. 直吸吸収冷温水機          2.8. 冷却塔          2.9. パッケージ空調機の能力表示          3.0. パッケージ空調機の内外配線          製造業者の標準品とし、原則として冷媒管と共巻きとする。（エアコン含む）</p>
○	換気設備	<p>1. 一般事項          2. ダクト ※ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト          ※ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製          3. 排気口          ・ パネル形（ ・ 天井取付 ・ 壁取付 ）          ・ スリット形（ ・ 天井取付 ・ 壁取付 ）          ・ ダンパー形（ ・ 天井取付 ・ 壁取付 ）          4. 排気口開放及び閉鎖方式          電気式（遠隔操作 ※ 不要 ・ 要）          建築設備定期検査業務基準書 2016年版（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる</p>
○	自動制御設備	<p>1. 中央監視制御装置          2. 電源装置          3. 温度調節器等          4. 計装工事の記録          ・ 有り（構成機能は図示による） ・ 無し          ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） ・ 不要          取付け高さは ※ 1300mm          (1) 屋外、屋内露出の配線は、図示に特記がない限り金属管配管とする。          天井隠蔽の配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。          (2) 原則として、次の用途に使用する電線類はEMケーブルとし、規格は一般事項17.電線類の規格による。          （機器、盤類はこれによらなくてもよい）          用途： ①電源線、接地線          ②電気式の調節器（サーモ、ヒューミディ）用電線          ③各種検出器（温度、湿度等）、操作器（バルブ、ダンパー等）における          弱電信号、通信線を除く制御線</p>



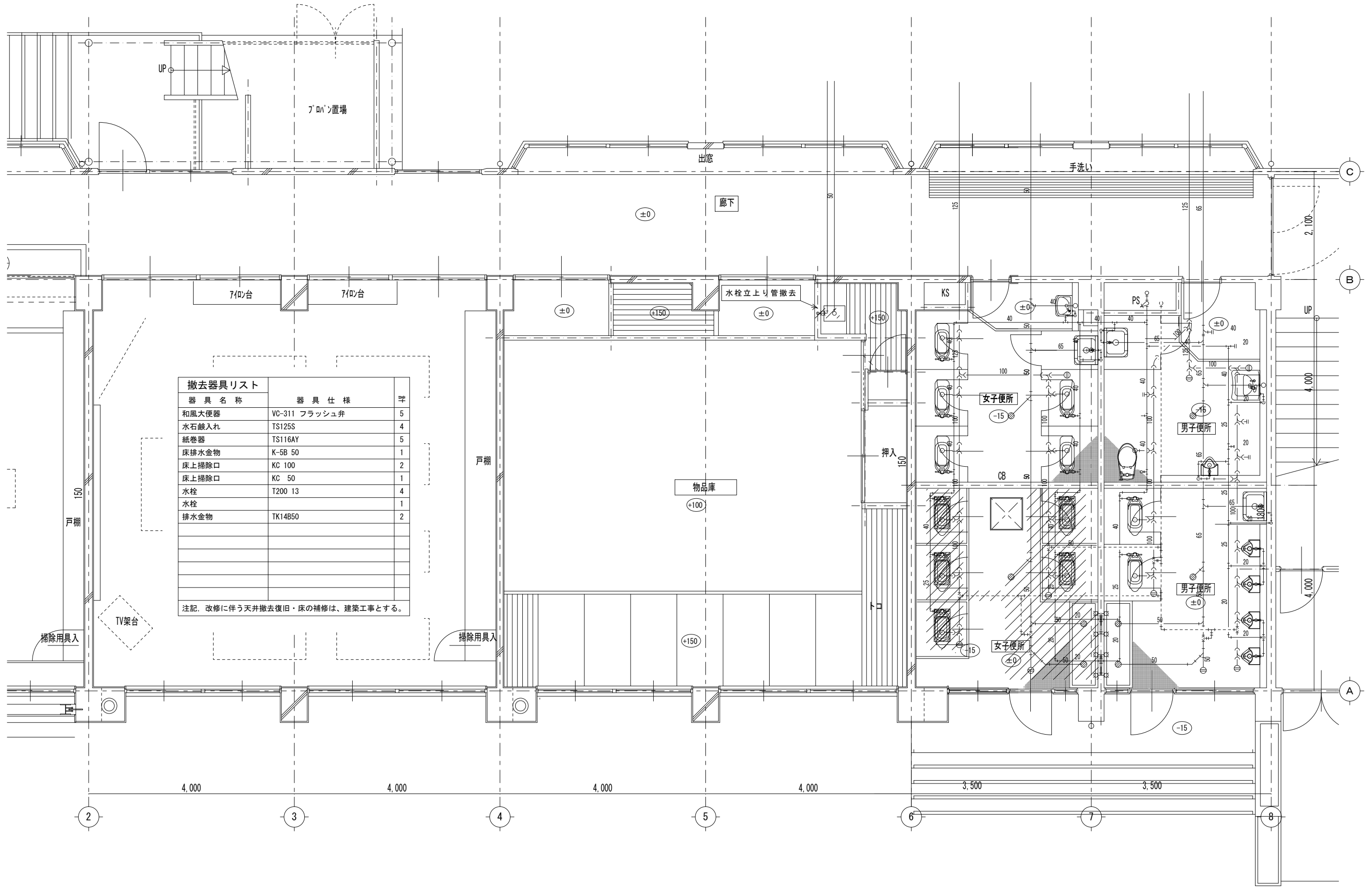
空調・換気設備 平面図(改修前) 1:50

改修後機器表(新設)

記号・	名称	仕様	電気容量・	数量・	設置場所・	参考品番
VF-1	窓枠据付け形換気扇	型式：電気シャッター付 仕様：強 600m <sup>3</sup> /h 弱 10m <sup>3</sup> /h 付属品：	1φ 100V 38.0W	2	クラスルーム1 クラスルーム2	EX-25SC4-S
VF-2	天井埋込形換気扇	型式：低騒音タイプ 仕様：150Φ x 250m <sup>3</sup> /h x 21Pa 付属品：ステンレス製ベンドキャップ(防虫網付)	1φ 100V 29.5W	1	多目的便所	VD-18ZC12 P-18FSK5



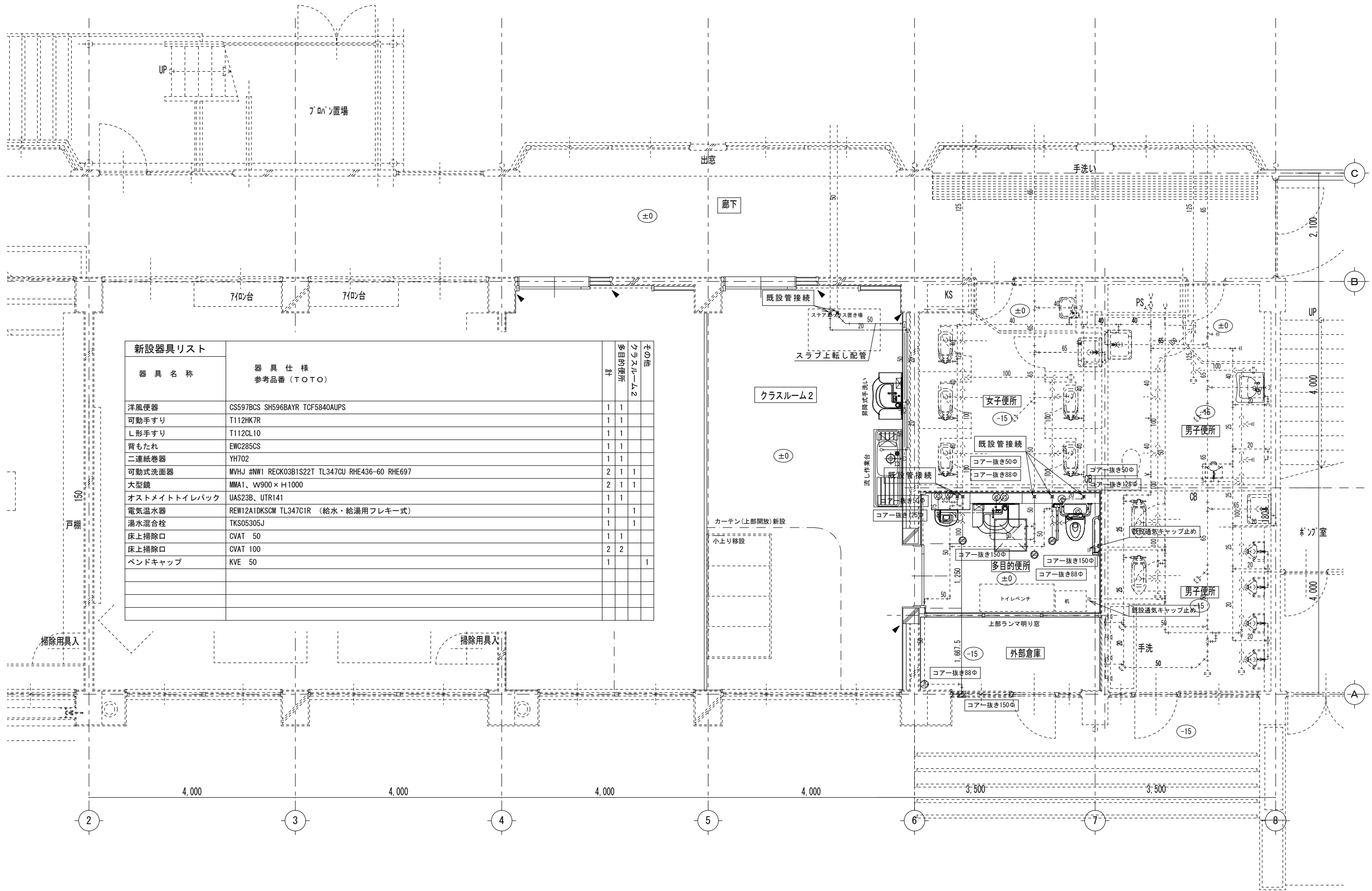
空調・換気設備 平面図(改修後) 1:50



撤去器具リスト		
器具名称	器具仕様	坪
和風大便器	VC-311 フラッシュ弁	5
水石嵌入れ	TS125S	4
紙巻器	TS116AY	5
床排水金物	K-5B 50	1
床上掃除口	KC 100	2
床上掃除口	KC 50	1
水栓	T200 13	4
水栓		1
排水金物	TK14B50	2

注記、改修に伴う天井撤去復旧・床の補修は、建築工事とする。

衛生設備 平面図(改修前) 1:50



新設器具リスト		単	多目的便所	クラスルーム2	その他
器具名称	器具仕様 参考品番 (TOTO)				
洋風便器	CS597BCS SH596BAYR TCF5840AUPS	1	1		
可動手すり	T112HK7R	1	1		
L形手すり	T112CL10	1	1		
背もたれ	EWC285CS	1	1		
二連紙巻器	YH702	1	1		
可動式洗面器	MVHJ #NW1 RECK03B1S22T TL347CU RHE436-60 RHE697	2	1	1	
大型鏡	MMA1、W900×H1000	2	1	1	
オストメイトトイレバック	UAS23B、UTR141	1	1		
電気温水器	REW12A1DKSCM TL347C1R (給水・給湯用フレキ一式)	1	1		
湯水混合栓	TKS05305J	1	1		
床上掃除口	CVAT 50	1	1		
床上掃除口	CVAT 100	2	2		
ベンドキャップ	KVE 50	1		1	

衛生設備 平面図(改修後) 1:50